

# 少年の夢 をとめらの希望

新校舎の特別棟や広場、駐車場等が完成し、108人の新入生を迎え、新しい環境での平成26年度が始まりました。

今年度も上記の学校教育目標の  
高い知性  
美しい心  
強い身体  
を磨く生徒  
教育目標の実現を目指します。

ここで、よりよい生活を求めて、新しきよき変化があります。

## ☆新施設

# 新しき よき変化

前年度から使用している普通教室に加え、音楽室、理科室1・2、多目的室、図書室、生徒会室、配膳室、学校支援センター室が完成して、木の香りが漂う幸せな空間が広がりました。理科室の屋根には太陽光発電システムが完備され、玄関のモニターでエネルギーの学習ができたり、図書室の本の管理をパソコンで行ったりと(準備中)、質の向上も図っています。広場には植栽も加わり、心が癒やされます。ただし、校舎では珍しく、廊下の一部が十字路になっていないので、安全確保のために、廊下を走らないようにしましょう。

## 4月の生活目標 ☆新しい生活に慣れ、心も体も元気に生活しよう

## タイムスケジュール

主な活動	月曜日	火～金曜日
登校	7:30～	8:20
自主活動	7:40～	8:10
集会・学習・読書	8:20～	8:35
朝の会	8:35～	8:40
1校時	8:45～	9:35
2校時	9:45～	10:35
3校時	10:45～	11:35
4校時	11:45～	12:35
給食	12:35～	13:10
昼休み	13:10～	13:30
5校時	13:35～	14:25
6校時	14:35～	15:00
清掃	15:05～	15:20
帰りの会	15:25～	15:40
		15:50～16:05

## ☆登校・朝の活動時間

玄関の解錠はこれまで通り7時30分です。朝の活動を開始する時間が5分早まるため、ゆとりをもって、登校したり自主活動を終了させたりしましょう。また、各種集会(学校・学年・生徒)や朝読書に加え、学力向上を目指す朝学習も行います。15分間の積み重ねが大きな力となります。意欲的に取り組みましょう。

## ☆月曜日の6校時

会議のある月曜日は5校時までの授業でしたが、今年度は年間を通して、25分間の授業が組まれます。1学期は国語、2学期は英語、3学期は数学を予定し、基礎学力の定着を目指します。

# 沼中ノート 第3版

第3版の「沼中ノート」には、さらなる工夫が凝らされました。毎日の教科連絡や日記はもちろん、家庭学習の計画を立て、振り返る取り組みも大切にしていきます。

9日の5・6校時に行われた生活向上オリエンテーションでも説明しましたが、生活向上のヒントも掲載されました。



- 月曜、週別の予定をもとに、先を見通し、目標を立て、計画的な生活を心がけましょう。
- 週末に掲載されている各教科の基礎問題を取り組んだり、「学習のヒント」を参考に学習法の改善に努めましょう。
- 「生活指針」を厳せ、服装や髪型などについて、生活のきまりの確認ができるようになっていきます。
- 最近の課題になっている、いじめ防止や情報モラルおせのかみさき情報も入りました。



- 沼中の歴史沿革や生徒数の変遷、生徒会会則等から、愛校心がより一層高まることも期待しています。
- 読書活動の充実のため、「ぐんま子どもにすすめたい本20選」の一覧を参考に、良書との出会いを楽しんでください。

## 生活向上オリエンテーション

美しい心を磨くヒント  
生活のきまり(生活指針)、相談活動、図書室の使い方や読書、保健室利用と睡眠の大切さ、部活動の考え方(教育部活動、凡事徹底)と期待、情報モラル、小中連携の9年間の学びなどについて説明がありました。

次に紹介するのは、昨年度も伝えたきまりに対する考え方です。きまりを窮屈なもののようにとらえずに、きまりを守ることで自分を守られていると考えてみてください。

学校は、低い柵に囲まれた牧場のようになりたい。牧場の中では、端っこにいても構わない。でも、みんなを守るルールはあって、それが周りを囲む柵。ただし牢屋のようにみんなを閉じ込める場所ではないので、その柵は低ければ低いほどよい。強制ではなく、一人一人が自分の判断で柵の中に留まり、一定のルールの中でこのびのびと暮らす牧場を目指したい。

次号は、4月28日の発行です。主な内容は「小中連携」「連休の過ごし方」等です。



## 少年の夢をとめらの希望

生徒指導委員会発行

沼田学区の3校(沼田東小、沼田北小、沼田中)では連携して、児童や生徒の成長を図ろうとしています。

そこで、昨年度末に共通理解しながら取り組んでいく具体的な方策が定まりました。9日(水)の生活向上オリエンテーションでも紹介されましたが、改めて確認します。これらは、今までにそれぞれの学校で身に付けてきたものばかりです。日常の「凡事徹底」を大切にして、生きる力を向上させましょう。

## 9年間の学びの連続性

### ●学習ルール(学びの約束)

- ① **チャイムスタート**  
※授業の準備を完了して席に戻る。
- ② 次の授業の**準備**をしてから、休み時間にする。
- ③ 指名されたら、しっかり**返事**をする。
- ④ 授業に必要な物を持ってこない。

### ●生活ルール

- 給食：①配膳が終わったら**静かに着席**して待つ。  
②全員で**協力して準備**や片付けをする。
- 清掃：**無言清掃**をする。
- あいさつ：**心をこめてあいさつ**をする。

### ●授業

- ① 授業の冒頭で、**目標(めあて・ねらい)**を確認する。
- ② 授業の最後に、学習したことを**振り返る**。
- ③ 「結論」を言ってから「理由」を述べるなど、**論理的思考力**を高める。

### ●家庭学習(自主学习・宿題)

宿題を含め、**家庭学習**にしっかり取り組む。

### ●読書

**毎日20分以上**、読書する。

## 募集

## 図書整備 ボランティア

新校舎の北東の一角に図書室が新設されました。広くて、日当たりがよく、書棚もたくさん設置されました。利用が楽しみであり、読書活動が高まることと思います。しかし、現在は閉鎖して、蔵書のデータをパソコンに入力しています。9千冊を超える本の整理には時間がかかり、保護者や地域の皆様のお力をお借りして整備を進めたいと考えています。バーコード入力、シール貼り、本の整理をお手伝いいただける方は、学社連携担当(林武史)までご連絡ください。

大切な考え方

「時を守り 場を浄め 礼を正す」

## 下校時刻を守る

5分早まった登校時刻には適切に対応している姿が見られ、朝の活動への入りがスムーズになりました。そこで、毎年呼びかけている「下校時刻の厳守」も実現させていきたいと思います。時間を大切に、決まりやルールを守る姿勢を育て、安全な下校を確保したいと考えています。部長やキャプテンを中心に声を掛け合って、完全下校時刻を守りましょう。



## ゴールデンウィークの過ごし方

月曜日	火～金曜日
4～8月	18:30
9月	18:00
10月	17:30
11～1月	17:00
2月	17:30
3月	18:00

新しい環境での生活もようやく軌道に乗れ、修学旅行(3年)や東京旅行(2年)の準備が始まりました。春季大会も本格化している中で、もうすぐゴールデンウィークに入ります。

そこで、次の目標や注意事項を意識し、有意義な生活を送りましょう。

### ◎生活目標

- ・事故や非行問題から自他を守り、節度ある生活をする。
- ・春季大会等に向けて、部活動を積極的に取り組む。
- ・宿題や自主学习、読書など、家庭生活を充実させる。

### ◎注意事項

- ・交通規則を守り、道路の横断時に細心の注意を払うなど、事故防止に努める。
- ・外出の際は複数で行動し、不審者や熊などの危険動物から身を守る。
- ・ゲームセンターへ出入りしない。
- ・カラオケボックスやボウリング場への出入りは保護者同伴とする。
- ・書店や商店で、万引きを疑われるような行為をしない。
- ・夜間は遊びに行かない。(22時以降は群馬県青少年保護育成条例により、補導の対象となります)
- ・飲酒や喫煙、無免許運転など、法律に違反する行為をしない。
- ・所属している部活以外の春季大会等へ応援に行く場合は、通学服か体育着を着用する。
- ・「生活指針」をよく読み、沼中生としての自覚を持ち、生活のきまりを守る。

次号は、5月1日に発行します。主な内容は「礼儀」「生活目標(挨拶・笑顔)」などです。



# 少年の夢をとめらの希望

昨年度より始まった「オールぐんま」が合い言葉の『いじめ防止活動』を継続し、5月と12月を強化月間に定め、さまざまな活動を展開していきます。

さかなクンの詩「魚の涙」から、誰もが幸せに暮らす社会を考えましよう。

魚の世界にもいじめがある。小さな学校の中にも、狭い社会の中にも。



中学一年生のとき、吹奏楽部でいっしょだった友人に、だれも口をきかなくなったときがありました。いばっていた先輩が、三年生になったとたん、急に無視されたこともありました。突然のことです。ぼくには訳がわかりませんでした。でも、魚の世界と似ていました。



例えば、メジナという魚は、海の中で仲良く群れて泳いでいます。狭い水槽にいっしょに入れたら、一匹を仲間はずれにして攻撃し始めたのです。ケガをしてかわいそうで、その魚を別の水槽に入れました。すると、残ったメジナは、ほかの一匹をいじめ始めました。助け出しても、また次のいじめられっ子が出てきます。

## いじめ防止活動強化月間 5月

5月の生活目標 ☆あいさつと笑顔の輪を広げ、潤いのある人間関係を築こう  
いじめっ子を水槽から出して、新たないじめっ子が現れます。広い海の中なら、こんなことはないのに、小さな世界に閉じ込めると、なぜかいじめが始まるのです。同じ場所にすみ、同じえさを食べる、同じ種類どうしです。

中学時代のいじめも、小さな部活動で起きました。ぼくは、いじめられる子に「なんで？」とききませんでした。でも、仲間外れにされた子とよく釣りに行きました。学校から離れて海浜でいっしょに糸を垂れているだけで、その子はほっとした表情になっていました。話を聞いてあげたり、励ましたりできなかったけれど、だれかが隣にいるだけで、安心できたのかもしれない。



ぼくは変わり者ですが、大自然の中、大好きな魚に夢中になっていたら、嫌なことも忘れれます。大切な友達ができる時期、小さな籠の中でだれかをいじめたり、悩んでいたりしても、楽しい思い出は残ります。外には楽しいことがたくさんあるのに、もったいないですよ。



毎日の学校生活を楽しくしているもの、どんな思いで沼中が発展を遂げているか、どんな思いで沼中が発展を遂げているか、

## 挨拶

【月間生徒指導】14年4月号より  
放課後の通学バスの終点のことです。何かの部活動でしょうか。先輩が降りる前に、後輩たちが我先にと飛び出て降車場付近に立ち並び、「オツカレサマデシタ」「オツカレサマデシタ」と声を張り上げながらお辞儀をしています。その前を、先輩たちが無反応で通り過ぎていきます。あたかも大名行列であるかのような、偉ぶった先輩たちの姿にびっくりしました。学校での先輩・後輩の関係について、みなさんはどのようなイメージをもちますか？

何か、下級生だけが上級生に礼儀正しくしなければならぬような印象があるかもしれませんね。ところが日本の礼儀作法の視点から見ると、下級生だけが一方的に上級生に礼儀正しく振る舞い、上級生がそれに対していい加減に対応するという関係は、正しくありません。下級生が示す礼儀(敬意の表現)に対して、それに釣り合うだけの礼儀(下級生を大事にする気持ちの表現)を上級生はその場で示す、という双方向の関係が、真に礼儀正しい集団としての在り方なのです。

## 笑顔

【月間生徒指導】14年5月号より  
他人と仲良くなりたいとしまししょう。あなたは、まずどんなところに気をつけようと思いますか？

髪形や服装でしょうか。それとも面白い話のネタを増やすことでしょうか。実はどんなに外見や話題をつくらなくても、

## 5月の生活目標のキーワード

これがなかったらアウト、となるような要素が存在します。それは笑顔です。笑顔は「あなたに敵意をもっていません」「あなたに関心や興味があります」といった、いくつものプラスの感情を一瞬で伝えることができる、夢のような「ワザ」です。学校で輝いて見えるのは、学業や部活動、係活動や委員会などの学校生活を一所懸命に笑顔で頑張っている人です。どんなに小さな課題でも全力で取り組み、笑顔で日々を過ごしましょう。友人や先生から何か声をかけられたら、笑顔で返答してください。たまに「笑わないことをクールでかっこいい」と誤解している人に出会うことがあります。たいていキヤラづくりに失敗している思い込みの激しい残念な人、と周囲は感じています。逆効果ですよ。

消費税の増税に伴う価格変更	
① トレーニングシャツ(体育着上)	税込価格 5,400円
② トレーニングパンツ(体育着下)	税込価格 3,672円
③ 半袖Tシャツ	税込価格 2,160円
④ クォーターパンツ	税込価格 2,365円
※①~④のサイズは、「150、SS、S、M、L、LL、3L、4L」です。	
⑤ 厚地トレーナー	
150~LL	税込価格 3,499円
3L	税込価格 3,704円
⑥ 上履き	税込価格 3,456円

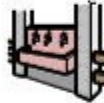
お知らせ 次号は、5月26日に発行します。主な内容は「沼田中学校」「愛校心」などです。

# 少年の夢 をとめらの希望

生徒指導委員会発行

## 沼中

開校68年目を迎えた沼田中学校では、明日、新校舎完成記念式典が行われます。そこで、以前、「沼中」や愛校心について、次のような質問をしてみました。



### 沼中はどんな学校？

元氣、伝統がある、明るい、大きい、みんなが支え合っている。みんなに愛されている。 など

### 沼中のよさはどんなところ？

校庭の広さ、大きな校舎、あいさつ、教室の多さ、生徒数の多さ、元氣、部活動の種類や成績、礼儀、伝統、長い歴史、先生、生徒同士の仲のよさ、卒業生の活躍、敷地内の樹木。 など

### 沼中のために頑張っていることは？

掃除、あいさつ、専門委員会の活動、部活動、ボランティア活動。 など

### 沼中のために頑張っている人は？

校長先生、教頭先生、先生方、事務の先生、用務員さん、PTA、保護者、地域の方、生徒会本部役員、各専門委員長、各部の部長や主将、一人一人の生徒。 など

### 沼中をどんな学校にしたい？

礼儀正しい、周囲からよく見られる、伝統と歴史を守る、一人一人が輝く、みんなが沼中に貢献する。 など



## 愛校心

きたのか、また、自分はどうか？ 校づくりに関わればよいのかを意識することは少ないと思われまふ。しかし、どの学校にも、多くの人々が守り伝えてきた行事や自分たちの手でつくる活動があり、学校に関わる人々の思いや努力があります。本来、自分の学校を愛し大切にしようとする気持ちは、学校とどの関係の中であっていかうものですか。また、誰にでも、誇れる母校をもちたいという気持ちがあります。そして、学校への思いをはっきりと表明できないものの、「こんな学校がいい」という願いはもっていると考えます。そこで、沼中の発展に尽力した卒業生から、草創期の学校づくり、沼中の歴史や伝統について伺ったとっておきのエピソードを紹介します。



新校舎完成という節目に、先輩たちの思いや願いを感じ、「沼中をよりよくしていくために、自分に何ができるか」「どういう気持ちをもって校風(伝統)を守っていけばよいのか」を考えてみましょう。そして、沼中に対する所属意識を高めるとともに、沼中をより発展させていこうとする自覚を高めていきたいと思います。また、行事や諸活動に進んで関わる学校の文化や伝統を大切にしていこうとする心情を育てましょう。



草創期の沼中

## 沼中とは

沼中は今年度、創立68周年を迎えました。教育基本法の公布による6・3制の新教育の実施に伴って、昭和18年8月までは元陸軍東部第41部隊の兵舎であった建物を使用し、昭和22年4月に開校しました。創立当時、教職員や保護者、生徒や地域の方々が一致協力して、校舎の整備や校庭の整地作業を行ったそうです。それ以来、70年近くにわたって多くの方々の情熱と努力により、大きな発展を遂げています。

生徒数も年々増加し、昭和37年には68年間の歴史において過去最大の1839人となり、県下一のマンモス校と呼ばれました。また、文化活動や体育活動においては、卓球部の全国優勝をはじめとして、全中3位の剣道部、連覇を重ねた水泳部など、県内外で活躍が目立ちます。さらに、同窓生(卒業生)は2万人を超え、沼田はもとより全国各地において重要なポストに就き、大活躍されています。

### 創立当時の沼中



元陸軍東部第41部隊の兵舎は、終戦後、米軍の施設として活用されていました。しかし、廃墟と化した兵舎は、窓ガラスが割れ、敷地内には戦車を格納したと言われている深い壕や高い土手があり、荒れ放題の状態だったそうです。校舎となった旧兵舎は廊下を挟んで南北に教室がありました。したがって、北側の教室は暗く、冬はとても寒かったようです。また、生徒が使いはじめの前に清掃にあたった方の話では、割れたままの窓ガラス、ひどい汚れやほこり、ノミが跳んでいるなど、かなり荒

んだ状態だったそうです。さらに、床下からは、防毒マスクや短剣も見られたそうです。校庭には幅の広い溝(壕)が100m以上にわたって掘られてあったため、まずは校庭や建物を整備することが先決と考え、教職員や保護者、生徒や地域の方々が一致協力して、泥にまみれ、汗を流して、校舎の整備や校庭の整地作業を行ったそうです。具体的には、授業時間や夏休みを使って、1mを超え、高い土手を崩して壕を埋めたり、朝礼のたびに軽石を拾ったりして整地し、ようやく校庭として使用できるようになりました。



川原からの砂運び

時には、校舎の下に潜って武器を拾ったこともあったそうです。特に、走り幅跳びで使用する砂場づくりはとても大変だったようです。現在の沼田病院の下の坂から片品川の川原に降りて、生徒一人一人が川砂を集め、砂袋を担いで運び上げるといふ作業を繰り返したそうです。当時のエネルギーはそれに留まらず、生徒会の必要性を感じた生徒や先生が積極的に結成運動に参加し、先遣校の視察にも出掛けました。現在ある部活動の他に、ラジオ部や自動車部などもあったそうです。ラジオ部は、音楽の授業で使用する音響装置の作成を先生から依頼され、自ら作ったものが本当に使われ、喜びや有る感、誇りを感じながら、授業に参加したり、部活動に励んだりしたそうです。

# 新しい沼中

玄関に入った瞬間から木の香りを感じる木造平屋の新校舎。ここで学べる毎日を、幸せに感じている人は多いことと思います。

平成24年の夏から南校舎の解体が始まり、万葉の森や池も姿を消しました。全クラスが北校舎へ引っ越し、音楽室やパソコン室を改修して不揃いの教室が設けられました。また、プレハブの建物も2ヶ所も新設され、保健室・相談室・校長室・事務室・会議室が並ぶものと、音楽室・図書室・多目的室が入る二階建てのものがありました。また、それに併せて東校舎内も改修が進められました。

25年度からは全体の2/3が完成した新校舎での生活が始まりました。教室、少人数教室、職員室、校長室、会議室、事務室、保健室、相談室Ⅰ・Ⅱ、用務員室、印刷室、放送室、広場などが新設されました。高い天井、広くて長い廊下、自動で点灯するトイレなどが特徴的で、心地よく過ごしやすい空間が誕生しました。また、校歌をベースにしたチャイムが鳴り、一ヶ所に集中した玄関ではあいさつの声がかたましたり、玄関前の花壇やプランターや花づくりに取り組んだり、小中連携のあいさつ運動やいじめ防止会議などを行ったりするなど、新たな取り組みも見られるようになりまし



花壇が咲くラベンダー



南校舎



北校舎

北校舎の跡地には、多目的室、図書室、配膳室、理科室Ⅰ・Ⅱ、生徒会室、音楽室など、特別棟が新設されました。どの部屋も旧校舎に比べると広く、開放的な空間での学びが実現しました。また、広場には待望の植栽が加わり、都会の公園のような雰囲気になりました。憩いの場が誕生しました。

## 校舎の紹介



運動も活発になっ

ています。また、理科室の屋根に設置された太陽光パネルに関するモニターも稼働しています。

廊下 学校という建物では珍しい十字路があります。また、とても広くて長いため、安全な生活を送れるよう、走らないように注意しましょう。



## トイレ

トイレに入ると自動で照明が点灯します。「シヨッピングモールやサービスイリアみたい」と、生徒や来校者の感動の声音が響く聞かれるところでも、そのせいか使い方のマナーも清掃も向上しています。



## 広場



校舎に囲まれた4ヶ所の広場は、少しずつ違いが見られます。図書室前には同窓会・後援会・PTAから寄贈された「紅白しだれ梅」が植えられました。また、中低木から宿根草にいたるまで、それぞれの植物には美術部員による名札が付けられました。

## 「き」の話

いろいろな県産材がたくさん使われた木のぬくもりと香りを感じる新校舎。豪雪に見舞われた冬も、温かく感じたという声が多く聞かれました。そこで、「木」を「気」に換えて考えていきま

- 気が付く人
- 気が利く人
- 気が配りのできる人
- 気遣いのできる人

新校舎を大切に、丁寧に使うことはもちろんですが、幸せな環境の中で、人として大きく成長していくことを願っています。



## 学校=みんなの宝物

本来、学校とは、生徒にとってみれば、先生、友だち、先輩、後輩との出会いの場であり、人間形成の場です。中学生にとって、一日の大半を過ごす学級や学校は主要な生活の場になっていくため、自分という存在を集団の中に見つめることは非常に大切なことだと思えます。そして、授業や部活、学校行事などに對して、意欲的に取り組むために、生徒同士、教師や保護者、地域の方々に対して、感謝と敬愛の念を深める態度を育てていきたいと思います。

そのために必要なことは、集団の一員であるという所属感を体感することです。明日の新校舎完成記念式典を通して、沼中への所属感を感じ、所属意識を高めることが、母校を愛し、大切にしていこうとする気持ちの育成につながると思えます。そして、同じ学校で生活し歴史を築いた先輩方の思い、常に温かく見守ってくださる地域の皆様の願いや期待を感じたり、理解したりしていくことでも、愛校高まり、沼中をより一層大好きになっていくのだと思えます。

新校舎の完成という節目に、改めて沼中のよさを知り、沼中の発展に寄与された方々に対する尊敬と感謝の思いを深めましょう。そして、伝統を守り、受け継ぐことの自覚を高め、よりよい学校をつくるために、自分たちが何ができるのかを考え、今後も協力して沼中を発展させていきましょう。

次号は6月22日(月)発行予定です。主な内容は「衣替え」「6月の生活目標」です。

# 少年の夢 をとめらの希望

## 日本の伝統 季節の風物詩 衣替え

先週は真夏を感じさせる猛暑日もあり、夏の足音が一気に聞こえてきました。1週間に及ぶ衣替えの移行期間も終わり、男女ともに白い衣服の爽やかな季節がやってきました。

### 春過ぎて夏きたるらし 白妙の 衣ほしたり 天の香具山

『万葉集』 持統天皇



「春が過ぎて夏がやって来たようです。白い布が干してありますね、あの天の香具山に」という意味の和歌に代表されるように、日本では昔から、白い色が夏を象徴していたり、夏が近づくと一斉に衣服を替えたりする習慣があったようです。

最近では、「クールビズ」といった言葉も、新しい服飾文化として定着し、「衣替え」を楽しむような風潮もあります。本校でも、日本の伝統、季節の風物詩である「衣替え」の考え方にならい、本日より夏服になります。衣服で体温の調節をして、熱中症を予防するとともに、爽やかに清潔な生活を心がけましょう。なお、細かい注意点は次に示す通りです。

□ 夏服着用期間

6月2日(月)～9月30日(火)

□ 移行期間

10月1日(水)～10月3日(金)

□ 注意事項

- ・肌寒い場合は通学服を着用する。
- ・トレーナーの着用は10～5月とし、移行期間はない。
- ・スニーカーソックスは、夏服着用期間に限り使用できるが、儀式や行事のときは、くるぶしが隠れるものを着用する。
- ・Yシャツのボタン、ベルトの色や形状、スカートの丈などは、「生活指針」による。
- ※気候(暑さ)や健康面を配慮し、およそ7月から9月をめどに体育着での下校を許可する。

## 熱中症対策

5月末に連続した猛暑日、都市部では大会や校内マラソン大会に向けた練習の強化を受けて、水筒の持参が許可されました。



□ 期間 5月30日(金)～9月26日(金)

□ 確認事項

- ・持参できるのは水筒のみで、ペットボトル等の形状は禁止。
- ・中身は「水、お茶、スポーツ飲料」に限定。粉末のスポーツ飲料の持参は禁止。
- ・持参は強制ではないが、できるだけ持参する。

## 6月の生活目標① (1～5日) マラソン大会に全力で取り組もう

### 読書に親しみ、「学びの約束」を大切にして、 授業や家庭学習を充実させよう

## 沼田中学校 いじめ防止 基本方針

今年度の4月、本校は、「いじめ防止対策推進法」、国の「いじめの防止等のための基本方針」、「群馬県いじめ防止基本方針」を受け、「沼田中学校いじめ防止基本方針」を策定しました。その方針はA4用紙12ページに及ぶため、A3用紙の表裏に要約したダイジェスト版を、生徒を通じて全家庭に配付いたしました。

- ・基本方針策定の意義
- ・いじめ防止に関わる基本的な考え
- ・「いじめに対する正しい理解」
- ・「未然防止/早期発見・対応」
- ・重大事態への対処
- ・いじめ防止対策委員会(組織)
- ・わかる授業の実現
- ・「学習規律の徹底」
- ・「学び合い」確かな学力の定着
- ・道徳教育、人権教育の推進
- ・生徒会活動の充実
- ・「あいさつ運動」ピア・サポート
- ・「沼田学区いじめ防止子ども会議」
- ・道徳教育、情報モラル指導の充実
- ・学校間や他機関との連携



- ・教育相談活動の充実
- ・「いじめ調査」「沼中ノート」
- ・教育部活動の展開
- ・早期解消に向けた取組
- ・「家庭との連携」

## 修学旅行の感動

5月17日(土)の修学旅行の沼田中、グループごとにタクシーに乗車し、京都市内を見学しました。運転手さんの親切で丁寧な説明に感謝し、それぞれが感謝の意を込めた挨拶をして、無事にホテルへ戻ってきました。すべての班が到着すると、添乗員さんが「数名の運転手が「別れ際に、内緒で買ってくれたお菓子やキーホルダーをもらいました。長い間の仕事をしていますが、修学旅行生からお礼の品をいただくのは初めてで、涙が出ました」という報告を受けました。本当にステキな生徒ですね」と教えてくださいました。「美しい心」が京都でも実現した感動の瞬間でした。3年生、素晴らしい。



タクシー研修



次号は6月19日(水)発行予定です。主な内容は「読書・学習」「図書室」です。

# 少年の夢をとめらの希望

## 沼中図書室OPEN



新校舎北側の一角にある図書室がオープンしました。3月末から、学校番号を付けるシール貼り、書名や著者名などのデータをパソコン管理するためのバーコード入力、日本十進分類法(NDC)による分類や整理などを、教職員や図書ボランティアの方々、システムを導入してくださった業者の皆様で行いました。特に、23名の図書ボランティアさんには、およそ1ヶ月にわたって毎日お世話になり、時には昼食も休憩も取らずに、

一日中作業していただくこともありました。また、「新校舎完成記念式典が行われる5月27日までに、図書室の整備も完成させましょう」と声を掛け合い、高い意識、チームワークのよさ、生徒に対する思いなど、見習ったり、学んだりとすることが多くありました。お世話になりました関係者の皆様には、本当に感謝しています。なお、5月末には図書委員会の生徒が、自ら本を借りたり返したりする体験を通して、仕事のしかたを身に付けました。その後、国語科の授業で、全クラスがオリエンテーションを実施し、全校生徒が本を借り、6月から休みの貸し出しも始まりました。



コンピュータを使って読みたい本を検索したり、100種類に分類された書棚から本を選んだり、使いやすい図書室になりました。また、やがては人気のある本のランキング表を作成したり、

予約システムを導入したりできるソフトで管理し始めたことから、夢が広がる楽しい図書室になりそうです。実際に利用者や貸し出し数も増え、「本が探しやすい」「明るくてきれい」「読みたい本がたくさんある」「パソコンの検索システムが便利」「授業で使ったが、グループで活動しやすかった」といった声が聞こえています。恵まれた環境に感謝し、読書活動を充実させましょう。

### 家族で本を読みましよう

沼田市教育委員会では、読書活動の充実を図るため、  
● 学校や家庭における読書活動の工夫及び読書習慣づくりの推進  
● 沼田市立図書館と連携した学校図書館の充実と利活用の促進を提唱しています。

特に、家庭における読書活動の充実に向け、視点をあてた「家族で本を読みましよう」の取組では、次の3つが強調されています。  
① 保護者の「読み聞かせ」  
② 20分間の「家族読書」  
③ 家族で一緒に「本選び」

夕食後や就寝前の20分程度、テレビを消して静かな空間を作り、家族で読書を楽しみましょう。  
家族で一緒に「本選び」  
家族で図書館や書店へ出かける時間をつくり、一緒に本を選びましょう。  
記念日に本をプレゼントすると、思い出の一冊として、いつまでも記憶に残ります。  
また、家族で読書に取り組むと、次のような効果が期待できます。

☆ 読書習慣が定着し、学力(考える力・知識)が向上する  
☆ 豊かな感性や情操・思いやりの心が育まれる  
☆ 家族のコミュニケーションが深まる。

### 期末テスト迫る

今年度は中間テストがなく、1学期の期末テストが初めての定期テストとなります。6月後半の生活目標が「読書に親しみ、  
「学びの約束」を大切に、  
授業や家庭学習を充実させよう」  
であるように、学習面を強化させたい1ヶ月です。  
期末テストは25日(水)、26日(木)に行われるため、22日から25日まで部活動も休みになります。授業や単元テスト、各種ワーク類やプリントをよく復習して、十分な準備でテストに備えましょう。

### 生活面での注意事項

- 過日の生徒集会で、次のような話(注意事項)を確認しました。注意力を高めて生活しましょう。
  - 服装や頭髪を正しく整える  
・ 男子：ヘルト  
・ 女子：スカート丈 など
  - 室内で落ち着いて通す  
・ 廊下を走らない  
・ 器物破損に注意する
  - 駐車場で車の狭い空間をわざわざ通らない
- 次号は7月1日(火)発行予定です。  
主な内容は「中体連総体」などです。

# 少年の夢 をとめらの希望

生徒指導委員会発行

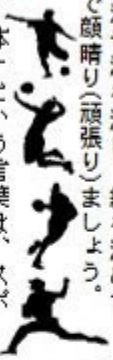
## 二〇一四夏 「総合力で勝負！」

# 中体連総合体育大会 近づく

体を鍛え、技を身に付け、心を磨いている部活動も、集大成の夏を迎えます。12日から始まる市大会、29日からの県大会をはじめ、8月上旬の関東大会、夏休み終盤の全国大会(今年度は四国ブロックが会場)まで、熱戦が繰り広げられます。

沼田中学校では、沼田市教育委員会提唱の「教育部活動」の考え方をいかし、日々の活動に取り組んでいます。仲間と共に汗や涙を流し、絆を深めてきた総合力で顔張り(頑張り)しましょう。

### 心・技・体



「心・技・体」という言葉は、スポーツの世界でよく使われます。強い選手を見て、「あの選手は心技体のバランスが整っている」などと言います。

心技体の最初に「心」があるように、技術や体力の向上も、精神力が基盤にあってのことでしょう。(中略)

では、安定した精神状態を保つには、どうすればよいでしょうか。

「人は同じことを毎日同じ時間に、繰り返し行っていると、素晴らしい心境に達する」といわれます。この行為は、単調なことほど効果があります。

その極みは、「座禅」です。また、座禅の修行場へ行くことができない人

でも、身近なところで、それに匹敵する実践があります。

例えば、毎朝時間を決めて起きること、家庭や職場で場所と時間を決めて掃除に取り組むのもよいでしょう。効果を出すには、同じことを同じ時間に、繰り返しやることです。

【職場の教養】14年2月号 倫理研究所

### 目標達成への道のり

目標が確実に達成されていくことが、発展につながり、個人的な成長にもつながることは、言うまでもありません。

しかし、目標を達成することは、容易ではありません。そこで、若実に実績を積み上げてきた偉人の言葉は、大いに参考になるものです。

メジャーリーグ史上、数々の偉業を成し遂げたイチロー選手は「今自分ができること。頑張ればできそうなこと。そういうことを積み重ねないと、遠くの目標には近づいてこない」という有名な言葉を残しています。

遠くの目標だけを見ていては、達成への不安が生じ、尻込みしてしまうでしょう。だからこそ、今できることを積み重ねていくのです。そして「目標は必ず達成できる」と思えば、楽な気持ちで、集中して臨めるはずです。

【職場の教養】14年2月号 倫理研究所

### 為せば成る



スポーツや芸能など、第一人者といわれる人が、偉業を成し遂げたというニュースに接した時、私たちの受け止め方は実に様々です。

「相当な努力をしたのだらう。自分も何か新しいことにチャレンジしよう」と、前向きに受け止める人、「あんなこと自分にはとてもできない」と諦め

らあきらめて、他人事として眺めて終わってしまう人もいます。

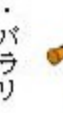
米沢藩の第九代藩主・上杉鷹山は、「為せば成る、為さねば成らぬ何事も成らぬは人の為さぬなりけり」と道ししました。

どんな偉業でも、日常の小事でも、「やらなければ何もできない、やれば大抵のことはできる」という意味です。

当たり前のことですが、それゆえに忘れがちな大切な心掛けを教えてください。

これまで「できない」と思っていたことのほとんどは、実は「やっていたい」ことが意外と多いものです。目の前に立ちあがる困難が大きいほど、一歩目をしっかりと踏み出して、まず動いてみましょう。まずやってみましょう。

### 裏方もチームの一員



二〇二〇年のオリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決まった時、多くの関係者が「チーム一丸となって勝ち取った勝利」と口にしました。

チームとは、「共同で仕事を一回の人間」という意味があります。さらに一歩踏み込めば、達成すべき目標を共有した人たちが、強い意志を持って、それぞれの与えられたポジションで最善を尽くす集団ともいえるでしょう。

脚光を浴びるのは、東京をアピールしたプレゼンターです。しかし、そこに至るまでに、見えないところで、多くの人々の尽力があったはずで、

今年の箱根駅伝では、東洋大学が総合優勝を果たしました。優勝という成果は、日々の練習から、「その一秒を削り出せ」と切磋琢磨してきた証でしょう。

その一方で、忘れてはならないのは

当日走れない選手が裏方に徹して、表舞台のランナーを支えていたということ。表に出ていなくても、皆チームの一員です。個々の役割に徹し、それぞれが緊密に連携して、全体の目標を達成したいものです。

【職場の教養】14年3月号 倫理研究所

### 7月の生活目標

互いに磨き合い、高め合って、沼中力を発揮しよう

近年、「熱中症」という言葉をよく聞くようになりました。蒸し暑い状況が長く続き、発汗によって体内の水分や塩分が失われたり、逆に汗が出ずに体の中に熱がこもった状態になると熱中症が起こりやすくなります。

熱中症予防には、日頃からの健康管理が大切です。次のポイントに注意しましょう。

- こまめな水分補給
- こまめな休憩
- できるだけ薄着
- 直射日光の下では帽子着用
- 体調不良のときは、運動をひかえる
- 体を暑さに慣らす
- バランスよく食べる
- 運動後によく休む
- 十分な睡眠をとる

次号は7月14日(月)発行予定です。主な内容は「夏休みの過ごし方」「情報モラル」などです。





# 少年の夢をとめらの希望

先日、学級担任から「ネット社会の光と陰」という情報モラルに関する資料を配付し、ネットとの関わり方について説明しました。また、3日の各町懇談会では、利根教育事務所から高橋佐知子先生をお招きして、保護者を対象とした講演会を開催しました。その際、ネットを使う上で必要な力は、「自制心」と「判断力」と「想像力」であると教わりました。



そこで、今回は『子どものための「ケータイ」ルールブック』(総合法令出版)より、基本的な考え方を紹介します。

## 「正しい知識」と「自己防衛」

インターネットやケータイの出現は、この十数年の間に確実に世界を変えました。ほしい情報がいつでもどこでも瞬時に手に入り、ほしいものに価格を比較して一番安いところから、さらには数十年前の同級生とフェイスブックを通じて再会して同窓会を開いたり、今まさに食べようとしてるものの写真を撮って世界中に公開したり……。このような技術の発展は、人々が昔から夢に思っていたことを次々と実現していき、それによって非常に便利な世の中となりました。

しかしながら、(中略)これらの技術の急激すぎる発展や



普及は、便利さと同時にさまざまな問題や犯罪、それに伴う被害も引き起こしてきました。技術の発展とともに利用者も急激に増えてきましたが、そのモラルやルール、使い方などについてはまだ発展途上な状態です。例えて言えば、道路や交通標識、免許制度などが整備されていないところに車だけが急激に増えてしまったようなものです。そして当然免許制度もないのでみんなが見よう見まねで自分本位に運転しているのです。これでは事故が起こらない訳がないと思いませんか？

インターネットは世界的につながっているため、どこか一国の法律で規制するといったことができません。そのため無法地帯のようになっている部分もあります。では、このような「無法地帯」が多く存在するインターネットを安全に、かつ便利に活用し、被害にあわないようにするためにどうすればよいでしょうか。やはりそれには「正しい知識」と「自己防衛」が不可欠だと私は考えます。インターネットやケータイ全般の最新状況について常に正しい知識を持っていけば、様々な犯罪行為から自分や子どもの身を守ることもできます。何よりそのようなことに接しないように常に防御することが大切です。

これからの世の中ではこれらの技術はもっと進化していくでしょう。そしてより複雑になっていくかもしれません。しかしながら、これらインターネットやケータイは今と同じく、私たちが生活をしていくために使う「道具」にすぎないのです。道具は私たちが正しい知識を持って使いこなし、生活を便利にしていくためのものです。決して道具に振り回されるべきではありません。

「中略」ケータイやパソコンについて「複雑すぎて分からない」、「そもそも機械が苦手」という声がよくあります。確かに最近のスマートフォンなどは特に機能が多く複雑で、私たち専門家でもたまに使用方法に戸惑ったりすることもありますが、無理はないと思います。しかし、みなさんや子どもたちはすでにこれらの機器を持って使っているのです。使っているということはその最低限の使い方はもちろん、引き起こす問題やその回避方法なども知っておく義務があります。これは車を運転して運転をするなら、その車の全ての機能や構造は知らなくても、交通ルールや事故を防いで安全に運転する方法を知っておくべきなのと同じことです。

## 夏休みの過ごし方

「月刊生徒指導」(学事出版)13年7月号に、夏休みの説明がありました。「夏休み」は俗に言う言葉です。正式には「夏季休業」と言います。「暑さのため、一つの部屋に数十人が集うややかたでは効果的に授業を進めることが困難になるため、その間を休みとせざるを得ないので。しかし、皆さんの『成長』がお休みになるわけではありませぬ。そのため、うまくこの期間を使って、ふだんの学校生活ではできない体験や挑戦をして、そこからさまざまな『学び』をしていきましょう。というのが『夏休み』の意義です。すべてを休みにするのではなく、学校というシステムの操業がお休みになる(＝休業する)だけで、皆さんの学びがお休みになっ

ているわけではないのです。」

本校では今月中旬までに、「夏休みの過ごし方」という資料を用いて、次のような重点事項を中心に、有意義な夏休みを送るよう呼びかけています。

### ●規則正しい生活

(早寝・早起き・朝ごはん、時間を守る)

●計画的な学習(宿題+自主学習)

●交通安全(安全な自転車の乗り方)

●水難事故の防止(三つの河川の遊泳禁止、川遊び)

●危険な遊び

(小中学校での花火禁止)

●外出の際の注意点

(服装、不審者、家族との約束、午後7時までの帰宅、外泊禁止、ゲームセンターへの出入り禁止)

●部活動(熱中症の予防、家庭の日)

●保健衛生(治療のすすめ)

●緊急時の連絡(ケガ、事故などに関わる担任への連絡)

●情報モラル(ネット中毒・いじめ様々なトラブルの予防、家庭でのルールづくり)

37日間に及ぶ夏休みで一回り大きく成長し、全員が笑顔で再会しましょう。

## お知らせ

### 体育着下校

7月7日(月)から9月13日(土)まで、活動時間の確保や保健衛生などを配慮し、**体育着下校**を許可します。下校時間や約束(学校指定Tシャツ、下校時や衣服の調整など)を守って、速やかな下校をお願いします。

次号は全校登校日の7月25日(金)発行予定です。主な内容は「規則正しい生活時を守り場を浄の礼を正す」「部活動」です。

# 少年の夢 をとめらの希望

生徒指導委員会発行

夏休みに入り、およそ1週間が過ぎようとしています。規則正しい生活を続けられていますか。

今号では、まず1学期を振り返り、成果や課題を確かめましょう。その際のキーワードは、国民教育の師父と呼ばれた森信三先生が提唱した「時を守り、場を淨め、礼を正す」です。

▲成果…各種集会の集合が早まった  
▲課題…遅刻者が多い

授業開始の挨拶後、学習用具をロッカーへ取りに行く「授業の始まる前に、席に着き、筆記用具、教科書、ノートを準備し、先生を待つ」。これが一番大切です。これができなくなったらとき、授業の成果は上がりません。休み時間のうちに席に着き、チャイムと同時に授業が始まることを当たり前にしましょう。



## 時を守り、場を淨め、礼を正す

# 1学期を振り返って

▲課題…声の小さい人がいる  
先聲にだけ過度なあいさつをする人がいる  
あいさつには、あなたを信用しているという意味があります。また、心理学的には、相手の心に栄養を与える行動(プラスのストローク)となります。つまり、あいさつをすることでお互いの心に元気を注いでいることにな



ります。だから、朝や帰り、授業のあいさつはとても大切なのです。

## 場を淨める

# 掃除の功德

8月20日(水)、本校で沼田中学校区子ども会議Iを開催します。きっかけは、昨年度から始まった沼田市いじめ防止子ども会議を受け、3校(沼中、沼東小、沼北小)のリーダーが集まっていじめ防止活動について話し合った小中連携の研修会です。「リーダー研修に役立った」「今度は違うテーマでも話し合ってみよう」といった声が寄せられ、今年度は2回の子ども会議を予定しています。

夏に行う1回目のテーマは「掃除」に決まりました。「無言清掃」の考え方を取り入れている小学生と、新校舎を美しく保とうとする中学生とが、お互いに意見を交換する意義は高いと考えます。後日、この紙面でも子ども会議の様子をお伝えします。

お釈迦様に「掃除の功德」という教えがあります。それには全部で五つの項目があり、第一項目は「心清浄」といいます。自分の身も心も浄めることです。「二項目は「他心清浄」です。掃除をしていて人の姿を見ると、見た人の心も浄めることができるのです。本堂にその通りだと思えます。実際、掃除をしていて人の姿を見ていると、それだけで気持ちが悪く感じることがあります。



私は朝六時過ぎに家を出るのですが、五時半ころから二年配の女性が、私の家の近所を毎朝掃除してくれているのです。それか、自由が丘駅の前を、涙の曲がったおばあさんがゴミの袋を引きずり歩いている、掃除されています。六時半ころにはきれいになっているので、かなり早くから掃除されているのだと思います。そういう人の姿を見るだけで、私の心までが浄められたような感じがします。

三項目は「諸天歡喜」といいます。すべてのものが生き生きとして喜んでくれることです。新居の街がそうです。掃除をすることで街が生き生きとして、本堂に響いているのです。(中略)四項目は「端正の業を植ゆ」といって、すべてのものが整って、心にもかまが整ってくるという教えです。これも私はお釈迦様のおしるす通りと思っています。ただ五項目だけはまだ私も体験してありません。死んだ後、天の上で生き返る「命終の後、まさに天上に生ずべけん」ということまで…(中略)。

また、掃除と心の関係については、次のような解説も書かれています。  
福井県の誕生寺というお寺の御老師さんから、何十年前前に聞いた話です。  
そのお寺には、空様のためにたくさんの方が集まっています。御老師さんが「あなたは何にをしても来たのか」とたずねると、人々は口々に「心を浄めるために来た」と答えます。「それで、あなたも心を浄めるために来たのか」と御老師さんが「はい、はい」と答えます。「取りだして置くことのできないものを、あなたはどのように浄めるのですか」と御老師さんが聞くところ、その返事に聞いて驚いてしまいました。



この御老師さんは、板橋興宗老師という方ですが、「心が取りだして置くことができない」といって、集めるものを片端から集めていく。それが間接的に自分の心を浄めることになる「人々に言われました。見ているものに心が似るのだから、目に見えるものすべてを浄め上げれば、心も浄められるというわけですね。(中略)自分の手で、集めるものを置くというところが、間接的に完結して波立たない心を穏やかにしてくれる。それが掃除が心を浄めることの本質です。ただ、掃除をしたら、腹が立つてどうしようもないときに掃除をしてみることはあります。熱くて掃除をしていざ、また掃除が立ててくると、心にはおぼろげな満足があります。

## 部活動熱中月間

次に紹介するのは、ある高校の練習場に掲げられていた部訓です。人間的な成長を目指す心構えが伝わってきます。

- 支えてくたさる全ての方々への感謝の気持ちを忘れず
- 一瞬たりとも気を抜かず
- 一本たりとも無駄にせず
- 謙虚な姿勢と不屈の闘志で練習に取り組みます
- できない事、負ける事を心の底から悔しいと思ひ
- 納得のいくまで技を追求し
- 苦しい場面でも攻める勇気を持ち
- 正念場でも仲間と自分を信じてプレーします
- チームを愛し、その一員であることに誇りを持ち
- 何事にも一生懸命に取り組む
- 上級生は思いやりと自覚と責任感
- 下級生は感謝と元氣と素直さを持ち
- どんな時も心をひとつに力を合わせます

次号は8月25日(金)に発行します。主な内容は「沼田中学校区子ども会議I」です。



# 少年の夢 をとめらの希望

生徒指導委員会発行

沼田中学校区

# 子ども会議

夏休みの終盤を迎えた8月20日(水)の午後、沼田東小、沼田北小、沼田中の3校からリーダーが32人集まり、「沼田中学校区子ども会議I」を開催しました。

昨年度、群馬県全体で重点的に取り組んだいじめ防止活動の一環として、沼田市いじめ防止子ども会議が行われました。その際、小中連携の観点から、沼中学校区の3校で事前に発表や話し合い活動を体験してみようと、独自の子ども会議を実施しました。そして、その成果として、次のような意見が寄せられました。



- 各々の学校の活動がよくわかり、参考になった。
- 中学生の姿がとても立派で、小学生は憧れていた。
- 発表や話し合いを経験して、表現力や積極性が高まった。
- リーダー研修の効果も高く、次年度は二回開催できるとよい。

これらを受けて、小中連携推進会議の場において、2回実施すること、テーマ(1回目「清掃活動の工夫」、2回目「いじめ防止」)が確認されました。

それぞれの学校の実践発表を行い、よさを確かめ合ったり、さらなる工夫などについて話し合ったりして、よりよい学校を築いていこうという気運が高まりました。



沼中からは、生徒会本部役員や生活委員長、2年生のリーダーら17名が参加し、普段の清掃活動をはじめ、今年度から始まった清掃時の放送、学期末の大掃除、5月の地域清掃、長期休業中における体育館のトイレ掃除、部活動で取り組むトレーニングを兼ねた廊下の雑巾がけなどが報告されました。

一方、小学校からは「自問清掃」や「無言清掃」などの取組が発表されました。既に小学校時代に経験しているものですが、黙って掃除することが目的ではなく、自ら「気付く」行動を大切にしていることを改めて感じました。



全体会では、ただきれいにすればいいのではなく、感謝や敬意を込めて心も磨くという考えも発表され、沼田市教育委員会の後藤一将先生から「自分の力でよりよい自分をつくる」「自分たちの力でよりよい集団をつくる」ようご助言いただきました。

この会議全体を通して、司会や話し合いをスムーズに運営する3年生の姿にリーダー性の高さを、メモを取りながら話をしっかり聴く2年生の姿勢からは可能性の高さを感じました。なお、当日配付した資料の「そうじに関するいい話」を差し上げます。希望者は担当(林)までご連絡ください。

## 生きる力・豊かな学力を高める2学期に ガイドブック

家族で、毎年のようにディズニールンドに行きます。行くたびに新たな発見があり、リーダーを飽きさせない運営努力に感心しています▼アトラクションの待ち時間に周りを眺めていると、いつも同じシーンを思います。ガイド

ブック片手に、次はどのように行動すれば良いのかといった会話が、あちらこちらから聞こえてきます。折角ディズニールンドに来たので、精一杯楽しもうという気持ちには私も同じです。元来、横着な性格なのか、私はガイドブックを見ようという気になりません▼ディズニールンドはガイドブックを見なくても、入園者喜ばせて、更なる消費を呼び起こす、また来てもらおうと、最大限に工夫されていると思っっているからです。ただその場に行っただけでは、ガイドブックは必須ではないかと思っています▼それよりも、1回限りの人生の方が、ガイドブックが必要なのではないかと思えます。ディズニールンドなら、もしも、見落としなどとしても、また行けば良いのです。しかし、人生はやり直しがききません。なによりも、ディズニールンドはお客様の立場で参加していただきますので、自ら研究しなくても、向こうが楽しませてくれるのですが、人生はお客様の立場ではありません▼そういうわけで、ディズニールンドにはガイドブックで予め研究した上で行くが、自分の人生については事前には研究しないで参加というのは、どう考えてもアンバランスに思えてなりません。人生の先輩たちが書き残してくれた書籍で十分に研究したいものです。そういう意味での、歴史であり、古典ではないのかと思う次第です。

8月の生活目標：クラスで団結し、運動会に向けて頑張ろう

次号は9月1日(月)に発行します。主な内容は「運動会」「秋の生活」などです。

(ある大学の交友会誌より)

# 少年の夢をとめらの希望

## 運動会を成功させ 最高の学級に前進!!

沼中3大行事の1つである「運動会」が実施されます。1学期から学級目標の実現に向けて努力してきましたが、うまくいった面とまだまだ課題として残っている面があります。そこで、この運動会を柱に、クラス一丸となって取り組み、学級目標のさらなる実現に向けて、2学期の好スタートを切りましょう。



### 1. 1学期の学級づくりについて振り返り、2学期に向けての思いを確かめる

- ・クラス全員で決めた学級目標が、どのくらい達成度されていたか話し合う。
- ・学級委員をはじめとするリーダーを中心に、給食当番や清掃活動の班、専門委員会のグループなどでの目標が達成されていたか、何が欠けていたかを考える。
- ・2学期からの学級の成長のため、一致団結し、運動会の成功に向けて全員で取り組むことの大切さを確かめ、全員の思いを1つにまとめる。



### 2. 学級目標の実現に向けて、どんな運動会であればいいか見通しをもつ

- ・運動会実行委員を中心に、各種目にリーダーを設けたり、旗づくりや応援の中心メンバーを決めたりして、クラスを本気で盛り上げていこうとするリーダーシップを育てる。
- ・中心となるメンバーは、運動会当日までの計画を立てる。学年種目や生徒会種目など、クラスで協力して取り組む必要がある種目については、朝や昼休みの練習等を取り入れ、「協力」「貢献」のための場を設ける。



### 3. 助け合い、励まし合う場をつくる

- ・計画を踏まえて、クラス独自の練習を行う。応援の声の大きさ、リレーのバトン練習、クラス対抗種目の取組などで、よさを称え合う場を帰りの会などに設定する。
- ・朝の会や帰りの会等で、協力・貢献できたこと、今後の課題を紹介し合う。特にがんばった個人やグループ、係などに感謝したり認め合ったりすることを大切にする。
- ・学級日誌や沼中ノートにおいて、自分や友だちのがんばりをまとめ、当日の成功に向けてクラス全体の気運を高める。



**沼中三大行事で成長を!**  
日々の学校生活の基本となる学級力を高めるために、それぞれのクラスで運動会に向けた心構えや目標、取組を話し合ってみませんか。

## お知ろせ



9月の生活目標  
学級・学年・学校で絆を深め、  
運動会を成功させよう

### ■水筒の持参

熱中症対策の一つとして、水筒の持参を認めています。1学期に配付したプリントの通り、期間は9月26日(金)

### ■体育着登校

夏の暑さや衛生面を考慮し、7月7日より体育着下校を許可していただきました。運動会での汚れも予想されることから、9月13日までとし、17日より登下校とも通学服です。なお、これに伴い、部活動終了後の片付け、着替え等がスムーズに行えるよう、自覚と工夫をお願いします。



日本漢字能力検定が実施した2011年の「今年の漢字」で第1位に輝いたのが「絆」でした。

東日本大震災で尊い命を失ったり、連絡が取れずに不安な日々を送ったりしたことから、身近な人々との絆の大切さを知りました。また、それに伴うボランティアなどの善意の絆も生まれました。

### ■通学カバン

積年の課題であった通学カバンの変更に向けて、準備が進んでいます。今年のサッカーW杯や夏の甲子園大会の映像から、安全性や機能性の高い「背負うカバン」が重宝されていることがわかりますが、今回の変更にあたり、背負うことを最優先に、さまざまな意見を集めながら何度も試作を重ね、完成しました。一見すると現行のものと同じような違いはありませんが、少し大きくなり、肩ひもが縫い付けられました。新しいカバンは、2月の入学生説明会の折に、新入生を対象に販売しますが、消費税率の引き上げや制作費の高騰により、本体価格も値上がりします。兄や姉が使用した現行モデルの使用も認めますが、販売店の在庫がなくなり、現行モデルの在庫がなくなり、今年度中は税込価格8,000円で販売するそうです。購入を希望される場合は直接、販売店までお出かけください。



改良された新型モデル

次号は9月12日(金)に発行します。主な内容は「運動会」になります。

# 少年の夢をとめらの希望

生徒指導委員会発行

13日(土)の運動会に向けて、入場行進や各種目の練習、係の準備などが進められています。特に、各クラスでは、学級対抗種目の練習に励んだり、学級旗を作成したりと、優勝を目標に団結ムードが高まっています。

そこで、『中学3年の学級経営』(明治図書)より、運動会で活躍したクラスで語られたある担任の先生の言葉を紹介します。

# 運動会で熱中するクラス

特別日課期間中、練習開始時刻は13時30分ですが、この時刻に集合するではありません。勘違いしないでください。3-Aは、この時刻に練習を開始するのです。従って、用具などの準備は、それ以前に完了していなければなりません。他のクラスは、13時30分にだらだらと集まって、そこから準備を始めることでしょうか。しかし、それでは遅いのです。この差は大きいですよ。何といっても、各種目の練習時間は1日20分、それが5日間しかとれないのですから、そうなる、準備も重要になってきますね。準備や後片付けなどの仕事は、全員がローテーションで分担します。そうすれば、一人一人の負担も少なくて済みます。

その日準備担当になった人は、いち早くグラウンドに出て、みんなが来る前に準備を完了させておきます。もちろん、後片付けまできちっとやります。どんなに素晴らしい成績でも、たとえ優勝したとしても、練習期間中の準備や後片付けがきちっとできないのでは、価値がありませんからね。

また、練習が本格化すると、トラブルも起こりやすくなります。次の言葉が掛けられたようです。

さて、毎日練習が続くと、当然疲れてきますよね。ついつい時間にルーズになったり、だらしくなったりします。「おい、早く集まれよ。」「もっと真面目にやってみよ。」そんな不満が、必ず出てきます。中には、そんな不満に対し、嫌らしい態度をとる人が出てくることもあります。せっかくなんで優勝を目指しているのに、クラスがそんな嫌な雰囲気になっては、楽しくありません。そうならないように、お互いに言葉や態度には十分気をつけてほしいのです。

疲れがたまってきた状態でも、明るい雰囲気や練習しましょう。不満や自分の都合を表に出さない気遣いが必要なのです。これは意識の問題なので、各自の努力で解決できます。そして、一人一人の自覚が生まれたとき、クラスは初めて一つになり始めます。熱中するクラスには活気があります。その要因は声です。上手くいったときの歓声、失敗したときの励ましの声、気合いを入れる掛け声……

までです。ご理解ご協力をよろしくお願ひします。

これらの声に励まされ、クラスは限界に挑戦していきます。そして、目標を達成するために必死になる過程で熱中し、心地よい一体感を味わうことと感があります。感動のドラマを期待しています。

「受験勉強は暗いもの。たいへんなもの。ガマンしてやるもの」というイメージがあるようです。けれども、それはほんとうかな? 何人かの友人に聞いてみたところ、「そういちがいに(受験勉強は大キライ!)とも言えない」という感じの答えが返ってきました。「受験勉強は目標がはっきりしているから張りあいがあった」とか、「問題ができるようになる。点数があがったりするのがうれしくて、積極的にやれた」という人がいるのです。また、「自分で勉強をやってみて、授業の中ではわからなかったけど、(ああ、そうなのか!)ってわかったところもけっこうあった」という声もありました。受験直前になるとみんな心配で胃が痛くなったりしたようですが、終わってしまつたと、「あの時がんばったのがいい思い出」となることがけっこうあるようです。

「受験勉強はイヤ、暗い」というのは、実は、「どうせだめ、苦手だからやってもムダ」という気持ち(先入観)があるからという気がします。「イヤ、苦手」が「好き」となるには、やっぱり自分が自信を持つことが大切。進歩感(前よりわかるようになってきた。できるようになってきた)。点数もとれるようになってきたが必要。そういう進歩感が自信を生んでくれるし、さらなる意欲のもとになるのです。そうやってくると、受験勉強だって、「やった分だけできるよ」になるので、面白い! などということにも

# お矢がせ

運動会 9月13日(土)

①水分補給 校庭に持ち出す際は、水筒を使用する。詰め替え用として、ペットボトルや粉末の持参を認める。

②服装・カバン 登下校は体育着。授業がないため、通学カバンではなく、サブバックでもよい。

③駐車場 ※保護者 駐車場はたいへん手狭です。乗り合わせ、または徒歩での来校にご協力ください。

④熱中症対策 ※保護者 昨年度同様、体育館を開放しています。トイレや昼食の食食にご利用ください。また、適度に水分補給しながら、ご覧ください。

⑤置き引き ※保護者 昨年度、観客席で置き引きがありました。保護者の皆様におかれましては、手荷物や貴重品の管理をお願いします。

⑥衣替え 10月1日(水)～3日(金) 通学服(冬服)の着用期間 10月1日(水)～

⑦その他 平成27年5月31日(日) トレーナー……5月末まで スニーカーソックス……着用禁止

次号は10月1日(水)に発行します。主な内容は「職場体験」「宿泊体験」などです。



# 少年の夢をとめらの希望

生徒指導委員会発行

学校教育目標の「美しい心」「高い知性」「強い身体」を日常的に育むため、自然を学びの場とする活動、スポーツや文化にかかわる活動が有効だと言われています。

## 体験活動で心を磨く

内閣総理大臣の下に発足した教育改革国民会議は、平成12年の12月に、「教育を変える17の提案」と題した最終報告をとりまとめました。その中では、  
①奉仕活動を全員が行えるようにする  
②子どもの自然体験、職場体験、芸術・文化体験等の体験学習を充実する  
③通学合宿等が異年齢交流や社会教育活動への参加を促進すること

ことを提示しています。  
沼田中学校では、毎年恒例のゴミ拾いを全校生徒で5月に行い、地域の美化に努めています。また、今年度からはキャリア教育(望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけさせる)とともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育(の改善を図っています。具体的には、2年生が行う職場体験学習は2日間から3日間へ拡大し、1年生は北毛青年の家(吾妻郡高山村)を利用する1泊2日の宿泊体験を計画しています。

『生徒指導提要』(文部科学省)には、体験活動の大切さを上手に表現した、サトウ・ハチローさんの「からだでおぼえたものは、はなれない」という詩が掲載されていました。

手でおぼえる  
足でさぐる  
目にやきつける  
胸にしみこみます

(中略)

水くみひとつにも  
上手下手がある  
米をこくのも  
めしをたくのも  
玉ネギをきざむのも  
ジャガ芋の皮をむくのも  
遊び半分では  
できない できない  
なれない仕事で  
深くむく  
母の顔が浮かび  
力のいる仕事で  
へたばると  
父の笑顔が見える

(中略)

のりこえろ のりこえろ  
からだでおぼえたものは  
からだからはなれない  
はなれない

この詩を読むと、からだ全体で体験したことは、からだが見え、そこから離れずに心に染み通ることがわかります。日々の貴重な体験の中で、よく考え、心身を鍛えていきましょう。



## 沼中生の「美しい心」

『たのしい進路指導』(仮説社)より抜粋

横断歩道で車が途切れるのを待っている沼中生がいました。その女子生徒は、止まってくださった運転手に対し、渡る前と後に1回ずつ、笑顔で挨拶をしました。当たり前のことですが、丁寧な心で、イエローハットの創業者で、日本を美しくする会相談役の鍵山秀三郎さんのお話を思い出しました。  
(「致知」26年10月号参照)

私は日本の将来を本当に心配しているんですよ。(中略)大変なのは日本人の質の低下です。  
例えば、狭い道を行き交う時に全く譲らないで自分の持ち物や体をぶつけていく人がいますよね。あるいは、気列を割って入ってくる。そう一つひとつの行為を見ると、ああ、このような生き方をしていたら必ず将来不幸になるなと。



また、対談の相手である新宿調理師専門学校校長である上神田梅雄さんは、次のような話をしていました。  
私が着任した当時、校内で生徒たちに挨拶しても返事がない。そこで、教職員の様子を見てみると、自分から挨拶はしないし、生徒から「おはようございます」と言われて「ああ、おはよう」と頭を突き出している。(中略)  
「勘違いしないで、我われが先に挨拶させていたんだらう」と言っていたんです。(中略)  
そう言い続けてきたことで、教職員の態度が変わり、その変化に呼応して

まり、かかとを揃えて、キチンと礼を返す生徒が増えてきました。まだまだだと思っていますが、前進を嬉しく感じています。  
明るい挨拶ができて、呼ばれたら気持ちよい返事のできる子は、社会に出た時に現場の人たちからきつと目を掛けられ、そして可愛がってもらえます。

明るい挨拶は沼田中学校でも大切にしている取組です。さらに、二人は夢や生き方、大切なことについて、次のように語りました。

夢というのは目標ですよ。目標というのは日常のいろいろな出来事をきちんとやった人のみが持てるんですよ。日常為すべきことを怠っていて夢を持ちたい、目標を持ちたいなんて、それは無理な話です。ですから、まずは自分の身の回りに起きる出来事、たとえ義務ではないことに対しても真摯に取り組んでいく。その時に初めて、明確な夢が持てるのだ。(鍵山)

蓮の花は泥沼の中に茎を伸ばし、そこから凛とした美しい花を咲かせます。綺麗なところから綺麗な花を咲かせるのではなく、泥にまみれる中から、穢れなき一輪の花を咲かせる。この蓮のように、私たち人間もまた、苦勞をし、泥沼に足を取られながらも、歯を食いしばって這い上がっていくことによって、人生の花を咲かせることができるのだと思います。(上神田)

本日の「衣替え」は、スムーズに移行できず、次号は10月24日(金)に発行する予定です。主な内容は「文化」「読書」などを計画しています。

# 少年の夢 をとめらの希望

生徒指導委員会発行

スポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋…。夏の厳しい暑さが影を潜め、過ごしやすくなった秋は、さまざまな活動が充実する時でもあります。

そこで、今回は「読書」をテーマに沼中の活動を見直していきます。

## 読書の秋



沼中では朝の諸活動を充実させるため、今年度からいくつかのよき変化がありました。それは、登校や活動の開始時間が5分早まったこと、学年集会の回数の減少、朝学習の実施(国語・数学・英語など)です。そんな中、全校生徒が変わらずに取り組んでいるのが「朝読書」です。

朝読書のよさを提唱している朝の読書推進協議会の理事長の大塚実子さんは、公益社団法人日本教育会が発行する「日本教育」の中で、次のように語っています。

「生徒ひとりひとりに、家庭があり、人生のドラマがある。その生徒たちが抱えるそれぞれの心模様、葛藤、苦悩、悲しみ、辛さ、悔しさを癒し、励ましてくれるのが「朝の読書」ではないだろうか。言い換えれば、勇気や希望を自分に与えてくれるのが「朝の読書」の時間だと思ふ。毎朝、みんなで十分間の読書をする。この時間に生徒は自分と向き合い、成長していく。」

そして、大塚さんは次のようなメッセージを贈ってくれています。

「学校が「朝の読書」で始まり、生徒が全員、落ち着いた気持ちで授業に臨み、「みんながひとり」を「ひとり」がみんな」を大切にすることを学び舎であって欲しい。」

「長い人生には、様々な試練が訪れる。一冊の本が乾いた心を潤し、折れた心を蘇らせる。一冊の本が、生き方を示唆し、命を救う。」

一方、蔵書をコンピュータ管理することになった図書室では、利用者や貸し出し冊数が増えたり、授業(調べ学習や朗読会など)で活用されたりと、読書活動が充実しています。

人生は人との出会いと、本との出会いで変わると言われます。

秋の夜長、すてきな本との出会いが楽しみですよ。まずは読書する時間をしっかり確保し、それを習慣化して、読書の秋を深めてください。



## 文化とは何か?

TBSの人気番組だった「3年B組 金八先生」で、主人公の坂本先生から「文化」について次のようなエピソードが語られました。

文化とは、「ぶくちり」であるとか、本安言という作家がそう言った。最初、ある男が北九州に住んでいて、ぶくちりって食べたことないけど食べてみようとならから食っちゃった。もろろんこの男はぶくちりの猛毒にあたって死んだ。

しかし、しかし。死んでゆくとき、なんかひと、言い残さなくてはいけ

## 文化発表会や合唱コンクールを一粒となつて成功させよう

小説家を志すものは、人間とは生きている価値のあるすばらしいものだ、感動できる物語を、音楽を志すものは、聞く者の魂をゆき、ふる音楽を奏でてくれ。

おっ母さんになるものは、お前たちのような受験戦争に、子どもをたたき込まないですむようなかしこい、優しいお袋になってください。そして……、この川が流れ込んだ海の向こうでは、受験戦争どころか、本物の戦争で傷口き、肉親を失い、食うものすらないお前たちと同じところの少年少女がいるということをお忘れなさい。

そして、なぜそういうことがあるのか理解できるように、そんな人間になってください。そして……、人間としての自分を生き抜いてください。



「文化」のみならず、キャリア教育に関わるヒントも感じられる熱いメッセージでした。みんなで幸せになることを大切にしたい生き方を考えていきましょう。

### ★ウインドブレイカー(防寒着)販売

24年度より学校指定の防寒着を採用し、今年で3年目を迎えました。統一されたいよ学校全体の冬支度が統一されたいよ。9月30日まで注文していただいたものは、10月27日(月)の7時30分より、学校支援センター1室で販売します。お約りがないよう準備をお願いします。

次号は11月4日(火)に発行する予定です。主な内容は「生活目標」「進路」です。



美容師になるものは、客の気配の心まで美しくなるようなそんな技術を身につけてください。看護婦になるものは、病人の苦しみ

# 少年の夢をとめらの希望

生徒指導委員会発行

沼中では学校教育目標の1つである「美しい心を磨く」ため、「心の教育全体構想図」をもとに、すべての教育活動を道徳的な観点から見つめ直し、充実を図っています。その例が「生活目標」です。生活委員会(生徒)や生徒指導委員会(教員)で検討して、毎月決めあてとなる目標を示し、先を見通した行動を心がけています。「沼中ノート」や学級の掲示物でも目にする事ができるので、常に意識しながら日々の生活を築いていきましょう。



## 11月の生活目標 「読書に親しむ」

「子どもの読書活動の推進に関する法律」が平成13年に成立しました。これは、子どもの読書活動が「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであり、社会全体で積極的にそのための環境の整備を推進していくことはきわめて重要であること」から制定されました。

### 11月の生活目標

読書に親しみ、「学びの約束」を大切にして、授業や家庭学習をより充実させよう

## 11月の生活目標 「学びの約束」

6年前、「学びの約束」が定められました。毎日5〜6時間もある授業において、よい姿勢や、確かな学習習慣を確立することは、必ず個々の学力向上につながります。三者面接や期末テストのある11月を充実させましょう。

**学びの約束** 沼中中学校

**準備** 「家庭学習」「忘れ物ゼロ」「チャイムスタート」

**挨拶** 礼に始まり、礼に終わる

**姿勢** はっきり伝え、しっかりと聴く

**返事** 「はい」と明るく、しっかりと返事

**振り返り** 繰り返し返して身に付ける

読書の様々な楽しみ方を味わってみたいと考えています。生活に役立つ本を読んだり、作者や作品群に注目し、もっといろいろな作品や別のものをたくさん読んでみたり、同じ本をも一度読んでみるのも効果的です。「沼中ノート」には、群馬県教育委員会が作成した「ぐんまの子どもにすすめたい本200選」を掲載し、図書室には特設コーナーも設置しました。読書のヒントとして活用してください。

## 心に残る歌

「PHPP」平成26年10月号より

をわがら合つてやれるような、やさしい歌が流れてきた瞬間、それが流行っていた頃のことや、耳にしたときの情景が鮮やかに蘇る。そんな歌が、お互い一つや二つあるのではない。悲しいとき、ひと寂しくなったり、人は歌を口ずさむ。そして遠い過去やふるさどに思いを馳せたり、歌にわが身を重ねて涙したりする。すると、暗く沈んでいた心がいつの間にか浄化され、少しずつ軽くなっていく。歌はそうした不思議な力を秘めているといえる。

歌にかぎらない。そこに立ち返ればおのずと慰められ、励まされる何かを、だれもがもっているはずである。くじけそうになったときにはそれに思いを寄せ、しばし浸ってみればいい。そんなふうには疲れた心を芳り慰めることで、再び前を向いて歩き出すことができるにちがいない。

文化発表会の当日、合唱コンクールや吹奏楽部の演奏に、体育館は大きな感動に包まれました。特に、長い期間をかけ、思いを込めて、クラスみんなで作り上げた合唱曲はまさに「人生の応援歌」になるでしょう。単なる思い出に留まらず、自分を励まし、支える財産が、

## 沼中生の「美しい心」

★1年生

○10月1・2日の宿泊体験学習で、宿泊先の北毛青少年自然の家(吾妻郡高山村)の担当者から、次のようなお話を伺いました。  
・体験プログラムが終了した後、「親切に教えてくださってありがとうございました。どうぞいりました」とお礼を言いに来る女子生徒がいた。

★2年生

○書写や朗読で指導いただいた字校支援ボランティアさん、職場体験でお世話になった事業所の方々へ、心温まるお礼の手紙を書いた。

★3年生

○廊下でも玄関でも、自分から進んで、爽やかなあいさつができる。  
○雑巾掛けをはじめ、掃除を一所懸命取り組める。

★課題 さらなる成長を目指して…

●**時間を守る**  
・日の入りが早くなっています。部活動終了後の下校時間を必ず守りましょう。

●**礼を正す**  
・来校者や校外でも、明るく、爽やかなあいさつを実践しましょう。

次号は11月18日(火)に発行する予定です。主な内容は「リーダー」です。



# 少年の夢 をとめらの希望

生徒指導委員会発行

生徒会本部役員選挙が近づいてきました。すでに、部活動では伝統を築いてきた3年生の後を引き継ぎ、2年生が中心となってリーダーシップを発揮しています。そこで、今回は沼中のよき発展を支える次期リーダーの活躍を願い、リーダーについて考えましょう。

## リーダーとチームワーク

サッカー界で「神様」と呼ばれ、華麗なパスやシュートで有名なジーコさん。ブラジル代表や日本代表監督としても活躍され、自らの考えを『ジーコのリーダー論』(ごま書房)にまとめました。印象深い言葉を紹介します。

リーダーは、みんなの手本になる人間でなければなりません。それは、試合や練習だけでなく、毎日の生活においてもみんなが見習うような人間であることが求められます。さらに、誰でも話ができる明るさ、間違っていると認めたことは間違っていると正しい、正しいと思ったことを主張する自分の意見を持つていなければなりません。

リーダーはみんなに信頼されなければならぬし、チームを率いるチャレンジ精神や情熱に富んでいなければならぬ。

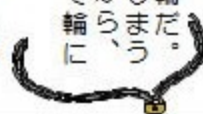
リーダーは、つねに上へ上へとチャレンジするべきだ。たとえ、それが現時点では不可能なことのように思えても、けっしてチャレンジする姿勢を忘れてはならない。

チームは、ひとつの鎖の輪だ。どれかひとつでもはずれてしまうと、輪が崩れてしまう。だから、みんながガッチリと固まって輪にならなければいけない。

個人の能力は重要である。しかし、それ以上に勝敗を分ける大きな要因となるのはチームワークだ。

自分がいい仕事をしたときも、それは自分ひとりがやった結果ではなく、チームメイトがうまくサポートしてくれた結果だということも忘れてはならない。試合後のヒーローインタビューでも、「自分が活躍できたのはみんなのおかげです」「○○くんからのいいパスがあったから、自分はただそれを蹴り込んだだけです」と、チームメイトの陰の功績を讃えられる選手であるのがふつうだ。

沼中では、各クラスの学級委員が集まる「リーダー会議」を学年ごとに開催したり、各部活動の部長が集う「部長会議」、生徒会本部役員らが参加する「沼中学区子ども会議」などを通して、リーダー性を育てています。そして、生徒会本部役員選挙や、専門委員長選挙を通じて、学校のリーダーを選出して、行事や集会の運営を進めます。また、学年集会や学級での話し合いなど、様々な経験の中で、全員にリーダー性を高めるチャンスがあります。



## 「肚(はら)」を鍛える ～明治時代のリーダー・大久保利通の気概～



明治時代のリーダーたちは、江戸時代に武士としての教育を受けていたので、「肚」の据わっている人がたくさんいました。日本人で肚が据わっている代表的な人物は、明治初期に活躍した政治家である大久保利通です。明治4(1871)年、台湾に漂着した琉球(今の沖縄)の島民 66人のうち、54人が台湾の原住民に殺される事件がありました。

明治政府は、諸国に対して日本国民を殺した罪を問ひ、事件の賠償などを求めたのですが、清国は台湾を「化外の地」(文明の及ばない地)だから関係ないと相手にしませんでした。

そこで、明治政府は台湾に出兵しました。すると、清国は、今度は日本の行動に抗議し、撤兵を要求してきたのです。

明治政府は大久保を全権大臣として北京に派遣し、清国政府と交渉することになりました。交渉は難航しましたが、あまりに大久保が粘り強く交渉するので、イギリスの公使が仲介して、清国が賠償金 50万両(テール)を支払うことになりました。

ところが大久保は、「私が来たのは謝ってもらうためだ」と断ったのです。大久保は、最終的には謝罪も 50万両(テール)の賠償金も両方得て、帰国しました。



当時の清国は、世界から「眠れる獅子」として恐れられていた時代です。一方の日本は、まだ海軍もできたばかりの頃で、戦争する武器も何もありませんでした。それにもかかわらず、大久保は「肚」で清国を圧倒したのです。

大久保は「肚」が据わっていた優れた政治家であり、外交官でした。明治時代の政治家が外交を間違わなかったのは、彼らの「肚」が据わっていたからです。だから、深刻な事態にあっても、じたばたしなかったのです。

リーダーになる人は、「肚」が据わってなければなりません。「肚」とは使命感・根性・勇気・気概・突破力といったものです。

参照：『はじめての道徳教科書』(扶桑社)

また一つ増えました。いろいろな偉人の業績や生き方から学び、自分の人生の理想、生きる目標

次号は12月1日(月)に発行する予定です。主な内容は「いじめ防止活動」です。

# 少年の夢をとめらの希望

生徒指導委員会発行

## 12月は「いじめ防止」強化月間

5月のいじめ防止強化月間の取組を踏まえ、今月も様々な活動を展開します。具体的には次のような内容です。

●相談活動の充実  
沼中では、毎月第3火曜日に「いじめ調査」というアンケートを実施しています。いじめを受けた・見たという観点で自由に記述でき、秘密保持のため、家庭で記入し、担任の先生に手渡しで提出する形式をとっています。また、いじめに関する資料詩や作文)を掲載し、予防や未然防止にも努めています。

●あいさつ運動  
今月からはその表紙に、次のようなメッセージを載せました。『月刊生徒指導』の今月号に掲載されていた相談に関する考え方は、相談は生きるうえで重要であり、身に付けてほしい力だと感じます。

●あいらつ運動  
昨年度の6月末より、学区内の小学校へ向いて「あいらつ運動」を実施しています。お互いの声が大きくなったり握手したり握り合ったりする姿も見られるようになり、よりよい人間関係を築く力が高まっているように感じられます。



12月の生活目標  
清掃の意義をよく考え、効率よくきれいに清掃活動に取り組もう

かないこともあるでしょう。そんなときは誰かに相談することが最も効果的です。しかし自分と同年代の人の場合、やはり同じ程度の知識や経験しかないことが多いのです。そんなときには、似たような相談を何年も何年も受け続けてきた立場の人が頼りになります。学校の先生もその一人です。スクールカウンセラーの先生のそうです。「先生に相談しても何の解決にもならない」と思い込んでいませんか？先生は担任一人ではありません。ほかのクラスの担任や保健室の先生、学年主任、校長先生など、あらゆる先生があなたの相談に乗る用意があります。

ちなみに社会に出ると「報告・連絡・相談」といって、誰かに相談する能力が必ず要求されます。この「誰かに相談する能力」もまた、学校で学ぶべき重要な「力」なのです。



を育てましょう。様のご参加もお願いします。また、今年度は学校支援ボランティアの皆様にも呼びかけています。期間中は、毎朝7時30分から8時10分まで、玄関前で活動しています。学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの成長を見守り、いじめのない学校をつくっていきましょう。ようご協力ください。



### 行動宣言

毎週金曜日、NHK教育テレビで「いじめをノックアウト」という番組が放映されています。AKB48の高橋みなみさんと一緒にいじめについて考える内容で、昨年度の1年生(現2年生)は番組の呼びかけに応じて、いじめをなくす行動宣言を応募しました。

●あいさつ運動  
昨年度の6月末より、学区内の小学校へ向いて「あいらつ運動」を実施しています。お互いの声が大きくなったり握手したり握り合ったりする姿も見られるようになり、よりよい人間関係を築く力が高まっているように感じられます。

自分の仮面をとり、自分の心をさらけ出す  
二ノもり  
一言の重みを考えて行動する、リカさん  
毎日20人の人と あいさつをかわす、Mさん  
絶対に「無視」しません！ みっさー  
誰にでも平等に接します。 つのつ  
短所だけで見ない 長所から探す  
僕は、いじめを注意します。 ビロボン

そこで、昨年度は全校生徒がいじめ防止標語を作成しましたが、今年度はいじめ防止強化月間中に、行動宣言を書く予定です。できた作品は、今後、生徒指導通信でお知らせしたり、掲示物で紹介したりします。えることが必要だからです。そして、これは思いや

## お矢がせ

### PTA講演会

12月2日(火)の14時より、本校体育館にてPTA講演会が行われます。今年の講師は京谷和幸先生です。京谷先生は北海道で生まれ、高校卒業後にプロサッカーチームのジュニア市原に入りました。Jリーグの開幕と共に活躍が期待されましたが、交通事故で脊髄を損傷し、車椅子での生活となりました。

☆今が人生のどん底だ。今がどん底なら、あとは何があっても今よりましだ。  
☆僕が誰に恥じることもなく、空々と一生懸命生きている姿を、娘に見せるのがいちばんいい。  
☆講演会の演題は「夢・出会い・感謝」パラリンピックへの道のり」です。当日は講演の他、本校バスケットボール部員とのフリースロー対決などの実技も披露してくださいませ。過日、各家庭や地域の回覧板で紹介されましたが、多くの皆さんのご来校をお待ちしております。

その後は、車椅子バスケットに転向し、2000年のシドニーパラリンピックから日本代表入りし、4大会連続で出場したり、北京大会では日本選手団の主将を務めたりしました。強い意志をもつ京谷先生の著書『車椅子バスケットのJリーガー』(主婦の友社)には、次のような言葉がありました。  
☆がんばってれば必ず変わる、前に進める。  
☆今が人生のどん底だ。今がどん底なら、あとは何があっても今よりましだ。  
☆僕が誰に恥じることもなく、空々と一生懸命生きている姿を、娘に見せるのがいちばんいい。  
☆講演会の演題は「夢・出会い・感謝」パラリンピックへの道のり」です。当日は講演の他、本校バスケットボール部員とのフリースロー対決などの実技も披露してくださいませ。過日、各家庭や地域の回覧板で紹介されましたが、多くの皆さんのご来校をお待ちしております。



次号は12月17日(水)に発行する予定です。主な内容は「冬の生活」です。

# 少年の夢をとめらの希望

平成26年12月17日  
生徒指導委員会発行

2学期の終業式まであと1週間、そして今年もあと半月を残すだけとなりました。朝晩の冷え込みも厳しくなり、利根沼田の寒い冬の生活も本格化してきました。そこで、安全で快適な学校生活を送るために、注意事項を確認しましょう。

## ☆服装

○華美でない「手袋・マフラー・ネックウォーマー」の着用を認めています。  
※あいさつしたり話したりする時、ポケットに手を入れているのは失礼です。安全や健康面からも手袋の着用を！  
※マフラーやネックウォーマーに隠れる男子の通学服の第一ボタンまでしっかり留めましょう。



○女子には「ストッキング・タイツ」の着用を呼びかけています。

☆室内での過ごし方  
○廊下に座り込んだり、猛スピードで走ったりしない。  
○教室や廊下、トイレ等で騒がない。  
○結露している廊下の窓に、指で落書きしない。 ※窓ふき用の器具を各教室に2個ずつ配りました。



○風邪やインフルエンザの予防として、「手洗い・うがい」の励行、暖房や加湿器の効果的な活用、教室の換気などに注意する。

## ★安全な生活

11月後半、教室やトイレの窓ガラスが割れました。どちらも清掃活動の間です。ケガはありませんでしたが、本来取り組むべき活動に一所懸命になり、互いの注意力を高め、落ち着きのある生活を心がけましょう。

## いじめのない学校を目指して

今月を「冬のいじめ防止強化月間」と位置付け、あいさつ運動の活性化、いじめをなくす「行動宣言」の作成、道徳や学級活動でいじめに関する資料を活用した授業の実施など、様々な取組を展開しています。

そこで、文化発表会において英語でスピーチした内藤篤志くん(3年・生徒会長)の「いじめを止めるために」という発表から、いじめを止めるための2つの考えを紹介いたします。

私は今、生徒会本部役員として活動し、「あいさつ運動」を実施しています。朝、中学校や小学校の玄関前に立ち、児童や生徒に「おはようございます」とあいさつをしています。この活動を始めた当初は、生徒の多くが返事をしてくれず、とても悲しい気持ちでいっぱいになりました。しかし、今、多くの生徒が笑顔で「おはようございます」と言ってくれるようになりました。なかには握手をしたり、ハイタッチしてくれたりする人もいます。こういうあいさつをしてもらえるとうれしいし、さわやかな気分になります。あいさつはコミュニケーションの第一歩です。よいあいさつをするためには、相手の立場に立ってお互いのことを考

## いじめ防止強化月間



毎朝、落ち葉を掃いたり、明るい声であいさつしたりする3年生の生徒会本部役員

私の心へとつながります。また、5月に私たちの学校では、いじめをなくすためのキーワードについて全生徒に尋ねるアンケートが実施されました。その中で多くの生徒がいじめをなくすためには「他者への思いやり」が必要だと答えていました。この結果から、私たちの学校では、友だちとよい人間関係を築こうと取り組んでいることがわかります。「沼田中学校にはいじめがない」と胸を張って言える日がすぐそこまで迫ってきているように感じます。

私の父はよくこう言います。「周りの人に何ができるかを考えよう。人にしてもらうことを考えてはいけませんよ」と。私はいつもこの言葉を心に留めて生活しています。もしみんながこのアドバイスに従って、友だちのために行えることを考えれば、お互いに信頼し合える良好な人間関係を築いていくことができると思います。そして、あたたかい心と笑顔で満ちあふれた思いやりのある社会を築いていけるのではないのでしょうか。

## 冬休みのしおり



12月24日(水)の2学期終業式を終えると、翌日から平成27年1月7日(水)までが冬休みです。各学級では「冬休みの過ごし方」という資料を用いて事前指導を進めています。安全で有意義な生活を送るための主な注意点は次の通りです。保護者の皆様には配付資料をご確認いただき、協力をお願いします。

- 規則正しい生活を心がける。
- 未処置の疾病などの治療を行う。
- 先・用件・誰と・帰宅時間」などを保護者に伝える。
- 保護者のいない外泊、ゲームセンターへの出入りを禁止する。
- 非行や問題行動をしない。仲間にも入らない。
- ネットのトラブルに気を付ける。  
※安易に電子機器を購入しない。
- 年末年始に行われる諸行事の意義を理解し、礼儀・奉仕・感謝の心を育てる。

□ 学校の閉鎖期間(12月29日〜1月3日)もあるが、事故やケガ、問題等は早めに担任へ申し出る。  
次号は1月8日(木)に発行する予定です。主な内容は「新しい心構え」です。

# 少年の夢をとめらの希望

新年・新学期がスタートしました。その日その日が最善の日になりますように、「美しい心・高い知性・強い身体」を磨いていきましょう。

## 継続するための秘訣

「充実した年にした」と「今年こそ頑張るぞ」と決意し、一週間が経過しました。また、本日は体育館で書き初めを書いたり、教室で個人目標を立てたりしました。きつとやる気の漲る瞬間になったことでしょう。しかし、一年間の三百六十五日にわたって努力を継続することは容易ではありません。そこで、優れた会社経営や日本一の掃除で知られる鍵山秀三郎さんの著書『正しく生きる』(アスコム)より、継続するための秘訣を紹介します。

人からすすめられたことを実践しても、それを継続するのはなかなかむずかしいものです。「三日坊主」とはよく言ったもので、最初は物珍しくて取り組むことができてきても、それを習慣にするのは簡単ではないわけです。なにかを継続するには、「工夫すること」が欠かせません。ふつう、単純なことは工夫する余地がないと思われていますが、そこを工夫するのです。たとえば掃除は、もう工夫するところなどどこにもないと思われています。

1月の生活目標  
うがい・手洗いを徹底して、風邪やインフルエンザを予防しよう

だから続かないわけです。



その当たり前のことを、誰もが真剣に取り組んでいないことを工夫することが、継続のエネルギーになります。工夫して改良していけば、気持ちも前向きになってやる気も起きます。つまらないと思っていたことがおもしろくなります。そうなれば、長く続けることができるでしょう。

それともうひとつ、継続するための秘訣があります。それは、自分の心の底に絶えず「人を喜ばそう」という気持ちを抱いていることです。それがない人は、いくら目先を変えてみても継続することができません。

表面的な利益を求めて、「これを習慣にすると得をする」というような考えで続けようと思っても、決してうまくはいきません。また、「誰か早く認めてくれないかな」と思ったり、打算とか名譽心とかを持ったりすると、続かないのです。

なぜ続かないかという点、自分の期待が外れるからです。甘い期待というのは、ことごとく外れるものです。そこに打算や名譽心があると、期待が外れた瞬間にいやになってしまします。継続できない人はたいてい、そのような共通点があるのです。

人生では、期待通りに行くことなどほとんどありません。そのときに自分を奮い立たせてくれるものを、それが「工夫」と「人を喜ばせたい」という願いです。

二つのヒントを念頭に置きながら、勉強や部活動に対する思いを改めて考えてみましょう。

## 美しい心 美しい行動

大雪に見舞われた昨年よりも早く銀世界となった12月19日、玄関前の駐車場には多くの生徒と教職員が集まり、除雪作業が自主的に行われました。思い返すと、晩秋の落ち葉掃きは、ご近所の方々から「長い間ここに住み、沼中生を毎年見ているが、校庭の南側に面した道路の落ち葉を掃いている姿は初めて見た。感動した。」というお言葉を伺いました。また、沼田市社会福祉協議会の職員の方々と一緒に、沼中や保健福祉センターの駐車場、東原庁舎との間にある道路などを毎朝きれいに掃く生徒も大勢いました。あいさつを交わし、大人と中学生が協力し合う、とても清々しい朝の一時でした。なお、この姿勢は冬にも引き継がれました。うすうす雪化粧した駐車場で、道具を用いてきれいにしようとする新旧生徒会本部役員や卓球部男子。用務員の原田徳樹さんによる早朝からの除雪に続き、バスケット部女子が歩道を確保しようとして雪かきを始めました。人が増えるたびに雪が消え、あっという間の作業でした。あの大雪で培われた行動が再現され、温かい輪が生まれました。



## 冬。防寒対策

前回の通信や2学期終業式の後にも確認し、メール配信システムでもお伝えしましたが、冬場の生活について共通理解を図りたいと思います。

- 「華美でない手袋・マフラー・ネックウォーマー」の着用。  
※「華美」については、全校生徒で考えました。



- 「ウインドブレーカー」を着用した登下校の許可。  
※寒い日、体調が思わしくない時、大雪の際などを想定しています。通学服による登下校を原則とし、状況を考えて行動してください。
- 「華美でない長靴・スノトレ・ブーツ」の着用を勧めています。  
※路面が凍結し、足元が不安定になります。通学靴は白色ですが、長靴等は色を限定していません。

- 2学期末、インフルエンザの感染が広がりました。教室には加湿器も備えておりますが、「手洗い・うがい・換気」に注意し、風邪やインフルエンザの蔓延を防ぎましょう。

次号は1月27日(火)に発行する予定です。主な内容は15日は沼中学区で、23日は沼田市で行う「いじめ防止子ども会議」です。

新年に贈る言葉 公歌詩人 坂村真民  
新しい年を迎えるには、新しい心構えがなくてはならぬ。決してただ漫然と迎えてはならぬ。

# 少年の夢をとめらの希望

2年生のリーダーシップが輝きました



## 沼中学区 いじめ防止子ども会議

15日(木)の午後、沼田市のいじめ防止子ども会議(23日)を前にして、沼田中学区の3校(沼田東小・沼田北小・沼田中)で、リーダー研修を兼ねた話し合い活動を行いました。今回は、総勢61名の小中学生が集まり、いじめ防止活動に関する各校の実践発表を行うだけでなく、6つのグループにおいていじめをなくすための「行動宣言」を作成するなど、主体的で協力的な高い活動に取り組みました。参加者の内訳は次の通りです。

小学生…30名  
沼中生…生徒会本部役員、部長、生活委員長、1年学級委員長



楽しく和やかな自己紹介



いじめ防止活動の取組の発表



「行動宣言」の作成

### いじめをなくす「行動宣言」 2015.1.15 於沼田中

- 1班：学年、男女平等は当たり前!! コミュニケーションで、心の和、あいさつの輪を広げよう!!
- 2班：自分の勇気で人を笑顔にする
- 3班：学年を越えて、一人一人が相手のことを考え、思いやりと勇気の心を持ち続ける
- 4班：私たちはあいさつ運動などの交流を通して仲間との「絆」を深めます
- 5班：どんなに短い言葉でも、勇気を出して言えば全てが変わる
- 6班：笑顔のあいさつから相談できる雰囲気をつくる  
大切な友達を思いやって行動しよう

グループごとに作成した「行動宣言」は短時間にもかかわらず、よく練られた素晴らしいものになりました。



「行動宣言」

この会議全体を通して、沼中生の美しい行動をたくさん目にしました。初めて訪れる中学校の図書室で、多くの中学生に囲まれて緊張している小学生をリラックスさせてあげよう、名前を言うだけの自己紹介ではなく、好きな色や食べ物を語らせて和ませたり、実践発表に対して拍手で賞賛したり、よさを丁寧な言葉で褒めたりする様子が見られました。また、話し合いの中で小学生を孤立させないように、テーブルの真ん中に配置するような座席を考えたり、全体発表で小学生に活躍の場を設けたりするグループもありました。さらに、前日の準備においては、当日配付する資料をきれいに整え、まるでレストランのナイフやフォークのように一人一人きちんとセットするきめ細やかな心遣いもなされました。これらのすべてが先生の指示で行ったものではなく、自ら考え、仲間と相談しながらできたことに、参加した小学校の先生や本校の職員からたくさんのお褒めの言葉をいただきました。このような相手を思いやる優しさ、心配りは、いじめのない学校づくりにつながることも、絆を深め、笑顔の輪が広がっていくことでしょう。

なお、23日には生徒会長の曾我龍生くん、生活委員長の星野悠くん、沼田市の参加者もいました。

## 心を込めて真剣に

校内書き初め大会

3学期初日の8日(木)、体育館にて各学年の書き初め大会を催しました。大竹秀子さんや高橋由美子さんに加え、薄根地区の堀口秀樹さんや五十木晃健さんら学校支援ボランティアさんにお世話になり、充実した時間を過ごせました。今年度は全員の作品を新校舎の廊下に展示しました。2月の授業公開日の折には、保護者の皆様もぜひご覧ください。



## お知らせ

体育着やトレーナーの名前の刺繍について

これまで体育着やトレーナーに刺繍で名前を入れておりました。その際、同じ姓がいる場合、名前の一文字目まで入っていました。過日、保護者の方からのご要望を伺い、必要性や機能性などを職員で検討した結果、今後注文していたくものからは姓のみの刺繍になります。ご承知ください。

次号は2月2日(月)に発行する予定です。主な内容は「凡事徹底」になります。

# 少年の夢 をとめらの希望

今年度の第9回文真堂書店読書感想文コンクールにおいて、県内各地の16校1108編の中から、高橋大雄くん(1年4組)が最高賞である最優秀賞を受賞しました。



本校が大切にしている「凡事徹底」についてまとめられたすばらしい内容ですので、全文を紹介いたします。

## 当たり前前の大切さ

「すごい。こんなに努力していたんだ。」本を読み終えた直後に発した言葉だった。気付くと外はもう真っ暗で、月がきれいに輝いていた。読み始めた時は太陽に照らされ、蝉がみんなと鳴いていたのに。



僕は二〇一三年の夏に甲子園を制した「前橋育英高校」の事をもっと知りたいと思ひ、この本を手にとった。

前橋育英が甲子園で優勝した理由、それは大きく三つに分けられると思った。

まず一つ目は、考えて練習するという事。育英野球部は、日々の練習でも常に試合を想定して、自分がやるべき事をこなしているようだ。ここに打球が飛んできたなら一塁へ投げる、打球が抜けてランナーがでたらゲッツーをする、といった展開を予想し、練習をする。そうする事によって、自分がやるべき事をあせらず、正確に行えるのだ。と、甲子園優勝監督で、この本の著者でもある荒井監督は言っている。僕は剣道部だが、これを読んでびっくりした。なぜなら、試合を想定して練習し

ていなかったからだ。以前までは、試合なんだから試合中に考えれば良い、と思ひ練習では言われた事をただやっているだけだった。しかし、それではもう手遅れなんだという事を知り、今は考えている。どんな練習でも、常に試合を想定して。

誰にでもできる当たり前前の事を、誰にでもできないくらい、徹底してやり続ける。凡事徹底。この本に一番多く出てきた言葉で、自分自身とでも心に残っている。そして、育英野球部がテニマに掲げている事だ。荒井監督が選手達にいつも「当たり前前の事を当たり前」と、耳にたこができるほど言い続けているそうだ。この「当たり前」とは、基本を忠実にという事だろうか。



僕は基本なんてできて当たり前前と思ひ、あまり真剣にやっていたいなかった。けれどこれは大きな間違いだった、と今は思っている。基本だからこそ、真剣にやり続ける価値があるんじゃないか、と。

「大阪で、どれだけゴミを拾っても、最初は全くなりませんでした。でも、毎日毎日、ゴミを拾い続けたら、どんどんゴミが減って、きれいになってきた。もっともっと、この町をきれいにするために、僕たちは勝ち進もうと思ひます。」荒井主将が一分間スピーチで話したそうだ。えっ、と正直思った。その前に野球をやりに来たはずなのに、なぜゴミ拾いなのか、と疑問に思った。この謎は本を読み、「日課」が関係すると思った。育英野球部は、散歩とゴミ拾いをセットで毎日行っている。ただ散歩するのではなく、ゴミ拾いを兼ねて町をきれいにするとはいふ。と、思っていた。自分だったら、毎日やり続けるのは難しいと思う。また、自分達のために勝つのではなく、町の

ため、周りの人々のために勝ち進む、という強い想いがあったからこそ優勝できたのだと思つた。

育英野球部が優勝した理由は他にもたくさんあると思う。全ての人へ感謝の気持ちを持ち続ける、日常生活をどう過ごしているか、チームの団結力などなど。しかし、僕がこの本を読んで一番感じた事、それは誰もがができる事をやっているという事だ。育英野球部は、何か特別な練習をしている訳でもない。かといって、何本も空にアーチを架けるような選手がたくさんいる訳でもない。では、どうして勝つたのか。それは、やはり一人一人が努力したからだと思ふ。一度失敗した事はもう二度としないよう、何百回、何千回と毎日毎日同じ事を繰り返す練習をする。この粘り強さがどの学校よりも優れていたという事が一番の勝利の要因だ、と僕は考える。



凡事徹底。言葉で言うのは簡単。だけれども、実行し続けるのは難しいという事が今回、身に沁みて分かった。この言葉を胸に、夢に向かって突っ走っていきたい。そして、考えていきたい。「当たり前」の積み重ねを「本物」にするために。

『新しい風』(日刊スポーツ)には、前橋育英高校をはじめ、長野西高校や川学園高校などの野球部で大切にされている考え方が紹介されています。

## 関連図書の紹介



『新しい風』に掲載されている前橋育英高校野球部

### ● 整理整頓

前橋育英のグラウンドを訪れると、いつも一面がキレイに整備されている。グラウンド脇のコンクリート部分にも、土が落ちていない。靴や野球バグだけだけでなく、自転車までもが整然と一列に並ぶ。着替などを使用する部室、部員の半分が生活している野球部寮も、しっかり整頓されている。

### ● 人固性の育成

自分でできることなんか本當にわすか、人にやってもらうほうが圧倒的に多いんです。だから、自分がやれることは100パーセントやって、人にやってもらったことは感謝する。それがまず基本だと思ふ。たとえば、ご飯を何杯食べるまで終われないなどと規則を作ってしまうと、作ってくれた人への感謝がなくなってしまう。時間を守るとか、身だしなみを整えるとか、掃除とか、そういう生活の部分を通じて社会の厳しさを教えながら、人間っぽくしてあげることが大事なのかなと。挨拶にしても、目の前でただがむしゃらに大声を張り上げていたら、グラウンドでは通用するかもしれないけど社会に出たら怒られる。それよりは、人の目を見て自然に挨拶をするほうが、社会で通用するんだぞと。

本校でも以前から「凡事徹底」を大切にしたい取組を心掛けています。高橋くんの感想文にもあるように、「当たり前」の積み重ねを大切にしていきたいです。

次号は2月20日(金)に発行する予定です。主な内容は「心構え」などです。

# 少年の夢をとめらの希望

生徒指導委員会発行

2月12日、沼田警察署において、2年生の鈴木和幸くんが表彰されました。先月、登校する際、自宅付近の住宅が着火しているのが見え、消火活動に取り組んだことが認められたものです。その表彰式で発表した原稿には、日頃の心がけや生活が重要であることが示されていましたので、紹介します。

# 努力の上に花が咲く

私が所属する沼田中卓球部は「努力の上に花が咲く」をモットーに活動しています。例えば、廊下にゴミが落ちていたりします。そこで拾うか、通り過ぎてしまうのかの二者に分かれますが、わが卓球部員は、ゴミを拾う方を選択します。誰にも評価されず褒められなくても、小さな努力を重ね、自分自身やチームに成功や成長という名の花を咲かせるために、日々の努力を大切にしているのです。さらに、次のような活動も、学校や地域のために行っています。



一つ目は「あいさつ運動」です。この活動は、毎朝、先生方をはじめ、生活委員や生徒会本部役員、部活動の有志らが玄関前に立ち、登校する生徒に「おはようございます」と声を掛けるものです。朝、生徒同士、生徒と先生が爽やかなあいさつを交わすことはとても清々しいことです。

実際、私も生活委員や卓球部の仲間と一緒に、玄関前だけでなく、沼田東小や沼田北小にも出向いてあいさつを呼び掛けていますが、学校全体が明るくなったように感じています。

二つ目は、夏の除草、秋の落ち葉掃き、冬の除雪といった奉仕作業で、顧問の先生や用務員さんと一緒に頑張っています。もちろん、この活動に当番や指示はなく、自主的に行う活動だからこそ価値があり、人の役に立てることを嬉しく感じています。その他、玄関前の花壇づくり、長期休業中の雑巾がけなども行い、学校教育目標の「美しい心」を磨くことを達成させたり、生徒会スローガンの「飛翔 関東一の学校へ」を実現したりすることにもつながっています。

先日、こんな体験をしました。その日は霧の濃い一日でした。自宅の隣にあるアパートの一室が火災に見舞われたのです。登校前に窓の外を見ると、煙のようなものが見えました。霧が動いているのかと思いましたが、それよりも明らかに色が濃く、速かったのです。外に出てみると、中にいたおじさんが毛布のようなもので火を消していました。火事だと思った私は、すぐに母を呼び、消防署に通報しました。その時です。「おーい、誰か来てくれ！」という声が聞こえました。声の先には、消火栓にホースをつないでいる男性の姿が見えました。私はすぐに現場に向かいました。実は、この数日前、学校で避難訓練がありました。その際、読んでいた資料の中に、消火栓のホースのつなぎ方が載っていたのです。今考えると、あの資料を読んでいたから、初期消火もできなかったと思います。このあつてはならない体験を通して、学



校での避難訓練の大切さ、家庭や地域における防災対策の必要性を実感しました。被災したおじさんの安否が心配ですが、今、私にできることはおじさんが無事に帰ってきてくれることを祈るばかりです。

今回、勇気をもって消火活動できたのは、沼田中卓球部で学び、鍛えた一人のための役に立つ」という心構えがあったからです。私は、自らの人生に大きな花を咲かせ、私を支えてくださった方々のために、挑戦という種に努力という水をまき続けます。

# 連絡

## ★ウインドブレイカー

原則として教室内では着用しない。体調が悪い場合は、担任や教科担当の先生に申し出てください。職員室に入室する際は着用しない。

12月中旬から許可している「登下校時の着用」は、気候の変化や体調面の安定、高校入試や卒業式に関連した服装やマナーの向上を考え、2月27日(金)までとします。

## ★通学カバン

12日の入学説明会において販売した通学カバンから、改良された新しいものに変わりました。主な特徴は、少し大きくなり、肩ベルトのクッション性が高まりました。安全性や機能性を考え、通学カバンは背負うようにしましょう。



# 入学説明会

中一キャンプを予防するピア・サポート活動

1月末に小学6年生から、中学校生活に関するさまざまな質問を預かり、生徒会本部役員や部活動の部長や主将を中心に68人の2年生が回答しました。

## 質問の例

- 部活動で先輩とどうやってたうまくいきますか。
- 他の小学校の友だちとどのようにしたら仲良くできますか。
- 勉強についていくため、最低何時間やればいいですか。
- 一番楽しい行事はなんですか。

また、12日の入学説明会では、授業や校舎を見学した新入学予定者に対し、質問の多かった学習や部活動、学校行事、生活のルールなどについて、生徒会本部役員が説明しました。不安を解消し、希望や夢を膨らませて入学してもらおうと、「ピア(仲間)同士が「サポート(支援する)」という考え方や手法をいかし、温かく思いやり溢れに溢れた言葉で伝えられました。



次号は3月2日(月)に発行する予定です。主な内容は「進路」「卒業」などです。

# 少年の夢 をとめらの希望

生徒指導委員会発行

## 卒業式

未来を見つめて



3月に入り、卒業や進級など、未来が気になる一ヶ月になりました。そこで、「月刊生徒指導」(学事出版)の平成27年3月号から関連記事を紹介いたします。

年度の最後の月になりました。卒業生は、これから新たな場所へ踏み出すこととなります。しかし、不安が大きくなることから、卒業後も学校に顔を出す人もいます。

アップル創業者のステイブ・ジョブズは、「昔を振り返るのはここでやめにしよう。大切なのは明日何が起きるかだ」と話していたそうです。

これまで親しんだ学校を卒業することとは、大きな不安かもしれません。ですが、卒業式を「ミニ」でやめにしようという「ミニ」とし、明日以降に思いを馳せてみましょう。

もうすぐ進級や卒業などで、1年間の仲間や先生、教室とお別れをする時期です。慣れ親しんだ学校や教室をよく見まわしてみてください。昇降口やロッカー、自分が使っていた机を見るだけで1年間の思い出が思い出されるでしょう。一番の思い出が詰まっている場所はどこですか？

皆さんが使っていた場所は、新しく来るメンバーが使い、思い出をつくる

と「ころ」となります。記念だからといって、くれぐれも「置き土産」などおこないないようにしましょう。

## 地道な活動が 支えになる



教員の研修のため、千葉大学教育学部の藤川大祐教授がお書きになった『授業づくりのエンタテインメント〜(学事出版)』という本を購入していただきました。その中に、AKB48に関する話題が掲載されていました。生きるうえでヒントとなる考え方がです。

2014年5月、岩手県で開催されたAKB48の握手会で、刃物をもった男がメンバーを襲い、メンバー2名とスタッフ1名が負傷する事件が起こりました。CDに握手券をつけて売ったAKB48がやり玉にあげられ、AKB48の活動がもうでなくなるのではないかとさえ、考えられました。

この事件後、東日本大震災の被災地の人たちが、AKB48の活動を強力に応援しました。AKB48グループは、東日本大震災発生直後から、繰り返し被災地訪問活動を行っています。メンバーたちは、自分たちに何が出来るのか自問自答しつつ被災地を訪れ、被災地の人たちの熱い歓迎に感謝し、自分たちの活動の意義を再認識してきました。被災地の人たちは、地元の岩手県で事件が起こったことを申し訳なく聞いて、AKB48グループの活動が止まってしまうのではないかと心配し、応援メッセージを送り続けました。AKB48グループの地道な社会貢献活動が、グ

ループの危機を救う一助となったわけ

です。  
民間企業には、社会貢献活動を行うことが当然のこととして期待されています。企業の本業でよい製品やサービスを提供することはもちろんですが、ビジネスとは別の社会貢献活動を地道に重ねることで、企業のイメージがよくなり、応援してくれるファンを増やすことができます。AKB48グループも、そのパフォーマンスでファンに喜んでもらうだけでなく、地道な社会貢献活動がいかにもときの支えとなっていたわけです。

学校も、本業である児童生徒への教育を充実させることはもちろん、地域社会への貢献を通して多くの人に応援できるようなものとなる必要があります。

今年度の沼中は、小学校へ出向いてのあいさつ運動、入学説明会に伴う新入生の手紙、部活動の訪問演奏や大会のお手伝いなどが充実していました。また、有志によるラベンダー花壇づくり、草むしり、落ち葉掃き、雪かき、学校支援ボランティア活動日の窓拭きなど、人の役に立つ多くの活動が行われ、周囲にも認められています。

### 保護者の皆様へ

## ほめる。叱る。



2月18日(水)の学校評議員会において、生徒の成長のために必要不可欠な「ほめる」「叱る」といったことが話題に上りました。ここでは、上記の「卒業式」に関する記事でも紹介した「月刊生徒指導」の中から、神田外語大学の嶋崎政男教授の「ほめる・叱る」というお話の一部を転載いたします。

誰だって叱られるよりほめられるほうが気持ちがいいものです。自己有用感や意欲を高めるのは、「ほめる」に軍配が上がります。

だからといって、非のある言動に対しても「叱る」を封印して良いはずがありません。そうせざるを得なかった気持ち(心理的事実)はしっかり受け止めても、誤った言動(客観的事実)は教え諭す(叱る)のが大人の責任です。

西川豊彦(社会事業家は、子どもの有する権利として「食う、遊ぶ、寝る」等と共に「叱られる」ことを挙げ、「叱る心の奥底には愛情がある」ことを強調しています。

ほめることの重要性を否定する人はいませんが、叱ることとのバランスについては、意見が分かれます。

二宮尊徳は「かわゆくば 五つ教え て三つほめ 一つ叱って良き人にせよ」という言葉を残しています。この言葉には、三つと二つという割合と共に、「ほめるが先」という順序性も示されています。

二宮尊徳同様「ほめ上手」で知られる、松下幸之助氏は、「人を使うには、ほめて使う、叱って使う、批判して使うなどいろいろあるが、ほめて使う人が概して成功している」と述べています。

年の瀬が押し迫った日、松下政経塾の研修会にお邪魔したときのことで す。茶室・松心庵での塾頭先生からの講話の後、受講生の一人から質問が出されました。

「松下氏は、ほめる・叱るの割合はどのくらいだったでしょうか?」「『叱る』が1割くらいでしたとの回答。」

最終号となる次回(3月12日)は発行します。主な内容は「言葉」となります。



# 少年の夢 をとめらの希望

生徒指導委員会発行

いよいよ明日は第68回卒業証書授与式、そしてあと2週間程で修了式を迎えます。そこで、卒業や進級を前に、学校教育図書が発行している小冊子「教科研究国語」第198号に掲載された山口タオさん(童話作家)の考えを引用しながらメッセージを贈ります。

先のソチ五輪では、フィギュア男子の羽生結弦選手の金メダル、41歳で複数のメダルを獲得したスキージャンプの葛西紀明選手らが日本に歓喜と興奮を与えてくれました。

そして、フィギュア女子の浅田真央選手の演技はいつまでも記憶に残ることでしょう。この大会の浅田選手は失敗ジャンプの連続で、ショートプログラムでまさかの16位に沈みました。しかし、翌日のフリーで、6種類のトリプルジャンプを跳ぶという至難のプログラムに挑み、完璧にやっ

# 人は言葉によって造られる

の陰には、佐藤信夫コーチがいました。落胆と失意で、フリー当日も放心状態にあった浅田選手に、コーチは昔、教え子が高熱に襲われながらも滑りきった話を語った後に、「あとはもうほんとに死ぬ気で駆け、もし何かあったら、私がリンクの中に助けに行けるから、自分を信じて、絶対できる。」

と、いつになく強い口調で言って、最後のリンクに送り出したそうです。これを山口さんは「あの時、浅田選手の心にコーチの信頼と自信が流れこみ、前日の孤独な自分と違う、より大きな強い心の自分と変わった。そして磨ることもなく滑走し始めた」と分析していました。そして、「人が言葉によって造られるのを見た瞬間だった」とまとめました。

また、この小冊子の中で漫画家やなせたかしさん作詞の「アンパンマンのマーチ」も例に挙げられていました。「うた、うれしいんだ、生きる喜び」

この歌(言葉)が、東日本大震災直後の被災地で、避難所や仮設住宅の人々を勇気づけているとニュースを聞いたことがありません。山口さんは「人間は誰でも自分が生きる意味に悩む。だが頭で考えても分かりっこない。生きて、喜びを感じることもだ。生きていくことが喜びなんだ。そう教えてくれている気がした」「自分は生きていく……、そう思うだけで、力が湧いてくるではないか」と語ります。

また、山口さんが出前授業の締めくくりに朗読しているサウジアラビアの宇宙飛行士スルタン・ビン・サルマン・アル・サウド氏の言葉が印象的です。「最初の一日か二日は、みんなが自分の国を指さした。三日目、四日目は、それぞれが自分の大陸を指さした。五日目、私たちの目に映っているのは、たった一つの地球だった。」



人は言葉とともに存在します。もし言葉がなかったら、コミュニケーションができません。だからこそ、言葉で多くの人をつなぐ「美しい心」をもった人間に成長して行ってほしいのです。

# スキルアップを 目ざそう

今年度の沼中は「自己肯定感の向上」を目標に、さまざまな活動に取り組んできました。みなさんは自分自身のよさに気づいていますか。気づいていないことのほうが多いのではないのでしょうか。

前回は保護者向けに自己肯定感にまつわるお話を掲載しましたが、今回は道徳の副読本である「中学道徳3」(光村図書)がいがいちばんひかるとき(光村図書)より、今から半世紀近くも前、ベトナム戦争があった頃のアメリカの中学校であったお話を紹介します。



読み終えたら、みなさんもクラスメイトとメッセージカードを交換してみませんか。

ケイト先生のクラスでは、生徒どうしの仲があまりよくなく、授業中は勝手なおしやべりが絶えることがありませんでした。そこで先生は一計を案じ、生徒に「観察力」と「人を見抜く力」のテストを行うことにしました。クラス全員のいいところや好きなところを、思いつくままに回答紙に書くように指示したのでした。



ケイト先生は、その夜、回答紙を持ち帰り、一人一人について書かれたメッセージを、丁寧に書き写しました。そして翌日、一人一人に手渡したのです。そのうちに、だんだん教室が穏やかになっていきました。ケイト先生は、もしかしら、あのメッセージが効いたのかもしれないと思いました。

それが二十年前ほどたったある日、当時の生徒の一人から、クラスメイトのマークが戦死したという連絡を受けました。先生は慌ててお葬式に駆けつけ、マークの両親から驚くような話を聞かされました。マークがなくなるまで身につけていた財布の中には、ケイト先生が心を込めて書いた、クラスメイト四十人からのメッセージが入っていたというのです。

そのうちに、クラスメイトも集まってきました。先生はかつての生徒たちに、マークの両親から聞いた話を伝えました。すると、そこに集まったクラスメイトたちが、ポケットやバッグから、一人残らずメッセージの書かれた紙を取り出したのです。そして、口々に思いを話し始めました。

「先生、マークも僕たちと同じだったと思います。このメッセージをもらうまで、自分には、いいところなんてないと思っていました。でも、自分にもこんないいところがあると、友達に認められてくれた。気づかせてくれたのです。そして、それがとてもうれしかった。落ちこんだときにも、競争に行つて命の危険を感じたときにも、自分には友達に認められてきたよさがあると思いつくと、また力が湧いてくるのを感じました。僕たちも、これのおかげで生き生きすることができたのです。」

友達からのメッセージを生きる糧にしていた例です。みなさんも人のよさを見抜く力を育てましょう。そして、自分のよさを大切に、自信をもって生きていきましょう。

一年間にわたり、「愛読ありがとう」がありました。落ち着きある学校生活の陰に、生徒の頑張り、保護者や地域の皆様の協力があったことは忘れません。感謝しています。今後とも一体となって「美しい心」を磨き続ける日々を大切にしていきたいと思います。

文責：林武史(生徒指導担当)

# 少年の夢 をとめらの希望

生徒指導委員会発行

新校舎の特別棟や広場、駐車場等が完成し、108人の新入生を迎え、新しい環境での平成26年度が始まりました。

学校教育目標  
高い知性  
美しい心  
強い身体  
を磨く生徒

今年度も上記の学校教育目標の実現を目指します。

ここで、よりよい生活を求めて、新しきよき変化があります。

## ☆新施設

# 新しき よき変化

前年度から使用している普通教室に加え、音楽室、理科室1・2、多目的室、図書室、生徒会室、配膳室、学校支援センター室が完成して、木の香りが漂う幸せな空間が広がりました。理科室の屋根には太陽光発電システムが完備され、玄関のモニターでエネルギーの学習ができたり、図書室の本の管理をパソコンで行ったりと(準備中)、質の向上も図っています。広場には植栽も加わり、心が癒やされます。ただし、校舎では珍しく、廊下の一部が十字路になっていないので、安全確保のために、廊下を走らないようにしましょう。

## 4月の生活目標 ☆新しい生活に慣れ、心も体も元気に生活しよう

## タイムスケジュール

主な活動	月曜日	火～金曜日
登校	7:30～	8:20
自主活動	7:40～	8:10
集会・学習・読書	8:20～	8:35
朝の会	8:35～	8:40
1校時	8:45～	9:35
2校時	9:45～	10:35
3校時	10:45～	11:35
4校時	11:45～	12:35
給食	12:35～	13:10
昼休み	13:10～	13:30
5校時	13:35～	14:25
6校時	14:35～	15:00
清掃	15:05～	15:20
帰りの会	15:25～	15:40
		15:50～16:05

## ☆登校・朝の活動時間

玄関の解錠はこれまで通り7時30分です。朝の活動を開始する時間が5分早まるため、ゆとりをもって、登校したり自主活動を終了させたりしましょう。また、各種集会(学校・学年・生徒)や朝読書に加え、学力向上を目指す朝学習も行います。15分間の積み重ねが大きな力となります。意欲的に取り組みましょう。

## ☆月曜日の6校時

会議のある月曜日は5校時までの授業でしたが、今年度は年間を通して、25分間の授業が組まれます。1学期は国語、2学期は英語、3学期は数学を予定し、基礎学力の定着を目指します。

# 沼中ノート 第3版

第3版の「沼中ノート」には、さらなる工夫が凝らされました。毎日の教科連絡や日記はもちろん、家庭学習の計画を立て、振り返る取り組みも大切にしていきます。

9日の5・6校時に行われた生活向上オリエンテーションでも説明しましたが、生活向上のヒントも掲載されました。



- 月曜、週曜の予定をもとに、先を見通し、目標を立て、計画的な生活を心がけましょう。
- 週末に掲載されている各教科の基礎問題を取り組んだり、「学習のヒント」を参考に学習法の改善に努めましょう。
- 「生活指針」を載せ、服装や髪型などについて、生活のきまりの確認ができるようになっていきます。
- 最近の課題になっている、いじめ防止や情報モラルおせいかみさまの情報も入りました。



- 沼中の歴史沿革や生徒数の変遷、生徒会会則等から、愛校心がより一層高まることも期待しています。
- 読書活動の充実のため、「ぐんま子どもにすすめたい本20選」の一覧を参考に、良書との出会いを楽しんでください。

## 生活向上オリエンテーション

美しい心を磨くヒント  
生活のきまり(生活指針)、相談活動、図書室の使い方や読書、保健室利用と睡眠の大切さ、部活動の考え(教育活動、凡事徹底)と期待、情報モラル、小中連携の9年間の学びなどについて説明がありました。

次に紹介するのは、昨年度も伝えたきまりに対する考えです。きまりを窮屈なもののようにとらえずに、きまりを守ることで自分が守られていると考えてみてください。

学校は、低い柵に囲まれた牧場のようになりたい。牧場の中では、端っこにいても構わない。でも、みんなを守るルールはあって、それが周りを囲む柵。ただし牢屋のようにみんなを閉じ込める場所ではないので、その柵は低ければ低いほどよい。強制ではなく、一人一人が自分の判断で柵の中に留まり、一定のルールの中でびのびと暮らす牧場を目指したい。

次号は、4月28日の発行です。主な内容は「小中連携」「連休の過ごし方」等です。

## 少年の夢をとめらの希望

生徒指導委員会発行

## 9年間の学びの連続性

沼田学区の3校(沼田東小、沼田北小、沼田中)では連携して、児童や生徒の成長を図ろうとしています。

そこで、昨年度末に共通理解しながら取り組んでいく具体的な方策が定まりました。9日(水)の生活向上オリエンテーションでも紹介されましたが、改めて確認します。これらは、今までにそれぞれの学校で身に付けてきたものばかりです。日常の「凡事徹底」を大切にして、生きる力を向上させましょう。

### ●学習ルール(学びの約束)

- ① **チャイムスタート**  
※授業の準備を完了して席に戻る。
- ② 次の授業の**準備**をしてから、休み時間にする。
- ③ 指名されたら、しっかり**返事**をする。
- ④ 授業に必要な物を持ってこない。

### ●生活ルール

- 給食：①配膳が終わったら**静かに着席**して待つ。  
②全員で**協力して準備**や片付けをする。
- 清掃：**無言清掃**をする。
- あいさつ：**心をこめてあいさつ**をする。

### ●授業

- ① 授業の冒頭で、**目標(めあて・ねらい)**を確認する。
- ② 授業の最後に、学習したことを**振り返る**。
- ③ 「結論」を言ってから「理由」を述べるなど、**論理的思考力**を高める。

### ●家庭学習(自主学習・宿題)

宿題を含め、**家庭学習**にしっかり取り組む。

### ●読書

**毎日20分以上**、読書する。

## 募集

## 図書整備 ボランティア

新校舎の北東の一角に図書室が新設されました。広くて、日当たりがよく、書棚もたくさん設置されました。利用が楽しみであり、読書活動が高まることと思います。しかし、現在は閉鎖して、蔵書のデータをパソコンに入力しています。9千冊を超える本の整理には時間がかかり、保護者や地域の皆様のお力をお借りして整備を進めたいと考えています。バーコード入力、シール貼り、本の整理をお手伝いいただける方は、学社連携担当(林武史)までご連絡ください。

### 大切な考え方

「時を守り 場を浄め 礼を正す」

## 下校時刻を守る

5分早まった登校時刻には適切に対応している姿が見られ、朝の活動への入りがスムーズになりました。そこで、毎年呼びかけている「下校時刻の厳守」も実現させていきたいと思います。時間を大切に、決まりやルールを守る姿勢を育て、安全な下校を確保したいと考えています。

部長やキャプテンを中心に声を掛け合って、完全下校時刻を守りましょう。



## ゴールデンウィークの過ごし方

月曜日	火～金曜日
4～8月	18:30
9月	18:00
10月	17:30
11～1月	17:00
2月	17:30
3月	18:00

新しい環境での生活もようやく軌道に乗りに、修学旅行(3年)や東京旅行(2年)の準備が始まりました。春季大会も本格化している中で、もうすぐゴールデンウィークに入ります。

そこで、次の目標や注意事項を意識し、有意義な生活を送りましょう。

### ◎生活目標

- ・事故や非行問題から自他を守り、節度ある生活をする。
- ・春季大会等に向けて、部活動を積極的に取り組む。
- ・宿題や自主学習、読書など、家庭生活を充実させる。

### ◎注意事項

- ・交通規則を守り、道路の横断時に細心の注意を払うなど、事故防止に努める。
- ・外出の際は複数で行動し、不審者や熊などの危険動物から身を守る。
- ・ゲームセンターへ出入りしない。
- ・カラオケボックスやボウリング場への出入りは保護者同伴とする。
- ・書店や商店で、万引きを疑われるような行為をしない。
- ・夜間は遊びに行かない。(22時以降は群馬県青少年保護育成条例により、補導の対象となります)
- ・飲酒や喫煙、無免許運転など、法律に違反する行為をしない。
- ・所属している部活以外の春季大会等へ応援に行く場合は、通学服か体育着を着用する。
- ・「生活指針」をよく読み、沼中生としての自覚を持ち、生活のきまりを守る。

次号は、5月1日に発行します。主な内容は「礼儀」「生活目標(挨拶・笑顔)」などです。



# 少年の夢をとめらの希望

昨年度より始まった「オールぐんま」が合い言葉の『いじめ防止活動』を継続し、5月と12月を強化月間に定め、さまざまな活動を展開していきます。

さかなクンの詩「魚の涙」から、誰もが幸せに暮らす社会を考えましょう。



魚の世界にもいじめがある。小さな学校の中にも、狭い社会の中にも。

中学一年生のとき、吹奏楽部でいっしょだった友人に、だれも口をきかなくなったときがありました。いばっていた先輩が、三年生になったとたん、急に無視されたこともありました。突然のことです。ぼくには訳がわかりませんでした。でも、魚の世界と似ていました。



例えば、メジナという魚は、海の中で仲良く群れて泳いでいます。狭い水槽にいっしょに入れたら、一匹を仲間はずれにして攻撃し始めたのです。ケガをしてかわいそうで、その魚を別の水槽に入れました。すると、残ったメジナは、ほかの一匹をいじめ始めました。助け出しても、また次のいじめられっ子が出てきます。

## いじめ防止活動強化月間 5月

5月の生活目標 ☆あいやつと笑顔の輪を広げ、潤いのある人間関係を築こう  
いじめっ子を水槽から出して、新たないじめっ子が現れます。広い海の中なら、こんなことはないのに、小さな世界に閉じ込めると、なぜかいじめが始まるのです。同じ場所にすみ、同じえさを食べる、同じ種類どうしです。

中学時代のいじめも、小さな部活動で起きました。ぼくは、いじめの子に「なんで？」ときけませんでした。でも、仲間外れにされた子とよく釣りに行きました。学校から離れて、海岸でいっしょに糸を垂れているだけで、その子はほっとした表情になっていました。話を聞いてあげたり、励ましたりできなかったけれど、だれかが隣にいただけで、安心してきたのかもしれない。



ぼくは変わり者ですが、大自然の中、大好きな魚に夢中になっていたら、嫌なことも忘れれます。大切な友達ができる時期、小さな籠の中でだれかをいじめたり、悩んでいたりしても、楽しい思い出は残ります。外には楽しいことがたくさんあるのに、もったいないですよ。毎日の学校生活を楽しくしているもの、どんな思いで沼中が発展を遂げているのか、

## 挨拶

『月間生徒指導』14年4月号より  
放課後の通学バスの終点でのことです。何かの部活動でしょうか。先輩が降りる前に、先輩たちが我先にと飛び出て降車場付近に立ち並び、「オツカレサマデシタ」「オツカレサマデシタ」と声を張り上げながらお辞儀をしています。その前を、先輩たちが無反応で通り過ぎていきます。あたたかも大名行列であるかのような、偉ぶった先輩たちの姿にびっくりしました。学校での先輩・後輩の関係について、みなさんはどのようなイメージをもちますか？

何か、下級生だけが上級生に礼儀正しくしなければならぬような印象があるかもしれませんね。ところが日本の礼儀作法の視点から見ると、下級生だけが一方的に上級生に礼儀正しく振る舞い、上級生がそれに対していい加減に対応するという関係は、正しくありません。下級生が示す礼儀(敬意の表現)に対して、それに釣り合うだけの礼儀(下級生を大事にする気持ちの表現)を上級生はその場で示す、という双方向の関係が、真に礼儀正しい集団としての在り方なのです。

## 笑顔

『月間生徒指導』14年5月号より  
他人と仲良くなりたいとしまししょう。あなたは、まずどんなところに気をつけようと思いますか？ 髪形や服装でしょうか。それとも面白い話のネタを増やすことでしょうか。実はどんなに外見や話題をつくらなくても、

## 5月の生活目標のキーワード

これがなかったらアウト、となるような要素が存在しません。それは笑顔です。笑顔は「あなたに敵意をもっていません」「あなたに関心や興味があります」といった、いくつものプラスの感情を一瞬で伝えることができる、夢のような「ワザ」です。学校で輝いて見えるのは、学業や部活動、係活動や委員会などの学校生活を一所懸命に笑顔で頑張っている人です。どんなに小さな課題でも全力で取り組み、笑顔で日々を過ごしましょう。友人や先生から何か声をかけられたら、笑顔で返答してください。たまに「笑わないことをクールでかっこいい」と誤解している人に出会うことがあります。たいていキヤラづくりに失敗している思い込みの激しい残念な人、と周囲は感じています。逆効果ですよ。

消費税の増税に伴う価格変更	
① トレーニングシャツ(体育着上)	税込価格 5,400円
② トレーニングパンツ(体育着下)	税込価格 3,672円
③ 半袖Tシャツ	税込価格 2,160円
④ クォーターパンツ	税込価格 2,365円
※①~④のサイズは、「150、SS、S、M、L、LL、3L、4L」です。	
⑤ 厚地トレーナー	税込価格 3,499円
150~LL	税込価格 3,704円
3L	税込価格 3,456円
⑥ 上履き	税込価格 3,456円

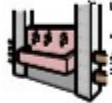
お知らせ  
次号は、5月26日に発行します。主な内容は「沼田中学校」「愛校心」などです。

# 少年の夢をとめらの希望

生徒指導委員会発行

## 沼中

開校68年目を迎えた沼田中学校では、明日、新校舎完成記念式典が行われます。そこで、以前、「沼中」や愛校心について、次のような質問をしました。



### 沼中はどんな学校？

元氣、伝統がある、明るい、大きい、みんなが支え合っている。みんなに愛されている。 など

### 沼中のよさはどんなところ？

校庭の広さ、大きな校舎、あいさつ、教室の多さ、生徒数の多さ、元氣、部活動の種類や成績、礼儀、伝統、長い歴史、先生、生徒同士の仲のよさ、卒業生の活躍、敷地内の樹木。 など

### 沼中のために頑張っていることは？

掃除、あいさつ、専門委員会の活動、部活動、ボランティア活動。 など

### 沼中のために頑張っている人は？

校長先生、教頭先生、先生方、事務の先生、用務員さん、PTA、保護者、地域の方、生徒会本部役員、各専門委員長、各部の部長や主将、一人一人の生徒。 など

### 沼中をどんな学校にしたい？

礼儀正しい、周囲からよく見られる、伝統と歴史を守る、一人一人が輝く、みんなが沼中に貢献する。 など



## 愛校心

きたのか、また、自分はどういう学校づくりに関わればよいのかを意識することは少ないと思われまふ。しかし、どの学校にも、多くの人々が守り伝えてきた行事や自分たちの手でつくる活動があり、学校に関わる人々の思いや努力があります。本来、自分の学校を愛し大切にしようとする気持ちは、学校とこの間わりの中で育まれていくものです。また、誰にでも、誇れる母校をもちたいという気持ちがあります。そして、学校への思いをはっきりと表明できないものの、「こんな学校がいい」という願いはもっていると考えます。そこで、沼中の発展に尽力した卒業生から、草創期の学校づくり、沼中の歴史や伝統について伺ったとおきのエピソードを紹介します。



新校舎完成という節目に、先輩たちの思いや願いを感じ、「沼中をよりよくしていくために、自分に何ができるか」「どういった気持ちをもって校風(伝統)を守っていけばよいのか」を考えてみましょう。そして、沼中に対する所属意識を高めるとともに、沼中をより発展させていこうとする自覚を高めていきたいと思います。また、行事や諸活動に進んで関わる学校の文化や伝統を大切にしていこうとする心情を育てましょう。



草創期の沼中

## 沼中とは

沼中は今年度、創立68周年を迎えました。教育基本法の公布による6・3制の新教育の実施に伴って、昭和18年8月までは元陸軍東部第41部隊の兵舎であった建物を使用して、昭和22年4月に開校しました。創立当時、教職員や保護者、生徒や地域の方々が一致協力して、校舎の整備や校庭の整地作業を行ったそうです。それ以来、70年近くにわたって多くの方々の情熱と努力により、大きな発展を遂げています。

生徒数も年々増加し、昭和37年には68年間の歴史において過去最大の1839人となり、県下一のマンモス校と呼ばれました。また、文化活動や体育活動においては、卓球部の全国優勝をはじめとして、全中3位の剣道部、連覇を重ねた水泳部など、県内外で活躍が目立ちます。さらに、同窓生(卒業生)は2万人を超え、沼田はもとより全国各地において重要なポストに就き、大活躍されています。

### 創立当時の沼中

元陸軍東部第41部隊の兵舎は、終戦後、米軍の施設として活用されていました。しかし、廃墟と化した兵舎は、窓ガラスが割れ、敷地内には戦車を格納したと言われている深い壕や高い土手があり、荒れ放題の状態だったそうです。



校舎となった旧兵舎は廊下を挟んで南北に教室がありました。したがって、北側の教室は暗く、冬はとても寒かったようです。また、生徒が使いはじめの前に清掃にあたった方の話では、割れたままの窓ガラス、ひどい汚れやほこり、ノミが跳んでくるなど、かなり荒

んだ状態だったそうです。さらに、床下からは、防毒マスクや短剣も見られたそうです。

校庭には幅の広い溝(壕)が100m以上にわたって掘られてあったため、まずは校庭や建物を整備することが先決と考え、教職員や保護者、生徒や地域の方々が一致協力して、泥にまみれ、汗を流して、校舎の整備や校庭の整地作業を行ったそうです。具体的には、授業時間や夏休みを使って、1mを超え、高い土手を崩して壕を埋めたり、朝礼のたびに軽石を拾ったりして整地し、ようやく校庭として使用できるようになりました。



川原からの砂運び

時には、校舎の下に潜って武器を拾ったこともあったそうです。特に、走り幅跳びで使用する砂場づくりはとても大変だったようです。現在の沼田病院の下から片品川の川原に降りて、生徒一人一人が川砂を集め、砂袋を担いで運び上げるといった作業を繰り返したそうです。当時のエネルギーはそれに留まらず、生徒会の必要性を感じた生徒や先生が積極的に結成運動に参加し、先輩の視察にも出掛けたそうです。現在ある部活動の他に、ラジオ部や自動車部などもあったそうです。ラジオ部は、音楽の授業で使用する音響装置の作成を先生から依頼され、自ら作ったものが本当に使われ、喜びや有る感、誇りを感じながら、授業に参加したり、部活動に励んだりしたそうです。

# 新しい沼中

玄関に入った瞬間から木の香りを感じる木造平屋の新校舎。ここで学べる毎日を、幸せに感じている人は多いことと思います。

平成24年の夏から南校舎の解体が始まり、万葉の森や池も姿を消しました。全クラスが北校舎へ引っ越し、音楽室やパソコン室を改修して不揃いの教室が設けられました。また、プレハブの建物も2ヶ所も新設され、保健室・相談室・校長室・事務室・会議室が並ぶものと、音楽室・図書室・多目的室が入る二階建てのものがありました。また、それに併せて東校舎内も改修が進められました。

25年度からは全体の2/3が完成した新校舎での生活が始まりました。教室、少人数教室、職員室、校長室、会議室、事務室、保健室、相談室I・II、用務員室、印刷室、放送室、広場などが新設されました。高い天井、広くて長い廊下、自動で点灯するトイレなどが特徴的で、心地よく過ごしやすい空間が誕生しました。また、校歌をベースにしたチャイムが鳴り、一ヶ所に集中した玄関ではあいさつの声がこだましたり、玄関前の花壇やプランターや花づくりに取り組んだり、小中連携のあいさつ運動やいじめ防止会議などを行ったりするなど、新たな取り組みも見られるようになりまし



ラベンダーが咲く花壇



南校舎



北校舎

北校舎の跡地には、多目的室、図書室、配膳室、理科室I・II、生徒会室、音楽室など、特別棟が新設されました。どの部屋も旧校舎に比べると広く、開放的な空間での学びが実現しました。また、広場には待望の植栽が加わり、都会の公園のような雰囲気になりました。憩いの場が誕生しました。

## 校舎の紹介



運動も活発になっ

ています。また、理科室の屋根に設置された太陽光パネルに関するモニターも稼働しています。

廊下 学校という建物では珍しい十字路があります。また、とても広くて長いため、安全な生活を送れるよう、走らないように注意しましょう。



## トイレ

トイレに入ると自動で照明が点灯します。「シヨップングモールやサービスイリアみたい」と、生徒や来校者の感動の声音が響く聞かれるところでも、そのせいか使い方のマナーも清掃も向上しています。



## 広場



校舎に囲まれた4ヶ所の広場は、少しずつ違いが見られます。図書室前には同窓会・後援会・PTAから寄贈された「紅白しだれ梅」が植えられました。また、中低木から宿根草にいたるまで、それぞれの植物には美術部員による名札が付けられました。

## 「き」の話

いろいろな県産材がたくさん使われた木のぬくもりと香りを感じる新校舎。豪雪に見舞われた冬も、温かく感じたという声が多く聞かれました。そこで、「木」を「気」に換えて考えていきま

- 気が付く人
- 気が利く人
- 気配りのできる人
- 気遣いのできる人

新校舎を大切に、丁寧に使うことはもちろんですが、幸せな環境の中で、人として大きく成長していくことを願っています。



## 学校=みんなの宝物

本来、学校とは、生徒にとってみれば、先生、友だち、先輩、後輩との出会いの場であり、人間形成の場です。中学生にとって、一日の大半を過ごす学級や学校は主要な生活の場になっているため、自分という存在を集団の中に見つめること、所属する集団を大切に思うことは非常に大切なことだと思えます。そして、授業や部活、学校行事などに対して、意欲的に取り組むために、生徒同士、教師や保護者、地域の方々に対して、感謝と敬愛の念を深める態度を育てていきたいものです。

そのために必要なことは、集団の一員であるという所属感を体感することです。明日の新校舎完成記念式典を通して、沼中への所属感を感じ、所属意識を高めることが、母校を愛し、大切にしていこうとする気持ちの育成につながると思えます。そして、同じ学校で生活し歴史を築いた先輩方の思い、常に温かく見守ってくださる地域の皆様の願いや期待を感じたり、理解したりしていくことでも、愛校高まり、沼中をより一層大好きになっていくのだと思えます。

新校舎の完成という節目に、沼中の発展に寄与された方々に対する尊敬と感謝の思いを深めましょう。そして、伝統を守り、受け継ぐことの自覚を高め、よりよい学校をつくるために、自分たちが何ができるのかを考え、今後も協力して沼中を発展させていきましょう。

次号は6月22日(月)発行予定です。主な内容は「衣替え」「6月の生活目標」です。

# 少年の夢 をとめらの希望

## 日本の伝統 季節の風物詩 衣替え

先週は真夏を感じさせる猛暑日もあり、夏の足音が一気に聞こえてきました。1週間に及ぶ衣替えの移行期間も終わり、男女ともに白い衣服の爽やかな季節がやってきました。

### 春過ぎて夏きたるらし 白妙の 衣ほしたり 天の香具山

『万葉集』 持統天皇



「春が過ぎて夏がやって来たようです。白い布が干してありますね、あの天の香具山に」という意味の和歌に代表されるように、日本では昔から、白い色が夏を象徴していたり、夏が近づくと一斉に衣服を替えたりする習慣があったようです。

最近では、「クールビズ」といった言葉も、新しい服飾文化として定着し、「衣替え」を楽しむような風潮もあります。本校でも、日本の伝統、季節の風物詩である「衣替え」の考え方にならない、本日より夏服になります。衣服で体温の調節をして、熱中症を予防するとともに、爽やかに清潔な生活を心がけましょう。なお、細かい注意点は次に示す通りです。

6月の生活目標① (1~5日)

## マラソン大会に全力で取り組もう

□ 夏服着用期間

6月2日(月)～9月30日(火)

□ 移行期間

10月1日(水)～10月3日(金)

□ 注意事項

- ・肌寒い場合は通学服を着用する。
- ・トレーナーの着用は10～5月とし、移行期間はない。
- ・スニーカーソックスは、夏服着用期間に限り使用できるが、儀式や行事のときは、くるぶしが隠れるものを着用する。
- ・Yシャツのボタン、ベルトの色や形状、スカートの丈などは、「生活指針」による。
- ※気候(暑さ)や健康面を配慮し、およそ7月から9月をめどに体育着での下校を許可する。

## 熱中症対策

5月末に連続した猛暑日、都市部では大会や校内マラソン大会に向けた練習の強化を受けて、水筒の持参が許可されました。



□ 期間 5月30日(金)～9月26日(金)

□ 確認事項

- ・持参できるのは水筒のみで、ペットボトル等の形状は禁止。
- ・中身は「水、お茶、スポーツ飲料」に限定。粉末のスポーツ飲料の持参は禁止。
- ・持参は強制ではないが、できるだけ持参する。

6月の生活目標② (6～30日)

## 読書に親しみ、「学びの約束」を大切に 授業や家庭学習を充実させよう

# 沼田中学校 いじめ防止 基本方針

今年度の4月、本校は、「いじめ防止対策推進法」、国の「いじめの防止等のための基本方針」、「群馬県いじめ防止基本方針」を受け、「沼田中学校いじめ防止基本方針」を策定しました。その方針はA4用紙12ページに及ぶため、A3用紙の表裏に要約したダイジェスト版を、生徒を通じて全家庭に配付いたしました。

主な内容は次の通りです。

- ・基本方針策定の意義
- ・いじめ防止に関わる基本的な考え
- ・「いじめに対する正しい理解」
- ・「未然防止/早期発見・対応」
- ・重大事態への対処
- ・いじめ防止対策委員会(組織)
- ・わかる授業の実現
- ・「学習規律の徹底」
- ・「学び合い」確かな学力の定着
- ・道徳教育、人権教育の推進
- ・生徒会活動の充実
- ・「あいち運動」ピア・サポート
- ・「沼田学区いじめ防止子ども会議」
- ・道徳教育、情報モラル指導の充実
- ・学校間や他機関との連携



- ・教育相談活動の充実
- ・「いじめ調査」「沼中ノート」
- ・教育部活動の展開
- ・早期解消に向けた取組
- ・「家庭との連携」

## 修学旅行の感動

5月17日(土)の修学旅行の沼田中、グループごとにタクシーに乗車し、都内を見学しました。運転手さんの親切で丁寧な説明に感謝し、それぞれが感謝の言葉を込めた挨拶をして、無事にホテルへ戻ってきました。すべての班が到着すると、添乗員さんが「数名の運転手が「別れ際に、内緒で買ってくれたお菓子やキーホルダーをもらいました。長い間の仕事をしていますが、修学旅行生からお礼の品をいただくのは初めてで、涙が出ました」という報告を受けました。本当にステキな生徒ですね」と教えてくださいました。「美しい心」が京都でも実現した感動の瞬間でした。3年生、素晴らしい。



タクシー研修



次号は6月19日(水)発行予定です。主な内容は「読書・学習」「図書室」です。

# 少年の夢をとめらの希望

生徒指導委員会発行

## 沼中図書室OPEN



新校舎北側の一角にある図書室がオープンしました。3月末から、学校番号を付けるシール貼り、書名や著者名などのデータをパソコン管理するためのバーコード入力、日本十進分類法(NDC)による分類や整理などを、教職員や図書ボランティアの方々、システムを導入してくださった業者の皆様で行いました。特に、23名の図書ボランティアさんには、およそ1ヶ月にわたって毎日お世話になり、時には昼食も休憩も取らずに、

一日中作業していただくこともありました。また、「新校舎完成記念式典が行われる5月27日までに、図書室の整備も完成させましょう」と声を掛け合い、高い意識、チームワークのよさ、生徒に対する思いなど、見習ったり、学んだりとすることが多くありました。お世話になりました関係者の皆様には、本当に感謝しています。なお、5月末には図書委員会の生徒が、自ら本を借りたり返したりする体験を通して、仕事のしかたを身に付けました。その後、国語科の授業で、全クラスがオリエンテーションを実施し、全校生徒が本を借り、6月から休みの貸し出しも始まりました。



コンピューターを使って読みたい本を検索したり、100種類に分類された書棚から本を選んだり、使いやすい図書室になりました。また、やがては人気のある本のランキング表を作成したり、

予約システムを導入したりできるソフトで管理し始めたことから、夢が広がる楽しい図書室になりそうです。実際に利用者や貸し出し数も増え、「本が探しやすい」「明るくてきれい」「読みたい本がたくさんある」「パソコンの検索システムが便利」「授業で使ったが、グループで活動しやすかった」といった声が聞こえています。恵まれた環境に感謝し、読書活動を充実させましょう。

### 家族で本を読みましよう

沼田市教育委員会では、読書活動の充実を図るため、

- 学校や家庭における読書活動の工夫及び読書習慣づくりの推進
- 沼田市立図書館と連携した学校図書館の充実と利活用の促進を提唱しています。

特に、家庭における読書活動の充実に向け、視点をあてた「家族で本を読みましよう」の取組では、次の3つが強調されています。

- ① 保護者の「読み聞かせ」
- ② 20分間の「家族読書」
- ③ 家族で一緒に「本選び」

家族で図書館や書店へ出かける時間をつくり、一緒に本を選びましょう。記念日に本をプレゼントすると、思い出の一冊として、いつまでも記憶に残ります。また、家族で読書に取り組むと、次のような効果が期待できます。

- ☆ 読書習慣が定着し、学力(考える力・知識)が向上する
- ☆ 豊かな感性や情操・思いやりの心が育まれる
- ☆ 家族のコミュニケーションが深まる。

### 期末テスト迫る

今年度は中間テストがなく、1学期の期末テストが初めての定期テストとなります。6月後半の生活目標が「読書に親しみ、**「学びの約束」を大切に**して、**授業や家庭学習を充実させよう**」であるように、学習面を強化させたい1ヶ月です。

期末テストは25日(水)、26日(木)に行われるため、22日から25日まで部活動も休みになります。授業や単元テスト、各種ワーク類やプリントをよく復習して、十分な準備でテストに備えましょう。

### 生活面での注意事項

- 過日の生徒集会で、次のような話(注意事項)を確認しました。注意力を高めて生活しましょう。
- 服装や頭髪を正しく整える
  - ・ 男子：ヘルト
  - ・ 女子：スカート丈 など
- 室内で落ち着いて通す
  - ・ 廊下を走らない
  - ・ 器物破損に注意する
- 駐車場で車の注意を払う
  - ・ 車と車の狭い空間をわざわざ通らない

次号は7月1日(火)発行予定です。主な内容は「中体連総体」になります。



# 少年の夢 をとめらの希望

生徒指導委員会発行

## 二〇一四夏 「総合力で勝負！」

### 中体連総合体育大会 近づくと



体を鍛え、技を身に付け、心を磨いている部活動も、集大成の夏を迎えます。12日から始まる市大会、29日からの県大会をはじめ、8月上旬の関東大会、夏休み終盤の全国大会(今年度は四国ブロックが会場)まで、熱戦が繰り広げられます。

沼田中学校では、沼田市教育委員会提唱の「教育部活動」の考え方をいかし、日々の活動に取り組んでいます。仲間と共に汗や涙を流し、絆を深めてきた総合力で顔張り(頑張)りましょう。

### 心・技・体



「心・技・体」という言葉は、スポーツの世界でよく使われます。強い選手を見て、「あの選手は心技体のバランスが整っている」などと言います。心技体の最初に「心」があるように、技術や体力の向上も、精神力が基盤にあってのことでしょう。(中略)

では、安定した精神状態を保つには、どうすればよいでしょうか。  
「人は同じことを毎日同じ時間に、繰り返し行っていると、素晴らしい心境に達する」といわれます。この行為は、単調なことほど効果があります。また、その極みは、「座禅」です。また、座禅の修行場へ行くことができない人

でも、身近なところで、それに匹敵する実践があります。

例えば、毎朝時間を決めて起きること、家庭や職場で場所と時間を決めて掃除に取り組むのもよいでしょう。効果を出すには、同じことを同じ時間に、繰り返しやることです。  
【職場の教養】14年2月号 倫理研究所

### 目標達成への道のり

目標が確実に達成されていくことが、発展につながり、個人的な成長にもつながることは、言うまでもありません。しかし、目標を達成することは、容易ではありません。そこで、若実に実績を積み上げてきた偉人の言葉は、大いに参考になるものです。

メジャーリーグ史上、数々の偉業を成し遂げたイチロー選手は「今自分ができること。頑張ればできそうなこと。そういうことを積み重ねないと、遠くの目標には近づいてこない」という有名な言葉を残しています。

遠くの目標だけを見ていては、達成への不安が生じ、尻込みしてしまうでしょう。だからこそ、今できることを積み重ねていくのです。そして「目標は必ず達成できる」と思えば、楽な気持ちで、集中して臨めるはずです。  
【職場の教養】14年2月号 倫理研究所

### 為せば成る



スポーツや芸能など、第一入者といわれる人が、偉業を成し遂げたというニュースに接した時、私たちの受け止め方は実に様々です。「相当な努力をしたのだらう。自分も何か新しいことにチャレンジしよう」と、前向きに受け止める人、「あんなこと自分にはとてもできない」と諦め

らあきらめて、他人事として眺めて終わってしまう人もいます。米沢藩の第九代藩主・上杉鷹山は、「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」と通しました。

どんな偉業でも、日常の小事でも、「やらなければ何もできない、やれば大抵のことはできる」という意味です。当たり前のことですが、それゆえに忘れがちな大切な心掛けを教えてください。

これまで「できない」と思っていたことのほとんどは、実は「やっていたい」ことが意外と多いものです。目の前に立ちあがる困難が大きいほど、一歩目をしっかりと踏み出して、まず動いてみましょう。まずやってみましょう。  
【職場の教養】14年2月号 倫理研究所

### 東方もチームの一員



二〇二〇年のオリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決まった時、多くの関係者が「チーム一丸となって勝ち取った勝利」と口にしました。チームとは、「共同で仕事を一回のひと」という意味があります。さらに一歩踏み込めば、達成すべき目標を共有した人たちが、強い意志を持って、それぞれが与えられたポジションで最善を尽くす集団ともいえるでしょう。

脚光を浴びるのは、東京をアピールしたプレゼンターです。しかし、そこに至るまでに、見えないところで、多くの人々の尽力があったはずで、今年の箱根駅伝では、東洋大学が総合優勝を果たしました。優勝という成果は、日々の練習から、「一秒を削り出せ」と切磋琢磨してきた証でしょう。その一方で、忘れてはならないのは

当日走れない選手が裏方に徹して、表舞台のランナーを支えていたということ。表に出てなくても、皆チームの一員です。個の役割に徹し、それぞれが緊密に連携して、全体の目標を達成したいものです。  
【職場の教養】14年3月号 倫理研究所

7月の生活目標  
互いに磨き合い、高め合って、沼中力を発揮しよう

近年、「熱中症」という言葉をよく聞くようになりました。蒸し暑い状況が長く続き、発汗によって体内の水分や塩分が失われたり、逆に汗が出ずに体の中に熱がこもった状態になると熱中症が起こりやすくなります。

熱中症予防には、日頃からの健康管理が大切です。次のポイントに注意しましょう。

- こまめな水分補給
- こまめな休憩
- できるだけ薄着
- 直射日光の下では帽子着用
- 体調不良のときは、運動をひかえる
- 体を暑さに慣らす
- バランスよく食べる
- 運動後によく休む
- 十分な睡眠をとる

次号は7月14日(月)発行予定です。主な内容は「夏休みの過ごし方」「情報モラル」などです。



# 少年の夢をとめらの希望

生徒指導委員会発行

先日、学級担任から「ネット社会の光と陰」という情報モラルに関する資料を配付し、ネットとの関わり方について説明しました。また、3日の各町懇談会では、利根教育事務所から高橋佐知子先生をお招きして、保護者を対象とした講演会を開催しました。その際、ネットを使う上で必要な力は、「自制心」と「判断力」と「想像力」であると教わりました。



そこで、今回は『子どものための「ケータイ」ルールブック』(総合法令出版)より、基本的な考え方を紹介します。

## 「正しい知識」と「自己防衛」

インターネットやケータイの出現は、この十数年の間に確実に世界を変えました。ほしい情報がいつでもどこでも瞬時に手に入り、ほしいものに価格を比較して一番安いところから、さらには数十年前の同級生とフェイスブックを通じて再会して同窓会を開いたり、今まさに食べようとしてるものの写真を撮って世界中に公開したり……。このような技術の発展は、人々が昔から夢に思っていたことを次々と実現していき、それによって非常に便利な世の中となりました。

しかしながら、(中略)これらの技術の急激すぎる発展や



普及は、便利さと同時にさまざまな問題や犯罪、それに伴う被害も引き起こしてきました。技術の発展とともに利用者も急激に増えてきましたが、そのモラルやルール、使い方などについてはまだ発展途上な状態です。例えて言えば、道路や交通標識、免許制度などが整備されていないところに車だけが急激に増えてしまったようなものです。そして当然免許制度もないのでみんなが見よう見まねで自分本位に運転しているのです。これでは事故が起こらない訳がないと思いませんか？

インターネットは世界的につながっているため、どこか一国の法律で規制するといったことができません。そのため無法地帯のようになっている部分もあります。では、このような「無法地帯」が多く存在するインターネットを安全に、かつ便利に活用し、被害にあわないようにするためにどうすればよいでしょうか。やはりそれには「正しい知識」と「自己防衛」が不可欠だと私は考えます。インターネットやケータイ全般の最新状況について常に正しい知識を持っていけば、様々な犯罪行為から自分や子どもの身を守ることもできますし、何よりそのようなことに接しないように常に防御することができるとは思います。

これからの世の中ではこれらの技術はもっと進化していくでしょう。そしてより複雑になっていくかもしれません。しかしながら、これらインターネットやケータイは今と同じく、私たちが生活をしていくために使う「道具」にすぎないのです。道具は私たちが正しい知識を持って使いこなし、生活を便利にしていくためのものです。決して道具に振り回されるべきではありません。



## 夏休みの過ごし方

目代純平(IT会社代表取締役)

「月刊生徒指導」(学事出版)13年7月号に、夏休みの説明がありました。「夏休み」は俗に言う言葉です。正式には「夏季休業」と言います。「暑さのため、一つの部屋に数十人が集うややかたでは効果的に授業を進めることが困難になるため、その間を休みとせざるを得ないので。しかし、皆さんの『成長』がお休みになるわけではありませぬ。そのため、うまくこの期間を使って、ふだんの学校生活ではできない体験や挑戦をして、そこからさまざまな『学び』をしていきましょう。というのが『夏休み』の意義です。すべてを休みにするのではなく、学校というシステムの操業がお休みになる(＝休業する)だけで、皆さんの学びがお休みになっ

定です。主な内容は「規則正しい生活時間を守り、場を浄の礼を正す」「部活動」です。

## お知らせ

### 体育着下校

7月7日(月)から9月13日(土)まで、活動時間の確保や保健衛生などを配慮し、**体育着下校**を許可します。下校時間や約束(学校指定Tシャツ、ジャケットの調整など)を守って、速やかな下校をお願いします。

本校では今月中旬までに、「夏休みの過ごし方」という資料を用いて、次のような重点事項を中心に、有意義な夏休みを送るよう呼びかけています。



- 規則正しい生活 (早寝・早起き・朝ごはん、時間を守る)
- 計画的な学習(宿題+自主学習)
- 交通安全(安全な自転車の乗り方)
- 水難事故の防止(三つの河川の遊泳禁止、川遊び)
- 危険な遊び (小中学校での花火禁止)
- 外出の際の注意点 (服装、不審者、家族との約束、午後7時までの帰宅、外泊禁止、ゲームセンターへの出入り禁止)
- 部活動(熱中症の予防、家庭の日)
- 保健衛生(治療のすすめ)
- 緊急時の連絡(ケガ、事故などに関わる担任への連絡)
- 情報モラル(ネット中毒・いじめ様々なトラブルの予防、家庭でのルールづくり)

37日間に及ぶ夏休みで一回り大きく成長し、全員が笑顔で再会しましょう。

# 少年の夢をとめらの希望

生徒指導委員会発行

夏休みに入り、およそ1週間が過ぎようとしています。規則正しい生活を続けられていますか。

今号では、まず1学期を振り返り、成果や課題を確かめましょう。その際のキーワードは、国民教育の師父と呼ばれた森信三先生が提唱した「時を守り、場を淨め、礼を正す」です。



▲課題：遅刻者が多い

授業開始の挨拶後、学習用具をロッカーへ取りに行く

「授業の始まる前に、席に着き、筆記用具、教科書、ノートを準備し、先生を待つ」。これが一番大切です。

これができなくなると、授業の成果は上がりません。休み時間のうちに席に着き、チャイムと同時に授業が始まることを当たり前にしましょう。



## 時を守り、場を淨め、礼を正す

▲課題：声が小さい人がいる

先輩にだけ過度なあいさつをする人がいる

あいさつには、あなたを信用しているという意味があります。また、心理学的には、相手の心に栄養を与える行動(プラスのストローク)となります。つまり、あいさつをすることでお互いの心に元気を注いでいることにな

## 1学期を振り返って

ります。だから、朝や帰り、授業のあいさつはとても大切なのです。

▲課題：掃除の回数が多い

## 掃除の功德



8月20日(水)、本校で沼田中学校区子ども会議Iを開催します。きっかけは、昨年度から始まった沼田市いじめ防止子ども会議を受け、3校(沼中、沼東小、沼北小)のリーダーが集まっていじめ防止活動について話し合った小中連携の研修会です。「リーダー研修に役立った」「今度は違うテーマでも話し合ってみよう」といった声が寄せられ、今年度は2回子ども会議を予定しています。

夏に行う1回目のテーマは「掃除」に決まりました。「無言清掃」の考え方を取り入れている小学生と、新校舎を美しく保とうとする中学生とが、お互いに意見を交換する意義は高いと考えます。後日、この紙面でも子ども会議の様子をお伝えします。

そこで、今回はイエローハット創業者で、掃除道を日本中に広めた鍵山秀三郎さんの著書『正しく生きる』(アスコム)より、お釈迦様の教えである「掃除の功德」というお話を紹介します。

お釈迦様に「掃除の功德」という教えがあります。それには全部で五つの項目があり、第一の目は「心清浄」といいます。自分の身も心も浄めることです。

二番目は「他心清浄」です。掃除をしていて人の姿を見ると、見た人の心も浄めることができるのです。本当にその通りだと思えます。実際、掃除をしていて人の姿を見ていると、それだけで気持ちが悪く感じることがあります。



私は朝六時過ぎに家を出るのですが、五時半ごろから二年配の女性が、私の家の近所を毎朝掃除してくれているのです。それから、自由が丘駅の前を、腰の曲がったおばあさんがゴミの袋を引きずって歩かながら、掃除されています。六時半にはきれいになっているので、かなり早くから掃除されているのだと思います。そうい

う人の姿を見るだけで、私の心までが浄められたような気がします。三番目は「諸天歡喜」といいます。すべてのものが生き生きとして喜んでくれることです。新築の窓がそうです。掃除をすることで窓が生き生きとして、本気で喜んでくれるのです。(中略)四番目は「端正の業を植ゆ」といって、すべてのものが整って、元にもかまが整ってくるという教えです。これも私はお釈迦様のおっしゃる通りと思っています。



ただ五番目だけはまだ私も体験しておりません。死んだ後、天の上で生き返る「命終の後、まさに天上に生ずべけん」ということまで。(中略)また、掃除と心の関係については、次のような解説も書かれています。

福井県の誕生寺というお寺の御老師さんから、何十年前前に聞いた話です。そのお寺には、空様のためにたくさんのお供えがなされてきたのかとたずねると、人々は口々に「心を磨きに来ました」と答えます。「それで、あなたも心を磨きにきて、磨いてもらいませんか」と御老師さんが言うと、ふんばぐりして「できません」と答えます。「取りだして磨くことのできないものを、あなたはどのように磨くのですか」と御老師さんが聞くと、その返事に固まってしまいました。



この御老師さんは、板橋興宗老師という方ですが、「心が取りだして磨けないものだとしたら、磨けるものを片端から磨きなさい。それが間接的に自分の心を磨くことになる」と人々に言われました。見ているものに心が似るのだから、目に見えるものすべてを磨き上げれば、心も磨かれるというわけですね。(中略)自分の手で、磨けるものを磨くということが、間接的に完結して波立たない心を穏やかにしてくれる。それが掃除が心を磨くことの本質です。ただと思ったり、腹が立ちそうというふうなときに掃除をして、まっさらな心で、磨いて掃除をしていこうと、まっさらな心で掃除をしようとするのが、磨き上げていくことには違いないです。

### 部活動熱中月間

次に紹介するのは、ある高校の練習場に掲げられていた部訓です。人間的な成長を目指す心構えが伝わってきます。

- 支えてくれた全ての方々への感謝の気持ちを忘れず
- 一瞬たりとも気を抜かず
- 一本たりとも無駄にせず
- 謙虚な姿勢と不屈の闘志で練習に取り組みます
- できない事 負ける事を心の底から悔しいと思ひ
- 納得のいくまで技を追求し
- 苦しい場面でも攻める勇気を持ち
- 正念場でも仲間と自分を信じてプレーします
- チームを愛し、その一員であることに誇りを持ち
- 何事にも一生懸命に取り組む
- 上級生は思いやりと自覚と責任感
- 下級生は感謝と元氣と素直さを持ち
- どんな時も心をひとつに力を合わせます

次号は8月25日(金)に発行します。主な内容は「沼田中学校区子ども会議I」です。

# 少年の夢 をとめらの希望

生徒指導委員会発行

沼田中学校区

# 子ども会議

夏休みの終盤を迎えた8月20日(水)の午後、沼田東小、沼田北小、沼田中の3校からリーダーが32人集まり、「沼田中学校区子ども会議I」を開催しました。

昨年度、群馬県全体で重点的に取り組んだいじめ防止活動の一環として、沼田市いじめ防止子ども会議が行われました。その際、小中連携の観点から、沼田中学校区の3校で事前に発表や話し合い活動を体験してみようと、独自の子ども会議を実施しました。そして、その成果として、次のような意見が寄せられました。



- 各々の学校の活動がよくわかり、参考になった。
- 中学生の姿がとても立派で、小学生は憧れていた。
- 発表や話し合いを経験して、表現力や積極性が高まった。
- リーダー研修の効果も高く、次年度は二回開催できるとよい。

これらを受けて、小中連携推進会議の場において、2回実施すること、テーマ(1回目「清掃活動の工夫」、2回目「いじめ防止」)が確認されました。



それぞれの学校の実践発表を行い、よさを確かめ合ったり、さらなる工夫などについて話し合ったりして、よりよい学校を築いていこうという気運が高まりました。

沼中からは、生徒会本部役員や生活委員長、2年生のリーダーら17名が参加し、普段の清掃活動をはじめ、今年度から始まった清掃時の放送、学期末の大掃除、5月の地域清掃、長期休業中における体育館のトイレ掃除、部活動で取り組むトレーニングを兼ねた廊下の雑巾がけなどが報告されました。

一方、小学校からは「自問清掃」や「無言清掃」などの取組が発表されました。既に小学校時代に経験しているものですが、黙って掃除することが目的ではなく、自ら「気付く」行動を大切にしていることを改めて感じました。



全体会では、ただきれいにすればいいのではなく、感謝や敬意を込めて心も磨くという考えも発表され、沼田市教育委員会の後藤一将先生から「自分の力でよりよい自分をつくる」「自分たちの力でよりよい集団をつくる」ようご助言いただきました。

この会議全体を通して、司会や話し合いをスムーズに運営する3年生の姿にリーダー性の高さを、メモを取りながら話をしっかり聴く2年生の姿勢からは可能性の高さを感じました。なお、当日配付した資料の「そうじに関するいい話」を差し上げます。希望者は担当(林)までご連絡ください。

## 生きる力・豊かな学力を高める2学期に ガイドブック

家族で、毎年のようにディズニールンドに行きます。行くたびに新たな発見があり、リーダーを飽きさせない運営努力に感心しています▼アトラクションの待ち時間に周りを眺めていると、いつも同じスマイルを思います。ガイド

8月の生活目標：クラスで団結し、運動会に向けて頑張ろう

ブック片手に、次はどのような行動すれば良いのかといった会話が、あちらこちらから聞こえてきます。折角ディズニールンドなので、精一杯楽しもうという気持ちには私も同じです。元来、横着な性格なのか、私はガイドブックを見ようという気になりません▼ディズニールンドはガイドブックを見なくても、入園者喜ばせて、更なる消費を呼び起こす、また来てもらおうと、最大限に工夫されていると思ってしまうからです。ただその場に行くと楽しめばよく、ガイドブックは必須ではないと思っています▼それよりも、1回限りの人生の方が、ガイドブックが必要なのではないかと思えます。ディズニールンドなら、もしも、見落としなどとしても、また行けば良いのです。しかし、人生はやり直しができません。なによりも、ディズニールンドはお客様の立場で参加していただきますので、自ら研究しなくても、向こうが楽しませてくれるのですが、人生はお客様の立場ではありません▼そういうわけで、ディズニールンドにはガイドブックで予め研究した上で行くが、自分の人生については事前に研究しないで参加というのは、どう考えてもアンバランスに思えてなりません。人生の先輩たちが書き残してくれた書籍で十分に研究したいものです。そういう意味での、歴史であり、古典ではないのかと思う次第です。

〈ある大学の交友会誌より〉  
次号は9月1日(月)に発行します。主な内容は「運動会」「秋の生活」などです。

# 少年の夢をとめらの希望

## 運動会を成功させ 最高の学級に前進!!

沼中3大行事の1つである「運動会」が実施されます。1学期から学級目標の実現に向けて努力してきましたが、うまくいった面とまだまだ課題として残っている面があります。そこで、この運動会を柱に、クラス一丸となって取り組み、学級目標のさらなる実現に向けて、2学期の好スタートを切りましょう。



### 1. 1学期の学級づくりについて振り返り、2学期に向けての思いを確かめる

- ・クラス全員で決めた学級目標が、どのくらい達成度されていたか話し合う。
- ・学級委員をはじめとするリーダーを中心に、給食当番や清掃活動の班、専門委員会のグループなどでの目標が達成されていたか、何が欠けていたかを考える。
- ・2学期からの学級の成長のため、一致団結し、運動会の成功に向けて全員で取り組むことの大切さを確かめ、全員の思いを1つにまとめる。



### 2. 学級目標の実現に向けて、どんな運動会であればいいか見通しをもつ

- ・運動会実行委員を中心に、各種目にリーダーを設けたり、旗づくりや応援の中心メンバーを決めたりして、クラスを本気で盛り上げていこうとするリーダーシップを育てる。
- ・中心となるメンバーは、運動会当日までの計画を立てる。学年種目や生徒会種目など、クラスで協力して取り組む必要がある種目については、朝や昼休みの練習等を取り入れ、「協力」「貢献」のための場を設ける。



### 3. 助け合い、励まし合う場をつくる

- ・計画を踏まえて、クラス独自の練習を行う。応援の声の大きさ、リレーのバトン練習、クラス対抗種目の取組などで、よさを称え合う場を帰りの会などに設定する。
- ・朝の会や帰りの会等で、協力・貢献できたこと、今後の課題を紹介し合う。特にがんばった個人やグループ、係などに感謝したり認め合ったりすることを大切にする。
- ・学級日誌や沼中ノートにおいて、自分や友だちのがんばりをまとめ、当日の成功に向けてクラス全体の気運を高める。



**沼中三大行事で成長を!**  
日々の学校生活の基本となる学級力を高めるために、それぞれのクラスで運動会に向けた心構えや目標、取組を話し合ってみませんか。

## お知ろせ



9月の生活目標  
学級・学年・学校で絆を深め、  
運動会を成功させよう

### ■水筒の持参

熱中症対策の一つとして、水筒の持参を認めています。1学期に配付したプリントの通り、期間は9月26日(金)

### ■体育着登校

夏の暑さや衛生面を考慮し、7月7日より体育着下校を許可していただきました。運動会での汚れも予想されることから、9月13日までとし、17日より登下校とも通学服です。なお、これに伴い、部活動終了後の片付け、着替え等がスムーズに行えるよう、自覚と工夫をお願いします。



日本漢字能力検定が実施した2011年の「今年の漢字」で第1位に輝いたのが「絆」でした。

東日本大震災で尊い命を失ったり、連絡が取れずに不安な日々を送ったりしたことから、身近な人々との絆の大切さを知りました。また、それに伴うボランティアなどの善意の絆も生まれました。

### ■通学カバン

積年の課題であった通学カバンの更に向けて、準備が進んでいます。今年のサッカーW杯や夏の甲子園大会の映像から、安全性や機能性の高い「背負うカバン」が重宝されていることがわかりますが、今回変更にあたり、背負うことを最優先に、さまざまな意見を集めながら何度も試作を重ね、完成しました。一見すると現行のものより大きな違いはありませんが、少し大きくなり、肩ひもが縫い付けられました。新しいカバンは、2月の入学生説明会の折に、新入生を対象に販売しますが、消費税率の引き上げや制作費の高騰により、本体価格も値上がりします。兄や姉が使用した現行モデルの使用も認めますが、販売店の在庫がなくなり、現行モデルの在庫がなくなり、今年度中は税込価格8,000円で販売するそうです。購入を希望される場合は直接、販売店までお出かけください。



改良された新型モデル

次号は9月12日(金)に発行します。主な内容は「運動会」になります。

# 少年の夢をとめらの希望

生徒指導委員会発行

13日(土)の運動会に向けて、入場行進や各種目の練習、係の準備などが進められています。特に、各クラスでは、学級対抗種目の練習に励んだり、学級旗を作成したりと、優勝を目標に団結ムードが高まっています。

そこで、『中学3年の学級経営』(明治図書)より、運動会で活躍したクラスで語られたある担任の先生の言葉を紹介します。

## 運動会で熱中するクラス

特別日課期間中、練習開始時刻は13時30分ですが、この時刻に集合するではありません。勘違いしないでください。3-Aは、この時刻に練習を開始するのです。従って、用具などの準備は、それ以前に完了していなければなりません。他のクラスは、13時30分にだらだらと集まって、そこから準備を始めることでしょうか。しかし、それでは遅いのです。この差は大きいですよ。何と云っても、各種目の練習時間は1日20分、それが5日間しかとれないのですから、そうなる、準備も重要になってきますね。準備や後片付けなどの仕事は、全員がローテーションで分担します。そうすれば、一人一人の負担も少なくて済みます。

その日準備担当になった人は、いち早くグラウンドに出て、みんなが来る前に準備を完了させておきます。もちろん、後片付けまできちっとやります。どんなに素晴らしい成績でも、たとえ優勝したとしても、練習期間中の準備や後片付けがきちっとできないのでは、価値がありませんからね。

また、練習が本格化すると、トラブルも起こりやすくなります。次の言葉が掛けられたようです。

さて、毎日練習が続くと、当然疲れてきますよね。ついつい時間にルーズになったり、だらしくなったりします。「おい、早く集まれよ。」「もっと真面目にやってみよ。」そんな不満が、必ず出てきます。中には、そんな不満に対し、嫌らしい態度をとる人が出てくることもあります。せっかくなんで優勝を目指しているのに、クラスがそんな嫌な雰囲気になっては、楽しくありませんね。そうならないように、お互いに言葉や態度には十分気をつけてほしいのです。

疲れがたまってきた状態でも、明るい雰囲気や練習しましょう。不満や自分の都合を表に出さない気遣いが必要なのです。これは意識の問題なので、各自の努力で解決できます。そして、一人一人の自覚が生まれたとき、クラスは初めて一つになり始めます。熱中するクラスには活気があります。その要因は声です。上手くいったときの歓声、失敗したときの励ましの声、気合いを入れる掛け声……

までです。ご理解ご協力をよろしくお願ひします。

これらの声に励まされ、クラスは限界に挑戦していきます。そして、目標を達成するために必死になる過程で熱中し、心地よい「一体感」を味わうことと感動のドラマを期待しています。

「受験勉強は暗いもの。たいへんなもの。ガマンしてやるもの」というイメージがあるようです。けれども、それはほんとうかな? 何人かの友人に聞いてみたところ、「そういちゃいけない! (受験勉強は大キライ!)」とも言えない! という感じの答えが返ってきました。「受験勉強は目標がはっきりしているから張りあいがあった」とか、「問題ができるようになる。点数があがったりするのがうれしくて、積極的にやれた」という人がいるのです。また、「自分で勉強をやってみて、授業の中ではわからなかったけど、(ああ、そうなのか!) 調べてわかったところもけっこうあった」という声もありました。受験直前になるとみんな心配で胃が痛くなったという声も聞かれましたが、終わってしまえば、「あの時がんばったのがいい思い出」となることがけっこうあるようです。

「受験勉強はイヤ、暗い」というのは、実は、「どうせだめ、苦手だからやってもムダ」という気持ち(先入観)があるからという気がしています。「イヤ、苦手」が「好き」となるには、やっぱり自分が自信を持つことが大切。進歩感(前よりわかるようになってきた。できるようになってきた)。点数もとれるようになってきたが必要。そういう進歩感が自信を生んでくれるし、さらなる意欲のもとになるのです。そうやってくると、受験勉強だって、「やった分だけできるよ」になるので、面白い! などということにも

## お矢がせ

運動会 9月13日(土) 水分補給

① 水分補給 校庭に持ち出す際は、水筒を使用する。詰め替え用として、ペットボトルや粉末の持参を認める。

② 服装・カバン 登下校は体育着。授業がないため、通学カバンではなく、サブバックでもよい。

③ 駐車場 駐車場はたいへん手狭です。乗り合わせ、または徒歩での来校にご協力ください。

④ 熱中症対策 ※保護者 昨年度同様、体育館を開放しています。トイレや昼食の食食にご利用ください。また、適度に水分補給しながら、ご覧ください。

⑤ 置き引き ※保護者 昨年度、観客席で置き引きがありました。保護者の皆様におかれましては、手荷物や貴重品の管理をお願いします。



### 衣替え

① 移行期間 10月1日(水)～3日(金) ② 通学服(冬服)の着用期間 10月1日(水)～

③ その他 平成27年5月31日(日) トレナー……5月末まで スニーカーソックス……着用禁止

次号は10月1日(水)に発行します。主な内容は「職場体験」「宿泊体験」などです。

# 少年の夢をとめらの希望

生徒指導委員会発行

学校教育目標の「美しい心」「高い知性」「強い身体」を日常的に育むため、自然を学びの場とする活動、スポーツや文化にかかわる活動が有効だと言われています。

## 体験活動を磨くで

内閣総理大臣の下に発足した教育改革国民会議は、平成12年の12月に、「教育を変える17の提案」と題した最終報告をとりまとめました。その中では、  
①奉仕活動を全員が行えるようにする  
②子どもの自然体験、職場体験、芸術・文化体験等の体験学習を充実する  
③通学合宿等が異年齢交流や社会教育活動への参加を促進すること

ことを提示しています。  
沼田中学校では、毎年恒例のゴミ拾いを全校生徒で5月に行い、地域の美化に努めています。また、今年度からはキャリア教育(望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけさせる)とともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育(の改善を図っています。具体的には、2年生が行う職場体験学習は2日間から3日間へ拡大し、1年生は北毛青年の家(吾妻郡高山村)を利用する1泊2日の宿泊体験を計画しています。

『生徒指導提要』(文部科学省)には、体験活動の大切さを上手に表現した、サトウ・ハチローさんの「からだでおぼえたものは、はなれない」という詩が掲載されていました。

手でおぼえる  
足でさぐる  
目にやきつける  
胸にしみこみます

(中略)

水くみひとつにも  
上手下手がある  
米をこくのも  
めしをたくのも  
玉ネギをきざむのも  
ジャガ芋の皮をむくのも  
遊び半分では  
できない できない  
なれない仕事で  
深くむく  
母の顔が浮かび  
力のいる仕事で  
へたばると  
父の笑顔が見える

この詩を読むと、からだ全体で体験したことは、からだが見え、そこから離れずに心に染み通ることがわかります。日々の貴重な体験の中で、よく考え、心身を鍛えていきましょう。

のりこえろ のりこえろ  
からだでおぼえたものは  
からだからはなれない  
はなれない

(中略)

## 沼中生の「美しい心」

『たのしい進路指導』(仮説社)より抜粋

横断歩道で車が途切れるのを待っている沼中生がいました。その女子生徒は、止まってくださった運転手に対し、渡る前と後に1回ずつ、笑顔で挨拶をしました。当たり前のことですが、丁寧な心が温かくなりました。

私は日本の将来を本当に心配しているんですよ。(中略)大変なのは日本人の質の低下です。  
例えば、狭い道を行き交う時に全く譲らないで自分の持ち物や体をぶつけていく人がいますよね。あるいは、気列を割って入ってくる。そう、一つひとつの行為を見ると、ああ、このような生き方をしていたら必ず将来不幸になるなと。

(中略)

また、対談の相手である新宿調理師専門学校の校長である上神田梅雄さんは、次のような話をしていました。  
私が着任した当時、校内で生徒たちに挨拶しても返事がない。そこで、教職員の様子を見てみると、自分から挨拶はしないし、生徒から「おはようございます」と言われて「ああ、おはよう」と言っただけで終わっている。(中略)  
「勘違いしないで、我われが先に挨拶させていたんだらう」と言っただけです。(中略)  
そう言い続けてきたことで、教職員

の態度が変わり、その変化に呼応して

まり、かかとを揃えて、キチンと礼を返す生徒が増えてきました。まだまだだと思っていますが、前進を嬉しく感じています。  
明るい挨拶ができて、呼ばれたら気持ちよい返事のできる子は、社会に出た時に現場の人たちからきつと目を掛けられ、そして可愛がってもらえます。

夢というのは目標ですよ。目標というのは日常のいろいろな出来事をきちんとやった人のみが持てるんですよ。日常為すべきことを怠っていて夢を持ちたい、目標を持ちたいなんて、それは無理な話です。ですから、まずは自分の身の回りに起きる出来事、たとえ義務ではないことに対しても真摯に取り組んでいく。その時に初めて、明確な夢が持てるのだ。(鍵山)

蓮の花は泥沼の中に茎を伸ばし、そこから凛とした美しい花を咲かせます。綺麗なところから綺麗な花を咲かせるのではなく、泥にまみれる中から、穢れなき一輪の花を咲かせる。この蓮のように、私たち人間もまた、苦勞をし、泥沼に足を取られながらも、歯を食いしばって這い上がっていくことによって、人生の花を咲かせることができるのだと思います。(上神田)

本日の「衣替え」は、スムーズに移行できず、次号は10月24日(金)に発行する予定です。主な内容は「文化」「読書」などを計画しています。

その言い続けてきたことで、教職員

の態度が変わり、その変化に呼応して

の態度が変わり、その変化に呼応して



# 少年の夢 をとめらの希望

生徒指導委員会発行

スポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋…。夏の厳しい暑さが影を潜め、過ごしやすくなった秋は、さまざまな活動が充実する時でもあります。

そこで、今回は「読書」をテーマに沼中の活動を見直していきます。

## 読書の秋



沼中では朝の諸活動を充実させるため、今年度からいくつかのよき変化がありました。それは、登校や活動の開始時間が5分早まったこと、学年集会の回数の減少、朝学習の実施(国語・数学・英語など)です。そんな中、全校生徒が変わらずに取り組んでいるのが「朝読書」です。

朝読書のよさを提唱している朝の読書推進協議会の理事長の大塚実子さんは、公益社団法人日本教育会が発行する「日本教育」の中で、次のように語っています。

「生徒ひとりひとりに、家庭があり、人生のドラマがある。その生徒たちが抱えるそれぞれの心模様、葛藤、苦悩、悲しみ、辛さ、悔しさを癒し、励ましてくれるのが「朝の読書」ではないだろうか。言い換えれば、勇気や希望を自分に与えてくれるのが「朝の読書」の時間だと思ふ。毎朝、みんなで十分間の読書をする。この時間に生徒は自分と向き合い、成長していく。」

そして、大塚さんは次のようなメッセージを贈ってくれています。

「学校が「朝の読書」で始まり、生徒が全員、落ち着いた気持ちで授業に臨み、「みんながひとり」を「ひとりがみんな」を大切にしているクラス、学び舎であって欲しい。」

「長い人生には、様々な試練が訪れる。一冊の本が乾いた心を潤し、折れた心を蘇らせる。一冊の本が、生き方を示唆し、命を救う。」

一方、蔵書をコンピュータ管理することになった図書室では、利用者や貸し出し冊数が増えたり、授業(調べ学習や朗読会など)で活用されたりと、読書活動が充実しています。

人生は人との出会いと、本との出会いで変わると言われます。

秋の夜長、すてきな本との出会いが楽しみですよ。まずは読書する時間をしっかり確保し、それを習慣化して、読書の秋を深めてください。



## 文化とは何か?

TBSの人気番組だった「3年B組 金八先生」で、主人公の坂本先生から「文化」について次のようなエピソードが語られました。

文化とは、「ふぐちり」であるとか、本安言という作家がそう言った。最初、ある男が北九州に住んでいて、ふぐちりって食べたことないけど食べてみようと思って頭から食っちゃった。もろろんこの男はふぐちりの猛毒にあたって死んだ。

しかし、しかし。死んでゆくとき、なんかひと言、言い残さなくては、

## 文化発表会や合唱コンクールを一粒となつて成功させよう

小説家を志すものは、人間とは生きている価値のある素晴らしいものだ、感動できる物語を、音楽を志すものは、聞く者の魂をゆき、ふる音楽を奏でてくれ。

おっ母さんになるものは、お前たちのような受験戦争に、子どもをたたき込まないで済むようないい、優しいお袋になってください。そして……、この川が流れ込んだ海の向こうでは、受験戦争どころか、本物の戦争で傷つき、肉親を失い、食うものすらないお前たちと同じところの少年少女がいる。そして、なぜそういうことがあるのか理解できるように、そんな人間になってください。そして……、人間としての自分を生き抜いてください。

「文化」のみならず、キャリア教育に関わるヒントも感じられる熱いメッセージでした。みんなで幸せになることを大切にしたい生き方を考えていきましょう。



美容師になるものは、客の心まで美しくなるようなそんな技術を身につけてください。看護婦になるものは、病人の苦しみ

## お知らせ

★ウィンドブレイカー(防寒着)販売 24年度より学校指定の防寒着を採用し、今年で3年目を迎えました。統一されたいよ学校全体の冬支度が文していただいたものは、10月27日(月)の7時30分より、学校支援センター1室で販売します。お約りがないよう準備をお願いします。

次号は11月4日(火)に発行する予定です。主な内容は「生活目標」「進路」です。



# 少年の夢をとめらの希望

沼中では学校教育目標の1つである「美しい心を磨く」ため、「心の教育全体構想図」をもとに、すべての教育活動を道徳的な観点から見つめ直し、充実を図っています。その例が「生活目標」です。生活委員会(生徒)や生徒指導委員会(教員)で検討して、毎月決めあてとなる目標を示し、先を見通した行動を心がけています。「沼中ノート」や学級の掲示物でも目にする事ができるので、常に意識しながら日々の生活を築いていきましょう。



## 11月の生活目標 「読書に親しむ」

「子どもの読書活動の推進に関する法律」が平成13年に成立しました。これは、子どもの読書活動が「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであり、社会全体で積極的にそのための環境の整備を推進していくことはきわめて重要であること」から制定されました。

### 11月の生活目標

読書に親しみ、「学びの約束」を大切にして、授業や家庭学習をより充実させよう

## 11月の生活目標 「学びの約束」

6年前、「学びの約束」が定められました。毎日5〜6時間もある授業において、よい姿勢や、確かな学習習慣を確立することは、必ず個々の学力向上につながります。三者面接や期末テストのある11月を充実させましょう。

読書の様々な楽しみ方を味わってみたいと考えています。生活に役立つ本を読んだり、作者や作品群に注目し、もっといろいろな作品や別のものをたくさん読んでみたり、同じ本をも一度読んでみるのも効果的です。

**学びの約束**

沼中中学校  
「家庭学習」「忘れ物ゼロ」「チャイムスタート」

**準備**

挨拶  
礼に始まり、礼に終わる

**姿勢**

はつきり伝え、しっかり聴く

**返事**

「はい」と明るく、しっかり返事

**振り返り**

繰り返して身に付ける

## 心を磨く歌

「PHP」平成26年10月号より

メロディーが流れてきた瞬間、それが流行っていた頃のことや、耳にしたときの情景が鮮やかに蘇る。そんな歌が、お互い一つや二つあるのではないか。

歌にかぎらない。そこに立ち返ればおのずと慰められ、励まされる何かを、だれもがもっているはずである。くじけそうになったときにはそれに思いを寄せ、しばし浸ってみればいい。そんなふうに疲れた心を芳り慰めることで、再び前を向いて歩き出すことができるにちがいない。

文化発表会の当日、合唱コンクールや吹奏楽部の演奏に、体育館は大きな感動に包まれました。特に、長い期間をかけ、思いを込めて、クラスみんなで作り上げた合唱曲はまさに「人生の応援歌」になるでしょう。単なる思い出に留まらず、自分を励まし、支える財産が、

### 大切にしなさい 考え方…時を守り 場を浄め 礼を正す

## 沼中生の「美しい心」

### ★1年生

○10月1・2日の宿泊体験学習で、宿泊先の北毛青少年自然の家(吾妻郡高山村)の担当者から、次のようなお話を伺いました。

### ★2年生

○書写や朗読でご指導いただいた字校支援ボランティアさん、職場体験でお世話になった事業所の方々へ、心温まるお礼の手紙を書いた。

### ★3年生

○廊下でも玄関でも、自分から進んで、爽やかなあいさつができる。○雑巾掛けをはじめ、掃除を一所懸命取り組める。

### ★課題

●**時間を守る** ささらなる成長を目指して…  
●**礼を正す** 日が入りが早くなっています。部活動終了後の下校時間を必ず守りましょう。

●**礼を正す** 来校者や校外でも、明るく、爽やかなあいさつを実践しましょう。

次号は11月18日(火)に発行する予定です。主な内容は「リーダー」です。

# 少年の夢 をとめらの希望

生徒指導委員会発行

生徒会本部役員選挙が近づいてきました。すでに、部活動では伝統を築いてきた3年生の後を引き継ぎ、2年生が中心となってリーダーシップを発揮しています。そこで、今回は沼中のよき発展を支える次期リーダーの活躍を願い、リーダーについて考えましょう。

## リーダーとチームワーク

サッカー界で「神様」と呼ばれ、華麗なパスやシュートで有名なジーコさん。ブラジル代表や日本代表監督としても活躍され、自らの考えを『ジーコのリーダー論』(ごま書房)にまとめました。印象深い言葉を紹介します。

リーダーは、みんなの手本になる人間でなければなりません。それは、試合や練習だけでなく、毎日の生活においてもみんなが見習うような人間であることが求められます。さらに、誰でも話ができる明るさとは間違っていると思っただけは間違っていると言います。正しいと思ったことを主張する自分の意見を持つていなければなりません。

リーダーはみんなに信頼されなければならぬし、チームを率いるチャレンジ精神や情熱に富んでいなければならぬ。

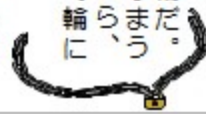
リーダーは、つねに上へ上へとチャレンジするべきだ。たとえ、それが現時点では不可能なことのように思えても、けっしてチャレンジする姿勢を忘れてはならない。

チームは、ひとつの鎖の輪だ。どれかひとつでもはずれてしまうと、輪が崩れてしまう。だから、みんながガッチリと固まって輪にならないといけない。

個人の能力は重要である。しかし、それ以上に勝敗を分ける大きな要因となるのはチームワークだ。

自分がいい仕事をしたときも、それは自分ひとりが出した結果ではなく、チームメイトがうまくサポートしてくれた結果だということも忘れてはならない。試合後のヒーローインタビューでも、「自分が活躍できたのはみんなのおかげです。○○くんからのいいパスがあったから、自分はただそれを蹴り込んだだけです」と、チームメイトの陰の功績を讃えられる選手であるのがふつうだ。

沼中では、各クラスの学級委員が集まる「リーダー会議」を学年ごとに開催したり、各部活動の部長が集う「部長会議」、生徒会本部役員らが参加する「沼中学区子ども会議」などを通して、リーダー性を育てています。そして、生徒会本部役員選挙や、専門委員長選挙を通じて、学校のリーダーを選出して、行事や集会の運営を進めます。また、学年集会や学級での話し合いなど、様々な経験の中で、全員にリーダー性を高めるチャンスがあります。



## 「肚(はら)」を鍛える ～明治時代のリーダー・大久保利通の気概～



明治時代のリーダーたちは、江戸時代に武士としての教育を受けていたので、「肚」の据わっている人がたくさんいました。日本人で肚が据わっている代表的な人物は、明治初期に活躍した政治家である大久保利通です。明治4(1871)年、台湾に漂着した琉球(今の沖縄)の島民 66人のうち、54人が台湾の原住民に殺される事件がありました。

明治政府は、諸国に対して日本国民を殺した罪を問ひ、事件の賠償などを求めたのですが、清国は台湾を「化外の地」(文明の及ばない地)だから関係ないと相手にしませんでした。

そこで、明治政府は台湾に出兵しました。すると、清国は、今度は日本の行動に抗議し、撤兵を要求してきたのです。

明治政府は大久保を全権大臣として北京に派遣し、清国政府と交渉することになりました。交渉は難航しましたが、あまりに大久保が粘り強く交渉するので、イギリスの公使が仲介して、清国が賠償金 50万両(テール)を支払うことになりました。

ところが大久保は、「私が来たのは謝ってもらうためだ」と断ったのです。大久保は、最終的には謝罪も 50万両(テール)の賠償金も両方得て、帰国しました。



当時の清国は、世界から「眠れる獅子」として恐れられていた時代です。一方の日本は、まだ海軍もできたばかりの頃で、戦争する武器も何もありませんでした。それにもかかわらず、大久保は「肚」で清国を圧倒したのです。

大久保は「肚」が据わっていた優れた政治家であり、外交官でした。明治時代の政治家が外交を間違わなかったのは、彼らの「肚」が据わっていたからです。だから、深刻な事態にあっても、じたばたしなかったのです。

リーダーになる人は、「肚」が据わっていません。「肚」とは使命感・根性・勇気・気概・突破力といったものです。

参照：『はじめての道徳教科書』(扶桑社)

また一つ増えました。いろいろな偉人の業績や生き方から学び、自分の人生の理想、生きる目標

次号は12月1日(月)に発行する予定です。主な内容は「いじめ防止活動」です。

# 少年の夢をとめらの希望

生徒指導委員会発行

5月のいじめ防止強化月間の取組を踏まえ、今月も様々な活動を展開します。具体的には次のような内容です。

## ●相談活動の充実

沼中では、毎月第3火曜日に「いじめ調査」というアンケートを実施しています。いじめを受けた・見たという観点で自由に記述でき、秘密保持のため、家庭で記入し、担任の先生に手渡しで提出する形式をとっています。また、いじめに関する資料詩や作文)を掲載し、予防や未然防止にも努めています。

今月からはその表紙に、次のようなメッセージを載せました。学事出版が発行している『月刊生徒指導』の今月号に掲載されていた相談に関する考え方を、相談は生きるうえで重要であり、身に付けてほしい力だと感じます。



学校は何をしようか  
来るところでしようか  
そう、学びに来る場所ですね。しかし、ときにそれを妨げる何かが発生することがあります。自分一人で解決できなければ良いのですが、それは

かないこともあるでしょう。そんなときは誰かに相談することが最も効果的です。しかし自分と同年代の人の場合、やはり同じ程度の知識や経験しかないことが多いのです。そんなときには、似たような相談を何年も何年も受け続けてきた立場の人が頼りになります。学校の先生もその一人です。スクールカウンセラーの先生のそうです。「先生に相談しても何の解決にもならない」と思い込んでいませんか? 先生は担任一人ではありません。ほかのクラスの担任や保健室の先生、学年主任、校長先生など、あらゆる先生があなたの相談に乗る用意があります。



ちなみに社会に出ると「報告・連絡・相談」といって、誰かに相談する能力が必ず要求されます。この「誰かに相談する能力」もまた、学校で学ぶべき重要な「力」なのです。

## ●あいさつ運動

昨年度の6月末より、学区内の小学校へ向いて「あいさつ運動」を実施しています。お互いの声が大きくなったほか、会話を交わしたり握手したりする姿も見られるようになり、よりよい人間関係を築く力が高まっているように感じられます。



なお、8日(月)から19日(金)までの10日間は、生活委員のみならず、各学年の職員もあいさつ運動に参加します。そこで、昨年度同様、保護者の皆

を育てましょう。様のご参加もお願いします。また、今年度は学校支援ボランティアの皆様にも呼びかけています。期間中は、毎朝7時30分から8時10分まで、玄関前で活動しています。学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの成長を見守り、いじめのない学校をつくっていきましょう。ようご協力ください。

## ●行動宣言

毎週金曜日、NHK教育テレビで「いじめをノックアウト」という番組が放映されています。AKB48の高橋みなみさんと一緒にいじめについて考える内容で、昨年度の1年生(現2年生)は番組の呼びかけに応じて、いじめをなくす行動宣言を応募しました。

なお、ホームページには次のような宣言(ニックネームになっています)が紹介されており、応募者全員のものを見ることがができます。

- 自分の仮面をとり、自分の心をさらけ出す  
二ノもり
- 一言の重みを考えて行動する、リカさん  
毎日20人の人と あいさつをかわす、Mさん
- 絶対に「無視」しません!  
みっさー
- 誰にでも平等に接します。  
つつの
- 短所だけで見ない 長所から探す  
ニヤンコ先生
- 僕は、いじめを注意します。  
ピロボン

そこで、昨年度は全校生徒がいじめ防止標語を作成しましたが、今年度はいじめ防止強化月間中に、行動宣言を書く予定です。できた作品は、今後、生徒指導通信でお知らせしたり、掲示物で紹介したりします。えることが必要だからです。そして、これは思いや



# お矢がせ

## PTA講演会

12月2日(火)の14時より、本校体育館にてPTA講演会が行われます。今年の講師は京谷和幸先生です。京谷先生は北海道で生まれ、高校卒業後にプロサッカーチームのジュニア市原に入団しました。Jリーグの開幕と共に活躍が期待されましたが、交通事故で脊髄を損傷し、車椅子での生活となりました。

その後は、車椅子バスケットに転向し、2000年のシドニーパラリンピックから日本代表入りし、4大会連続で出場したり、北京大会では日本選手団の主将を務めたりしました。強い意志をもつ京谷先生の著書『車椅子バスケットのJリーガー』(主婦の友社)には、次のような言葉がありました。

- ★がんばってれば必ず変わる、前に進める。
- ★今が人生のどん底だ。今がどん底なら、あとは何があっても今よりまだ。
- ★僕が誰に恥じることもなく、堂々と一生懸命生きている姿を、娘に見せるのがいちばんいい。

講演会の演題は「夢・出会い・感謝」パラリンピックへの道のり」です。当日は講演の他、本校バスケットボール部員とのフリースロー対決などの実技も披露してくださいませ。過日、各家庭や地域の回覧板で紹介されましたが、多くの皆さんのご来校をお待ちしております。



次号は12月17日(水)に発行する予定です。主な内容は「冬の生活」です。

## 12月の生活目標

清掃の意義をよく考え、効率よくきれいに清掃活動に取り組もう

# 少年の夢をとめらの希望

平成26年12月17日  
生徒指導委員会発行

2学期の終業式まであと1週間、そして今年もあと半月を残すだけとなりました。朝晩の冷え込みも厳しくなり、利根沼田の寒い冬の生活も本格化してきました。そこで、安全で快適な学校生活を送るために、注意事項を確認しましょう。

## ☆服装

○華美でない「手袋・マフラー・ネックウォーマー」の着用を認めています。  
※あいさつしたり話したりする時、ポケットに手を入れているのは失礼です。安全や健康面からも手袋の着用を！  
※マフラーやネックウォーマーに隠れる男子の通学服の第一ボタンまでしっかり留めましょう。



○女子には「ストッキング・タイツ」の着用を呼びかけています。

☆室内での過ごし方  
○廊下に座り込んだり、猛スピードで走ったりしない。  
○教室や廊下、トイレ等で騒がない。  
○結露している廊下の窓に、指で落書きしない。 ※窓ふき用の器具を各教室に2個ずつ配りました。

○風邪やインフルエンザの予防として、「手洗い・うがい」の励行、暖房や加湿器の効果的な活用、教室の換気などに注意する。



## いじめのない学校を目指して

★安全な生活  
11月後半、教室やトイレの窓ガラスが割れました。どちらも清掃活動の間です。ケガはありませんでしたが、本来取り組むべき活動に一所懸命になり、互いの注意力を高め、落ち着きのある生活を心がけましょう。

今月を「冬のいじめ防止強化月間」と位置付け、あいさつ運動の活性化、いじめをなくす「行動宣言」の作成、道徳や学級活動でいじめに関する資料を活用した授業の実施など、様々な取組を展開しています。  
そこで、文化発表会において英語でスピーチした内藤篤志くん(3年・生徒会長)の「いじめを止めるために」という発表から、いじめを止めるための2つの考えを紹介いたします。

私は今、生徒会本部役員として活動し、「あいさつ運動」を実施しています。朝、中学校や小学校の玄関前に立ち、児童や生徒に「おはようございます」とあいさつをしています。この活動を始めた当初は、生徒の多くが返事をしてくれず、とても悲しい気持ちでいっぱいになりました。しかし、今、多くの生徒が笑顔で「おはようございます」と言ってくれるようになりました。なかには握手をしたり、ハイタッチしてくれたりする人もいます。こういうあいさつをしてもらえるとうれしいし、さわやかな気分になります。あいさつはコミュニケーションの第一歩です。よいあいさつをするためには、相手の立場に立ってお互いのことを考

## いじめ防止強化月間



毎朝、落ち葉を掃いたり、明るい声であいさつしたりする3年生の生徒会本部役員

りの心へとつながります。  
また、5月に私たちの学校では、いじめをなくすためのキーワードについて全生徒に尋ねるアンケートが実施されました。その中で多くの生徒がいじめをなくすためには「他者への思いやり」が必要だと答えていました。この結果から、私たちの学校では、友だちとよい人間関係を築こうと取り組んでいることがわかります。「沼田中学校にはいじめがない」と胸を張って言える日がすぐそこまで迫ってきているように感じます。

私の父はよくこう言います。「周りの人に何ができるかを考えよう。人にしてもらったことを考えてはいけませんよ」と。私はいつもこの言葉を心に留めて生活しています。もしみんながこのアドバイスに従って、友だちのために行えることを考えれば、お互いに信頼し合える良好な人間関係を築いていくことができると思います。そして、あたたかい心と笑顔で満ちあふれた思いやりのある社会を築いていけるのではないのでしょうか。

## 冬休みのしおり



12月24日(水)の2学期終業式を終えると、翌日から平成27年1月7日(水)までが冬休みです。各学級では「冬休みの過ごし方」という資料を用いて事前指導を進めています。  
安全で有意義な生活を送るための主な注意点は次の通りです。保護者の皆様には配付資料をご確認いただき、協力をお願いします。

- 規則正しい生活を心がける。
  - 未処置の疾病などの治療を行う。
  - 先・用件・誰と・帰宅時間などを保護者に伝える。
  - 保護者のいない外泊、ゲームセンターへの出入りを禁止する。
  - 非行や問題行動をしない。仲間にも入らない。
  - ネットのトラブルに気を付ける。  
※安易に電子機器を購入しない。
  - 年末年始に行われる諸行事の意義を理解し、礼儀・奉仕・感謝の心を育てる。
  - 学校の閉鎖期間(12月29日〜1月3日)もあるが、事故やケガ、問題等は早めに担任へ申し出る。
- 次号は1月8日(木)に発行する予定です。主な内容は「新しい心構え」です。

# 少年の夢をとめらの希望

新年・新学期がスタートしました。その日その日が最善の日になりますように、「美しい心・高い知性・強い身体」を磨いていきましょう。

## 継続するための秘訣

「充実した年にしたい」「今年こそ頑張るぞ」と決意し、一週間が経過しました。また、本日は体育館で書き初めを書いたり、教室で個人目標を立てたりしました。きつとやる気の漲る瞬間になったことでしょう。しかし、一年間の三百六十五日にわたって努力を継続することは容易ではありません。そこで、優れた会社経営や日本一の掃除で知られる鍵山秀三郎さんの著書『正しく生きる』(アスコム)より、継続するための秘訣を紹介します。

人からすすめられたことを実践しても、それを継続するのはなかなかむずかしいものです。「三日坊主」とはよく言ったもので、最初は物珍しくて取り組むことができて、それを習慣にするのは簡単ではないわけです。なにが継続するには、「工夫すること」が欠かせません。ふつう、単純なことは工夫する余地がないと思われていますが、そこを工夫するのです。たとえば掃除は、もう工夫するところなどどこにもないと思われています。

1月の生活目標  
うがい・手洗いを徹底して、風邪やインフルエンザを予防しよう



だから続かないわけです。その当たり前のことを、誰もが真剣に取り組んでいないことを工夫することが、継続のエネルギーになります。工夫して改良していけば、気持ちも前向きになってやる気が起きてきます。つまらないと思っていたことがおもしろくなります。そうなれば、長く続けることができるでしょう。

それともうひとつ、継続するための秘訣があります。それは、自分の心の底に絶えず「人を喜ばそう」という気持ちを抱いていることです。それがない人は、いくら目先を変えてみても継続することができません。

表面的な利益を求めて、「これを習慣にすると得をする」というような考えで続けようと思っても、決してうまくはいきません。また、「誰か早く認めてくれないかな」と思ったり、打算とか名譽心とかを持ったりすると、続かないのです。

なぜ続かないかという点、自分の期待が外れるからです。甘い期待というのは、ことごとく外れるものです。そこに打算や名譽心があると、期待が外れた瞬間にいやになってしまします。継続できない人はたいてい、そのような共通点があるのです。

人生では、期待通りに行くことなどをほとんどありません。そのときに自分を奮い立たせてくれるものが、それが「工夫」と「人を喜ばせたい」という願いです。

二つのヒントを念頭に置きながら、勉強や部活動に対する思いを改めて考えてみましょう。

## 美しい心 美しい行動

大雪に見舞われた昨年12月19日、玄関前の駐車場には多くの生徒と教職員が集まり、除雪作業が自主的に行われました。思い返すと、晩秋の落ち葉掃きは、ご近所の方々から「長い間ここに住み、沼中生を毎年見ているが、校庭の南側に面した道路の落ち葉を掃いている姿は初めて見た。感動した。」というお言葉を伺いました。また、沼田市社会福祉協議会の職員の方々と一緒に、沼中や保健福祉センターの駐車場、東原庁舎との間にある道路などを毎朝きれいに掃く生徒も大勢いました。あいさつを交わし、大人と中学生が協力し合う、とても清々しい朝の一時でした。なお、この姿勢は冬にも引き継がれました。うすっすら雪化粧した駐車場で、道具を用いてきれいにしようとする新旧生徒会本部役員や卓球部男子、用務員の原田徳樹さんによる早朝からの除雪に続き、バスケット部女子が歩道を確保しようとして雪かきを始めました。人が増えるたびに雪が消え、あっという間の作業でした。あの大雪で培われた行動が再現され、温かい輪が生まれました。



## 冬。防寒対策

前回の通信や2学期終業式の後にも確認し、メール配信システムでもお伝えしましたが、冬場の生活について共通理解を図りたいと思います。

○「華美でない手袋・マフラー・ネックウォーマー」の着用。  
※「華美」については全校生徒で考えました。

○「ウインドブレーカー」を着用した登下校の許可。  
※寒い日、体調が思わしくない時、大雪の際などを想定しています。通学服による登下校を原則とし、状況を考えて行動してください。

○「華美でない長靴・スノトレ・ブーツ」の着用を勧めています。  
※路面が凍結し、足元が不安定になります。通学靴は白色ですが、長靴等は色を限定していません。

○2学期末、インフルエンザの感染が広がりました。教室には加湿器も備えておりますが、「手洗い・うがい・換気」に注意し、風邪やインフルエンザの蔓延を防ぎましょう。

次号は1月27日(火)に発行する予定です。主な内容は15日は沼中学区で、23日は沼田市で行う「いじめ防止子ども会議」です。

新年に贈る言葉 公歌詩人 坂村真民  
新しい年を迎えるには、新しい心構えがなくてはならぬ。決してただ漫然と迎えてはならぬ。

# 少年の夢をとめらの希望

2年生のリーダーシップが輝きました



## 沼中学区 いじめ防止子ども会議

15日(木)の午後、沼田市のいじめ防止子ども会議(23日)を前にして、沼田中学区の3校(沼田東小・沼田北小・沼田中)で、リーダー研修を兼ねた話し合い活動を行いました。今回は、総勢61名の小中学生が集まり、いじめ防止活動に関する各校の実践発表を行うだけでなく、6つのグループにおいていじめをなくすための「行動宣言」を作成するなど、主体的で協力的な高い活動に取り組みました。参加者の内訳は次の通りです。

小学生…30名  
沼中生…生徒会本部役員、部長、生活委員長、1年学級委員長



楽しく和やかな自己紹介



いじめ防止活動の取組の発表

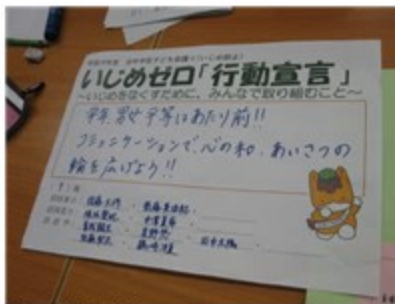


「行動宣言」の作成

### いじめをなくす「行動宣言」 2015.1.15 於沼田中

- 1班: 学年、男女平等は当たり前!! コミュニケーションで、心の和、あいさつの輪を広げよう!!
- 2班: 自分の勇気で人を笑顔にする
- 3班: 学年を越えて、一人一人が相手のことを考え、思いやりと勇気の心を持ち続ける
- 4班: 私たちはあいさつ運動などの交流を通して仲間との「絆」を深めます
- 5班: どんなに短い言葉でも、勇気を出して言えば全てが変わる
- 6班: 笑顔のあいさつから相談できる雰囲気をつくる 大切な友達を思いやって行動しよう

グループごとに作成した「行動宣言」は短時間にもかかわらず、よく練られた素晴らしいものになりました。



「行動宣言」

なお、3日には生徒会長の曾我龍生くん、生活委員長の星野悠くん、沼田市の参加しました。

この会議全体を通して、沼中生の美しい行動をたくさん目にしました。初めて訪れる中学校の図書室で、多くの中学生に囲まれて緊張している小学生をリラックスさせてあげよう、名前を言うだけの自己紹介ではなく、好きな色や食べ物を語らせて和ませたり、実践発表に対して拍手で賞賛したり、よさを丁寧な言葉で褒めたりする様子が見られました。また、話し合いの中で小学生を孤立させないように、テーブルの真ん中に配置するような座席を考えたり、全体発表で小学生に活躍の場を設けたりするグループもありました。さらに、前日の準備においては、当日配付する資料をきれいに整え、まるでレストランのナイフやフォークのように一人一人きちんとセットするきめ細やかな心遣いもなされました。これらのすべてが先生の指示で行ったものではなく、自ら考え、仲間と相談しながらできたことに、参加した小学校の先生や本校の職員からたくさんのお褒めの言葉をいただきました。このような相手を思いやる優しさ、心配りは、いじめのない学校づくりにつながることも、絆を深め、笑顔の輪が広がっていくことでしょう。

## 心を込めて真剣に

校内書き初め大会

3学期初日の8日(木)、体育館にて各学年の書き初め大会を催しました。大竹秀子さんや高橋由美子さんに加え、薄根地区の堀口秀樹さんや五十木晃健さんら学校支援ボランティアさんにお世話になり、充実した時間を過ごせました。今年度は全員の作品を新校舎の廊下に展示しました。2月の授業公開日の折には、保護者の皆様もぜひご覧ください。



## お知なせ

体育着やトレーナーの名前の刺繍について

これまで体育着やトレーナーに刺繍で名前を入れておりました。その際、同じ姓がいる場合、名前の一文字目まで入っていました。過日、保護者の方からのご要望を伺い、必要性や機能性などを職員で検討した結果、今後注文していたくものからは姓のみの刺繍になります。ご承知ください。

次号は2月2日(月)に発行する予定です。主な内容は「凡事徹底」になります。

# 少年の夢 をとめらの希望

今年度の第9回文真堂書店読書感想文コンクールにおいて、県内各地の16校1108編の中から、高橋大雄くん(1年4組)が最高賞である最優秀賞を受賞しました。



本校が大切にしている「凡事徹底」についてまとめられたすばらしい内容ですので、全文を紹介いたします。

## 当たり前前の大切さ

「すごい。こんなに努力していたんだ。」本を読み終えた直後に発した言葉だった。気付くと外はもう真っ暗で、月がきれいに輝いていた。読み始めた時は太陽に照らされ、蝉がみんなと鳴いていたのに。



僕は二〇一三年の夏に甲子園を制した「前橋育英高校」の事をもっと知りたいと思ひ、この本を手にとった。

前橋育英が甲子園で優勝した理由、それは大きく三つに分けられると思った。

まず一つ目は、考えて練習するという事。育英野球部は、日々の練習でも常に試合を想定して、自分がやるべき事をこなしているようだ。ここに打球が飛んできたなら一塁へ投げる、打球が抜けてランナーがでたらゲッツーをする、といった展開を予想し、練習をする。そうする事によって、自分がやるべき事をあせらず、正確に行えるのだ。と、甲子園優勝監督で、この本の著者でもある荒井監督は言っている。僕は剣道部だが、これを読んでびっくりした。なぜなら、試合を想定して練習し

ていなかったからだ。以前までは、試合なんだから試合中に考えれば良い、と思ひ練習では言われた事をただやっているだけだった。しかし、それではもう手遅れなんだという事を知り、今は考えている。どんな練習でも、常に試合を想定して。

誰にでもできる当たり前前の事を、誰にでもできないくらい、徹底してやり続ける。凡事徹底。この本に一番多く出てきた言葉で、自分自身とでも心に残っている。そして、育英野球部がチームに掲げている事だ。荒井監督が選手達にいつも「当たり前前の事を当たり前」と、耳にたこができるほど言い続けているそうだ。この「当たり前」とは、基本を忠実にという事だろうか。



僕は基本なんてできて当たり前前と思ひ、あまり真剣にやっていたいなかった。けれどこれは大きな間違いだった。と今は思っている。基本だからこそ、真剣にやり続ける価値があるんじゃないかと。

「大阪で、どれだけゴミを拾っても、最初は全くなりませんでした。でも、毎日毎日、ゴミを拾い続けたら、どんどんゴミが減って、きれいになってきた。もっともっと、この町をきれいにするために、僕たちは勝ち進もうと思ひます。」荒井主将が一分間スピーチで話したそうだ。えっ、と正直思った。その前に野球をやりに来たはずなのに、なぜゴミ拾いなのか、と疑問に思つた。この謎は本を読み、「日課」が関係すると思つた。育英野球部は、散歩とゴミ拾いをセットで毎日行つている。ただ散歩するのではなく、ゴミ拾いを兼ねて町をきれいにするとはいふ。と、思つた。自分だったら、毎日やり続けるのは難しいと思ふ。また、自分達のために勝つのではなく、町の

ため、周りの人々のために勝ち進む、という強い想いがあつたからこそ優勝できたのだと思つた。

育英野球部が優勝した理由は他にもたくさんあると思う。全ての人の感謝の気持ちを持ち続ける、日常生活をどう過ごしているか、チームの団結力などなど。しかし、僕がこの本を読んで一番感じた事、それは誰もがやるべき事やっていると事だ。育英野球部は、何か特別な練習をしている訳でもない。かといって、何本も空にアーチを架けるような選手がたくさんいる訳でもない。では、どうして勝つたのか。それは、やはり一人一人が努力したからだと思ふ。一度失敗した事はもう二度としないよう、何百回、何千回と毎日毎日同じ事を繰り返す練習する。この粘り強さがどの学校よりも優れていたという事が一番の勝利の要因だ、と僕は考える。



凡事徹底。言葉で言うのは簡単。だけれども、実行し続けるのは難しいという事が今回、身に沁みて分かつた。この言葉を胸に、夢に向かって突っ走っていきたい。そして、考えていきたい。「当たり前」の積み重ねを「本物」にするために。

## 関連図書の紹介



『新しい風』(日刊スポーツ)には、前橋育英高校をはじめ、長野西高校や川学園高校などの野球部で大切にされている考え方が紹介されています。

## 『新しい風』に掲載されている 前橋育英高校野球部

### ● 整理整頓

前橋育英のグラウンドを訪れると、いつも一面がキレイに整備されている。グラウンド脇のコンクリート部分にも、土が落ちていない。靴や野球バグだけだけでなく、自転車までもが整然と一列に並ぶ。着替などでも使用する部室、部員の半分が生活している野球部寮も、しっかり整頓されている。

### ● 人間性の育成

自分でできることなんか本當にわすかで、人にやってもらうほうが圧倒的に多いんです。だから、自分がやれることは100パーセントやって、人にやってもらったことは感謝する。それがまず基本だと思ふ。たとえば、ご飯を何杯食べるまで終われないなどと規則を作ってしまうと、作ってくれた人への感謝がなくなってしまう。時間を守るとか、身だしなみを整えるとか、掃除とか、そういう生活の部分を通じて社会の厳しさを教えながら、人間っぽくしてあげることが大事なのかなと。挨拶にしても、目の前でただがむしゃらに大声を張り上げていたら、グラウンドでは通用するかもしれないけど社会に出たら怒られる。それよりは、人の目を見て自然に挨拶をするほうが、社会で通用するんだぞと。

本校でも以前から「凡事徹底」を大切にしたい取組を心掛けています。高橋くんの感想文にもあるように、「当たり前」の積み重ねを大切にしていきたいです。

次号は2月20日(金)に発行する予定です。主な内容は「心構え」などです。